

第七十三回
帝國議會
貴族院

支那事變特別稅法案特別委員會會議事速記録第二號

昭和十三年三月二十三日(水曜日)午前十時十三分開會

○委員長(子爵前田利定君) 是ヨリ委員會ヲ開キマス、昨日ニ引續キマシテ御質疑ヲ願ヒマス、此ノ際皆様ニ御諮リ致シマスガ、期日モ切迫致シテ居リマスルシ、又追加豫算ノ第二號、三號モ明日アタリ本院ヘ廻付ニナルデアラウト思ヒマス、此ノ委員ノ中ニハ豫算委員ノ方モ大分御見エニナッテ居リマスルカラ、今日ハ午後少々晩ク迄モ致シマシテ、サウシテ此ノ増稅各案ニ對シマスル御質疑ヲ大體終了致シタイト思ッテ居リマス、而シテ大體ニ對シマスル御質疑ガ濟ミマシタナラバ、法案ノ各内容ニ付キマシテ一應御質疑ヲ願ヒタイト思ッテ居リマス、左様御含ミヲ願ヒマス、ソレカラ陸軍大臣ハモウ少シ經ツト來ラレルサウデアリマスカラ、深尾男爵ノ御質疑ハ陸軍大臣ト遞信大臣ト御揃ヒノ時ニ願フコトニ致シマス

○男爵深尾隆太郎君 サウ願ヒマス

○橋本辰二郎君 只今ノ委員長ノ御示シハ總テノ質問ヲ今日中ニ打切ッテシマヒタイト云フ御話デスカ

○委員長(子爵前田利定君) 打切ラウト云フ譯デハアリマセスガ、相成ルベクハ濟シタイト思ヒマス、サウシマセスト、豫算委員ノ方ガ居ラレマスノデ、非常ニ支障ガ起リ易イカト思ヒマスノデ……

○橋本辰二郎君 イヤ御尤デアリマスルガ、御承知ノ通り、此ノ案ガ衆議院ニ提出セラレマシテカラ、約一箇月衆議院ハ掛ツタ、其ノ間二十一回ト云フ委員會ヲ開イテ居リマス、ソレデ今少シ場合ニ依リマシタバ質問ノ時間ヲ與ヘテ戴クヤウニ、特別ノ御配慮ヲ御願ヒ致シタイト思ヒマス

○委員長(子爵前田利定君) マダ實ハ明日モ殘ッテ居ル譯デアリマスカラ、終リマセスケレバ、無論明日モ願フ譯デアリマスガ、唯希望ダケヲ申上ゲタダデアリマス

○河田烈君 大臣ノ御出席ノ御希望ガアリマシタガ、私ハ極メテ簡單ナコトヲ大臣デナクテ、政府委員デ結構デゴザイマスカラ……

○委員長(子爵前田利定君) 此處ニオ出デニナル政府委員デ宜シウゴザイマシタラドウゾ

○河田烈君 時間ノ節約ノ爲ニ此ノ機會ニ

御質問致シタイト思ヒマス、極メテ簡單ナコトデアリマシテ、三點伺ッテ見タイト思ヒマスガ、問題ヲ簡明ニ致ス爲ニ一點ヅ、伺ヒタイト思ヒマス、第一ニ伺ヒタイノハ、初メ此ノ稅法ヲ拜見致シマシタ時ニ非常ニ複雑シテ居ルヤウニ拜見シマシタ、デ、ナカ／＼今デモマダ分ラヌ所ガアリマスガ、就キマシテハ段々戴キマシタ參考書類ナドヲ拜見致シテ見テ行キマス、臆氣ナガラモ分ッテ參ッテノデ、成ル程斯ウ云フ風ニヤツテ行クノガ、全部トハ申上ゲ兼ねマススケレドモ、極メテ合理的ナ點ガアルヤウニ思ヒマス、其ノ點ハ了承致シマシタノデスガ、如何ナモノデセウカ、斯ウ云フ風ニ増稅ノ立テ方ヲ………増稅ノミナラズ、稅法ノ立テ方ヲ先ヅ此ノ基準法カラ出發シテ、此ノ方ハ幾ラニナル、或ハ臨時措置法ニ依リ是ハ幾ラ々々減スト云フヤウナ算出ノ根據ニ依ッテ私ハ理窟ハ立ッテ居ルト思ヒマス、其ノ結果コ、ニ參考書トシテ改正稅率一覽表ト云フヤウナモノガ出テ居リマススケレドモ、此ノ算出ノ根據ヲ之ニ依ッテ直グ算出ノ根據ヲ直チニ法制化シナイデ、根據ハ斯ウナッテ居ルガ、其ノ結果ハ要スルニ國民ノ負擔ニ課スルノガ結論デアルカラシテ、暫ク基本法若クハ改正ノ法律ヲ適用スルトカ、或ハ適用シナイトカ云フヤウナ方法ヲ講ジテ、國民ニ分ルヤウニ、出テ來タ結果ダケヲ臨時的ニ……既ニ臨時的ノ問題ガ大分アルシ、臨時デナイ分モアルカラ、概括的ニ申シマススケレドモ、終ヒノ結果ダケヲ簡單ニ、法律ニモット簡單化シテ出サレタ方ガ宜カッタノデヤナイカト云フヤウナ氣ガ致シマスガ、其ノ點何カ攻究セラレタコトハゴザイマセウカ、少シサウ云フコトヲ考ヘ出シマシタ動機ヲ申上ゲマス、非常ニ各種ノ法律ヲ幾ツモ御出シニナラズトモ、其ノ結果ダケヲ御示シニナルヤウナ方法ヲ執ラレルコトハ、全然出來ナイコトハナカッタデヤナイカト云フヤウナ氣ガセラレルノデアリマス、ソレハ今コ、ニアル參考書ニ依ッテ少シ分ッテ來タコトモアリマススケレドモ、此ノ改正稅率一覽表ヲ見マシテモ、是デ見マス、所得稅ヲ初メ各稅ノ稅ガ終ヒニ非常ニ簡單ニ二割五分ニナルトカ、又ハ一割五分ニナルトカ云フ風ニ割合比較的簡單ニ現シテアリマス、又此ノ稅法改正要綱ヲ見マシテモ、結論ニ凡ソ二割五分位ヲ除外スル

トカト云フ、相當ニ分リ易イ結論ガ出テ居ッ
テ、ソレヲドウ云フ風ナ所カラソレダケノ
金額ニ歸セシメルト云フ、理窟ト言ヒマス
カ、算出ノ根據ヲ各種ノ稅法ニ割當テ出
來テ居ルヤウニ思ヒマス、サウシマス、
ソレナラバ算出ノ根據ヲズット各種ノ十幾
ツノ法律ガ竝シテ居リマスガ、稅率ニ付テ
暫ク適用シナイモノハ適用除外ト云フヤウ
ナ簡單ナ法律ヲ出シテ、結果ハ斯ウ云フヤ
ウニナルト云フヤウニセラレコトハナカッタ
カト思ヒマスガ、一ツ／＼各種ノ色々ノ稅法
ノ改正ヲ必要トシタコトガ特ニ何カアリマシ
タデセウカ、政府ノ御審議ノ結果ヲ伺ッテモ
詰ラヌ話デアリマスガ、何カ特別ナ理窟ガアッ
タノデアリマセウカ、其ノ點ヲ一ツ伺ッ
テ見タイ、最モ其ノ感ヲ深クシマシタノ
ハ、是ハ間違ッテ居ルカモ知レマセヌガ、
昨日何誰カノ御質問ニモアリマシタガ、
地方ノ負擔ハ増加シテモ、其負擔力ヲ稅方
面ニ於テ負擔力ヲ増加シタバカリデアッテ、
得ル所ハ却ッテ少クハナイカト云フヤウナ
意味ノ御質問ガアリマシテ、政務次官カラ
ノ御答ニハ、サウ云フ譯デモナイト云フ御
答ガアッタヤウデアリマスガ、或ハ此ノ各
稅、各項目ニ付テ御改正ニナッテ、或ハ其ノ
點ガ地方ノ一部分……例ヲ以テ申セバ、所

得稅ナラバ所得稅ノ基本法ノ改正ト云フヤ
ウナコトヲスルト云フト、ソレガ附加稅ヲ
課セラレルト云フヤウナ結果ニナル、臨時
ノ改正ニ付テハ、支那事變ノ財源ト云フコ
トニ付テハ、臨時ノ改正ニ付テハ、附加稅
ヲ課セラレナイケレドモ、基本法ノ改正ハ
自然ト附加稅迄課セラレルト云フヤウナ結
果ニナッテ來ルノデハナイカト思ヒマスガ、
或ハ十分研究ガ行届キマセヌカラ間違ッテ
居ルカモ知レナイガ、各稅各項目ノ御改正
ヲ非常ニ詳シク復雜ニセラレタノデハナイ
カト云フヤウナ氣モスルノデアリマスガ、
何カソシナヤウナコトガアルノデアリマセ
ウカ、先ヅ其ノ點ヲ伺ッテ置キタイト思ヒ
マス

○政府委員(太田正孝君) 御言葉ノ通り大

變稅制ガ復雜ニナッテ參リマシタ、基本稅ガ
アッテ、増徴稅ガアリ、或ハ北支事件特別稅
ガアリ今度支那事變特別稅ガ加ヘラレタノ
デアルガ、大變復雜ニナッテ居ルコトニ付キ
マシテハ、議會ニ於テモ色々御意見ガアリ、
且ツ民間側ニ於テモサウ云フ非難ヲ受ケルノ
デアリマスガ、其ノ根本的ノ考ヘト申シマ
スノハ、昨日大藏大臣カラモ申シタヤウニ
記憶シテ居リマスガ、實ハ今ノ世ノ中ニ對
スル經濟事情、或ハ國民生活ノ關係カラ見

ルト、稅表一覽ノ一番終ノ所デ抑ヘテ行キ
タイト云フ考ヘデゴザイマスガ、サリトテ
ソレニ一遍ニ行クノニハ行キケレナイヤウ
ナ情況ニアルト云フノデ、例ヘバ、何々ノ
規定ニ拘ラズシテ、一時法律ノ施行ヲ「ス
トッ」シテ置イテ、サウシテ更ニソレニ加
ヘルト云フヤウナコトニナッテ居ルガ、私共
ノ見ル所デハ、今ノ經濟社會ガ一時全部所
得稅ニ致シマシテモ、外ノ稅法ニ致シマシ
テモ、基本ノモノヲ外シ得ル情況デヤナイ
デハナイカ、殊ニ御言葉ノ點ヲ或ハ臨時利
得稅ノ如キニ持ッテ參リマス、非常ニ復雜
ナモノニナッテ參リマスガ、斯ウシタ復雜ナ
モノニ依ッテヤッテ行カナケレバ出來ナイト
云フノガ今ノ經濟社會ノ情勢デナイカ、逆
ヲ申セバ全般的稅法改正ガ出來ナイ所ガ其
處ニアルノデ、根本的改正ヲシテシマッテ、
今ノ經濟社會ナリ、經濟生活ガ鏡ニ映ルガ
如ク、一ツノ稅率デ行ッタラ宜イノデヤナイ
カト云フ、斯ウ云フ御意見モアルノデゴザ
イマスガ、其處ニ行キ切ラナイノハ、根本
的ニ稅法ノ改正ニ行キ切レナイ爲メニ斯ウ
云フ風ナ復雜ナモノニナッテ居ルノデアリ
マス、而シテ立法技術ノ點カラ一時之ヲ停
止シテ、之ニシタラドウカト云フノハ非常

ニ各方面ニ復雜ナ關係ガ起ッテ居ルノデ、其
處マデ色々考ヘマシタデスガ、ウマク行カ
ナカッタノデアリマス、モウ一ツノ點ハ、御
示シノ通り地方附加稅ガ基本ニ對シテ課ケ
テ居ルヤウナ關係ガゴザイマスノデ、矢張
リ其ノ點ヲ考ヘマシテ、形ハ非常ニ復雜デ
ゴザイマスシ、又一覽表ニアル一番終ノ所
ガ抑ヘニナッテ居ル譯デゴザイマスガ、斯樣
ナ事情カラ御覽ニナル御方、殊ニ利害關係
ヲ有ッテ居ル納稅者ノ御方々カラ見テハ非
常ニ不便ガ多イノデゴザイマスガ、已ムヲ
得ズ斯樣ナ情況ニナッテ居ルノデゴザイマ
ス

○河田烈君 私ノ質問ノ趣旨ハ、今ハ根本

的稅制ノ改正ヲシタラ宜カラウト云フ意味
デハナイ、是ハ誤解サレルト何デスガ、斯
ウ云フヤウナ色々ノ事情カラ、各方面カラ
復雜ニシナケレバナラス、或ハ改正シナケレ
バナラスト云フ、何ト言ヒマスガ、現行ノ
ナニヲ其ノ儘直グ法制化シナクテモ、其ノ
結果ヲ一時的ニ簡單ニ法制化シテ置イテ、
是ハ根本的ノ稅制改革デハナイガ故ニ、一
時基本法等ニ付テハ停止ノ條文ヲ作ルト云フ
ヤウナ方法ニ行カナカッタカ、斯ウ云フ意味
ノ質問デアッタノデアリマスガ、別ニソレニ
對シテ更ニ御答辯ニハ及ビマセヌガ、稅制
ノ根本改正ヲシタラドウカト云フ意味デハ

ナイノデ、今度御出シニナツタ根據ハソレデ
宜イトシテモ、結果ガスグ分ルヤウニ、税
制ノ根本改正デナイ證據ニハ、基本法等ノ
改正ハ暫ク適用ヲ停止スルト云フ形ニシテ
置イテ、モット分リ易クスル途ハナカッタカ、
第二項ヲズツト法制化セラレタヤウナ氣ガ
スルノデアリマスガ、別ニ強ヒテサウシナ
ケレバナラヌト云フコトハ意見ノ相違ニナ
リマスカラ、別ニ御伺スル必要モナイト思
ヒマスガ、第二點ニ付テ簡單ニ伺ヒマス、
第二點ハ稅法ガ複雑ニナリ、ドウシテモ
稅額ハ多クナル、此ノ場合ニ於テ納稅ノ
便宜ニ付テ御考ニナツタコトハナカッタノ
デアリマセウカ、ト云フノハ、具體的ニ
申スト、屢、問題ニナツテ居ル問題デアリマ
スガ、具體的ニ申上ゲマス、例ヘバ物
納ノ方法トカ、或ハ納期ノ關係トカ、或ハ
納稅ノ仕方トカ、納稅ノ爲ノ支拂ノ方法ト云
フヤウナコトニ付テ何カ御考慮ニナツタ
カ、又其ノ時期ニ非ラズト云フコトニナツテ
居ルノデアリマスガ、暫ク其處迄ハ考ヘテ
居ラナカッタノデアリマスガ、尙明カニ致
シマス爲ニ註釋ヲ加ヘマス、例ヘバ物納
ト云フノハ一番相續稅ニ影響ガアルノデア
リマスガ、從來カラ問題ニナツテ居ルコトデ
隨分困難ナ點モアリマスケレドモ、一部分

物納ノ制度ヲ認メルト云フヤウナコト、ソ
レカラ納期ト云フヤウナコトヲ申セバ、納
期ノ改正ト云フコトハ非常ニ難シイノデ、
一般的ノ納期ノ改正、例ヘバ酒造稅法ノ納
期ノ改正トカ、所得稅法ノ納期ノ改正トカ、
是ハナカ／＼困難ナコト思ヒマスガ、其
處迄行カナクテモ、實行上ノ納期、例ヘバ
今日ニ於テモ市町村デ徵收ヲ扱テ居ル地
租トカ、所得稅ト云フヤウナ稅ノ種類ハ、
法定ノ納期ヲ繰上ゲテ納期ヲ指定セシメル
ト云フコトガ一般ノ例ニナツテ居リマスガ、
之ニ付テハ色々議論ガアルト思ヒマスガ、サ
ウ議論スルコトモナシ、已ムヲ得ナイト思ッ
テ居リマスガ、段々是ガ繰上ツテ來テ、初メ
ハ二三日カラ一週間位ヤラシテ居ルヤウデ
アリマスガ、斯ウ云フコトハサウ喧シク言
フヤウナ問題デモアリマセスケレドモ、稅
法ガ複雑ニナリ、稅額ガ段々上ツテ來ルト
云フコトニナツテ來ルト唯單ニ徵收ノ成績
ノ歩合ノ優良ト云フコトノミカラ、ソレハ
無論大事ナコトデゴザイマスガ、單ニサウ
云フコトダケデ、市町村ノ都合ニ依ツテ、地
方團體ノ都合ニ依ツテ、納期ヲ法定以上ニ繰
上ゲルト云フヤウナコトニ對シテ、主稅當
局ハ無關心ニ見テ居ラレルノカ、或ハ御考
慮セラレテ居ルカ、是ハ小サナ問題ノヤ

ウデアリマスケレドモ、僅カ一日違ヒノ所
デ隨分不便ヲ感ズル人モ中ニハアリヤシナ
イカト云フヤウナ氣モシマス、ソレカラ稅
額支拂ノ方法ト申セバ、小切手ノ使用、今
多分日本銀行デ小切手ハ通用スルカモ知レ
マセヌガ、此ノ小切手ハ債務者ノ信用等ノ
問題モアリマスカラ、問題モナカ／＼困難
ナコトモアリマセウガ、コンナヤウナコト
ニ付テ御考慮シテ下サレタノカ、又詮議セ
ラレタノデアアルカ、其ノ點ノ當局ノ御狀況
ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス、要スルニ納稅
者ノ便宜ニ及ス、斯ウ云フコトニスルト云
フコトニ付テ御考ガアツタノデアアルカト云
フ點デアリマス

○政府委員(太田正孝君) 納稅ノ便宜ノコ
トニ付テ斯様ニ増稅ガ多クナツテ參リマス
ト云フト、勿論考ヘナケレバナラヌ問題デ
ゴザイマス、御示シノ相續稅ノ物納ト云フ
問題モ年々議會ニ於テ問題ニナリマスノデ、
考ヘマシタノデゴザイマスルガ、モウ理論
ハ申上ゲズトモ御了解ノ通り、要スルニ財
政上ノ建前カラシテナカ／＼ヤリニクイ、
殊ニソレヲ見出スノニ困難アル、強ヒテ
ヤラウトスレバ、不當ニ安クナルト云フヤ
ウナ關係カラ致シマシテ、相續稅ノ延納ト
云フ方ノ關係ハ今ヤッテ居リマスケレドモ、
物納ト云フ方ノ考ニ付キマシテハ俄カニ其
ノ方ニ行クコトハ出來ナイト云フ建前ヲ採ッ
テ居リマス、小切手ノ納入ニ付キマシテハ、
橫線ニシテヤッテ行クト云フ限界ヲ外シテ、
一般的ノ小切手デ行ケルカト云フコトハ一
應研究致シマシタガ、マダ實行シヨウト云
フ所迄參ツテ居リマセヌ、今回ノ増稅ノ中
デ、臨時的ノ稅ニ付キマシテハ、或ハ納期
ノ點ナドニ付テ二三考ヘテ、此ノ法案ノ中
ニ入ツテ居ルノモ御覽ノ通りデアリマス、例
ヘバ砂糖消費稅ノ納期ヲ縮メ、徵收猶豫ヲ
縮メマシタガ、或ハ經過的ノ規定ニ於キマ
シテ、納期ノ便宜ヲ圖ツテ居ルト云フ斯ウ云
フ點ハゴザイマスガ、只今御話ノ相續稅ノ
物納問題ハ小切手利用ノ範圍擴張ト云フ問
題ニ付キマシテハマダソコ迄行ツテ居リマ
セヌ

○河田烈君 承リマシタ、其ノ點ニ付キマ
シテ十分御考慮ノアツタコトヲ推察致シマ
ス、ドウカ是ハ希望ニナリマスケレドモ、
段々複雑ニナル、又稅額モ殖エテ來ルノデ
アルカラ、納稅者ヲシテ氣持好ク簡易ニ納
稅セシメル方法ヲ今御考慮アラムコトヲ、
希望デアリマスケレドモ、此ノ機會ニ申上
ゲテ置キマス、ソレカラ第三ニ伺ヒタイト
思ヒマスノハ、少シ是ハ各論ニナルカモ知

レマセスト思ヒマシタガ、此ノ改正稅率一覽表ヲ拜見シテ見マス、支那稅法ノドノ法律ニ依ル所ノ増稅額ガ豫算ノ何處ニ掲ゲテアルカト云フヤウナ、其ノ對照ノ點ガハッキリシマセヌデシテ、其ノ點ニ付テ伺ッテ見タイト思ヒマシタガ、今主稅當局ヨリザツトソレニ付テノ振合方ノ此處ニ書面ヲ頂戴ヲ致シマシテ、ソレヲ能ク拜聽致シマシタラ、自ラ歷然タルモノガアルガラウト思ヒマシテ、其ノ點ハ更ニ之ヲ拜見シタ上デ或ハ伺フコトガ起ルカモ知レマセヌガ、一應之ヲ能ク拜見シマシテカラ、申上ゲタイト思ヒマスカラ、唯希望致シマスガ、是ハサウ大シタ頁數モ多クナイヤウデアリマスカラ、願ハクバ御差支ナケレバ謄寫刷ニデモシテ、私ダケデナク御配リ下スツ方ガ宜クハナイカト希望シテ置キマス、委員長マダ各論ノ方ハ伺ハナイ方ガ宜シウゴザイマセウナ

○委員長(子爵前田利定君) 大體ノ御質問ガ濟ミマシタラ、各論ニ移リタイト思ヒマスガ……

○河田烈君 多少加ヘタイ所ガアリマスガ、ソレデハ私ノ質問ハ是デ終リマス

○森平兵衛君 私ハ固定資産償却ノコトニ付テ主稅局長其ノ他ノ政府委員ニ御伺ヲ致

シタイ、此ノ間深尾男爵カラ御請求モアリマシタ減價償却表ガ我々ニ配付ニナツタノデアリマスガ、此ノ減價固定資産ノ償却ト云フモノハ、何ト申シマスカ、其ノ時ノ流れニ應ジテ多少デモ是ハ改正ナサツテ居ルノデアリマスカ、ソレトモ金科玉條ノ如ク、十年一日ノ如ク、斯ウ云フコトニナツテ居ルノデアリマスカ、其ノ點ヲ第一ニ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(太田正孝君) 昨年ノ四月ニ一部改正致シタノデゴザイマス

○森平兵衛君 御承知ノ通り、斯ウ云フ戰時體制ノ時分ニハ、生産擴充ナリ其ノ他ノ方法ニ依リマシテ、隨分重工業或ハ機械工業アタリガ相當隆盛ニナツテ居ルノデアリマス、併シサウ云フヤウナ事業會社ハ、事變ノ終熄ト共ニ、非常ナル擴張ヲ致シテ居リマシテモ、其ノ仕事ガナイコトニナツテ居リマスノデ、出來得ルダケハ、相當利益ヲ擧ゲタ時分ニハ、法律ノ範圍ニ於テ出來得ルダケ其ノ資産ノ償却ヲシテ置クト云フコトガ、時局ノ終熄ト共ニ將來此ノ平和産業トシテ活キテ行ク上ニ非常ニ好マシイコトデハナイカト思フノデアリマス、故ニ私ハ斯ウ云フヤウナ減價償却表モ、臨時ノ場合トシテ、臨時斯ウ云フ工合ニ總テノ租稅

モ御改正ニナル時ニ於テ、或ハ一年トカ二年トカ云フコトノ期間ヲ限ッテ、之ヲ極端ニ、極端ニト言フト、語弊ガアリマスガ、或程度御改正ニナル御意思ハナイノデアリマスカ

○政府委員(太田正孝君) 減價償却ノ點ニ付テハ昨年變ヘタノデゴザイマスガ、更ニ御話ノ通り、時局關係ノ産業ニ付テ更ニ考慮スル必要ガゴザイマスノデ、御示シノ通り、之ニ手ヲ加ヘタイト思ッテ居リマス、今迄ノ減價償却ノ根本方針ハ、大體物理的的原因ニ基クモノヲ主トシテ居リマシテ、經濟的因ニ基キ、今ノ御話ノヤウナ時局産業ヲウマク遂行シテ行ク上ニ於テ考ヘナケレバナラスト云フヤウナ關係ニ付キマシテハ、從來ト雖モ考ヘナイノデハゴザイマセヌデシタガ、其ノ點ハ特ニ時局ニ願ミマシテ、臨時的ニヤル方法ヲ考ヘタイ、御話ノ通りニ行キタイト思ッテ居リマス、唯何ト致シマシテモ、根本ノ方針ハ、物理的ニ見テ減價償却ヲドウシテ行クカト云フコトガ第一ニ出テ來マシテ、ソレニ加味スル關係ニナツテ居リマス、經濟的關係ヲ加味サレルコトニナツテ居リマスガ、今ノ時局ト云フモノガ非常ニ大切デ、生産力擴充其ノ他ノ關係カラ見マシテモ、御言葉ノヤウナ事情ニアル

コトヲ篤ト了承シテ居リマスノデ、其ノ意味ニ於テ手ヲ加ヘテ行キタイト考ヘテ居リマス

○森平兵衛君 大體ノ要點ハ只今大藏次官ノ御答辯ニ依ッテ了解ヲシタノデアリマスガ、總テ租稅ヲ先刻河田委員カラ御話ガアリマシタヤウニ、基本稅ヨリ或ハ臨時稅ニ移リ、色々複雑シテ、相當事業會社モ重壓ヲ加ヘラレテ居ルノデアリマスカラ、現時ノ戰時體制ニ於テ勃興致シテ居リマス機械工業特ニ飛行機ノ精密機械、或ハ發動機製造會社、是ハ一例デアリマスガ、サウ云フヤウナモノニアリマシテハ相當時局ニ對シテ惠マレタ成績ヲ擧ゲテ居ルノデアリマス、サウ云フ場合ニ於テ政府ニ於テ矢張り減價償却ノ場合ノ御取扱ニ對シ、自分ノ儲ケタ、課稅ノ掛ツタ中デ償却セイト云フヤウナコトデハ、餘リ私ハ時局ノ認識ガ足りナイヤウナ感じガアリマス、矢張り生産擴充ト云フヤウナ非常ニ大キイコトヲ政府ト共ニ協力シテ參リマス上ニ於キマシテハ、政府ニ於テ相當之ニ付テ十分ナル御考慮ヲ願ッテ、或ハ斯ウ云フモノハ別段議會ノ協賛ヲ要セナイコトデアリマスカラ、矢張り理論的バカリデナク經濟的ニモ御考ニナツテ、或ハ此ノ期間ガデス、短イ期間デモ構ヒマセヌ、

戰時終局迄ト云フヤウナ期間ガアツテモ構

ヒマセヌガ、サウ云フモノニ對シテハ十分
一ツ御考慮下サツテ、私ハ只今ノ此ノ償却表
ノコトニ付テ一々御質問ハ申上ゲマセヌ
ガ、ドウモ是ハ幾ラカ多クナツタト云フコ
トデアリマスガ、殆ドモウ千篇一律デ少シ
モ我々ノ方カラ見マスルト、之ニ付テノ御
同情ガナイヤウニ思ヒマスガ、十分此ノ點
ハ只今政務次官ノ御答辯ニアリマシタ意ヲ
體サレマシテ、至急ニ此ノ相當ノ方法ヲ講
ゼラレムコトヲ希望致シマシテ、此ノ減價
償却ノ質問ハ終ルコトニ致シマス

○橋本辰二郎君 私ハ償却ノコトニ付キマ
シテ質疑ヲ致シタイト思ヒマスガ、是ハ各
論ニ入ツテカラ致シタイト思ヒマス、宜シウ
ゴザイマスガ

○委員長(子爵前田利定君) 宜シウゴザイ
マス

○子爵大河内輝耕君 農林大臣ガ見エマシ
テ御忙シイヤウデゴザイマスカラ、私今致
シタイト思ヒマス、態、御出席下サイマシ
テ……農林大臣ニ伺ヒタイノハ、是ハ材料
ヲ取ツテカラト存ジマシタケレドモ、マダ出
來テ居リマセヌ、産業組合ノ材料ハ出來テ
居リマスガ

○政府委員(太田正孝君) 出來テ居ルサウ

デゴザイマス

○子爵大河内輝耕君 實ハ産業組合ノ課税
問題ニ付キマシテ農林大臣ニ伺ツテ、又御意
見等モ伺ヒ十分ナンシタイト思ヒマスガ、
御急ギノコトデゴザイマスカラサウ云フコ
トヲヤツテ居ラレマセヌ、ソレデ極ク簡單ニ
結論ダケヲ申上ゲマスガ、農林大臣ハモウ
個人トシテ此ノ産業組合ニ付キマシテハ非
常ニ趣味ヲ持ツテ居ラレルコトヲ承知シテ
居リマス、私モ其ノ事ヲ非常ニ喜ンデ居リ
マス、此ノ點ニ於テ私モ農林大臣ト全然、
個人ノ意見ヲ申上ゲテ甚ダ恐縮デスガ、御
同感ニ存ジマス其ノ點ヲ十分感謝シテ居ル
一人デアリマス、ソレデ段々税法ノ審査ヲ
進メテ參リマス、産業組合ノ課税ト云フ
コトデ屢々問題ニナル、ソレデ私ノ理想ト
致シマシテハ産業組合ト云フヤウナモノニ
課税スベキモノデナイト私ハ思フ、併シ他
ノモノト競合スルヤウナ仕事スルコトハ、
是ハ是非止メテ戴キタイ、色々アリマシ
テドウモ仕方ガナイガ、ソレハ是非止メテ
戴キタイ、其ノ代リ特權モ十分ニ與ヘタイ、
斯ウ理想的ニ考ヘルノデス、段々ト産業組
合ノ仕事ガドン／＼殖エテ行クノデ、迎モ
他ト競合スルナト云フヤウナコトハ今言ッ
テ居ラレナクナツタ、ソレデ仕方ガアリマセ

スデスカラ、ドウモ斯ウナツタ仕方ガナイ
カラ、他ノ仕事ト競合スルヤウナ場合ノモ
ノダケニ付キマシテハ相當ニ税ヲ課セルガ
宜イト思ヒマス、斯ウナツタ仕方ガナイ、
其ノ點ハ農林大臣ノ方デモ御研究ニナツテ、
サウシテ居ラレルコトト思ヒマスガ、其ノ
點ハ如何デゴザイマスガ

○國務大臣(伯爵有馬頼寧君) 産業組合ノ
課税問題ハ大分前カラ論議ヲサレテ居ルノ
デアリマスガ、ソレハ私共ト致シマシテハ
産業組合ノ性質カラ考ヘマシテ、マア課税
スベキモノデナイト私共ハ信ジテ居ルノデ
アリマス、最近會社ノ形式其ノ他ニ於テ出
來マスモノデモ、何カサウ云フ社會的ナ一
ツノ目的ヲ持チマシタモノハ、成ルベク免
税ヲサレルト云フ方針ガ執ラレテ居ルヤウ
デアリマシテ、産業組合ノ其ノ性質ナリ、
其ノ設立ノ趣意ナリヲ考ヘマシテ、大體課
税スベキモノデナイト云フ風ニ私共考ヘテ
居ルモノデアリマス、唯御述ニナリマシタ
産業ノ事業ガ餘リニ廣汎ニ互ツテ他ノ方面
ニ非常ナ摩擦ヲ生ジテ居ルト云フ點ニ付テ
ノコトニ付キマシテ私共モ注意ヲ致シテ居
ルノデアリマシテ、故ラニ産業組合ヲシテ
他ノ方面ト軋轢ヲ生ゼシムルヤウナコトハ、
努メテ避ケナケレバナラヌト考ヘマシテ、

最近ニ事變ガ起リマシテカラ復モ、或ル特
殊ノ仕事ニ付キマシテハ計畫致シテ居リマ
シタコトヲ中止致シマシタリ、ナンゾ致シ
マシテモ、成ルベク餘リ仕事ヲ多岐ニ涉ラ
シテ、徒ニ他ノ方面ト摩擦ヲ生ズルヤウナ
コトハ成ベク差控ヘマシテ、必要缺クベカ
ラザルモノ、特ニ産業組合トシテ營ミマス
コトガ適當ダト思ヒマス仕事ニ集中サセマ
スルヤウナ方針ヲ現在執ツテ居ルノデアリ
マス、只今御話ノヤウナ、餘リニ産業組合
ノ店ガ廣クナリ過ギテ、他ト衝突ヲ來スト
云フヤウナコトニ付キマシテハ、御述ニナ
リマシタ通りニ私共モ注意ヲ致シマスガ、
課税ト云フコトニ付キマシテハ本質上矢張
リ從來ノ方針ヲ進メタイ、斯ウ云フヤウニ
考ヘテ居リマス

○子爵大河内輝耕君 一應ノ御意見トシテ、
私共モ理想トシテハサウ云フ風ニ考ヘタイ
ト思フ、唯其ノ産業組合ガ外ニ競合シテ……
競合スルヤウナ、相剋ナンテ云フ言葉ハ
使ヒタクナイ、兎ニ角外ト競争ニナルト
云フヤウナコトハ出來ルダケ避ケタイ、農
林大臣モサウ云フ御考デアルト云フコトハ、
マアサウアルベキコトデ、産業組合ノ發達
ノ爲ニ喜ブ次第デアリマス、サウ云フコト
デアレバ、ドウ云フ點ガ競合スルヤ否ヤト

云フコトニ付テハ、世間ニ色々意見ガアラ

ウト思ヒマス、現ニ私モ大分承知モ致シテ

居ル、ソレヲ一々ヤリ出シテ行ツタラ大變

時間ガ掛リマスシ、此ノ委員ノ目的ニモソ

ンナコトハナイデスカラ、ソレハ止シマス

ガ、唯農林大臣トシテ御考ヲ願フテ置キタ

イノハ、ドコ迄ニ産業組合ノ仕事ヲ切ルカ

ト云フコトニ付テハモウ一度御調査ガ要リ

ハシナイカ、今迄ノ人ナラ、産業組合ノ人

ヤ農林省ノ役人バカリデヤツテ居ルカラ、一

向何遍ヤツデモ、ソレガ駄目ナンデ、モウ少

シソレデナイト、又極端ナ、或ハ反産運動ト

云フヤウナコトヲヤツテ居ルヤウナ人間、人

間ト云ツチャ何デスガ、サウ云フ人ガ入ッテ

居ルモノデスカラ、サウ云フ人ハ又非常ニ

極端ダ、ドツチニモナラナイ、考ノ考ヘル所

デハ、サウ云フ風ナ從來ノヤリ方ヤ立場ニ

囚ハレナイ人ガ澤山アラウト思フノデス

ガ、斯ウ云フ者カラ一ツ公平ナル意見ヲ御

聴キニナツデ、サウ云フ者ヲ以テ委員會デ

モ御作リニナツデ、サウシテ御研究ニナツテ

見タラドウカ、結局是ハ終ヒニ何トカシナ

ケレバナラナイ、今ノ儘ヂヤイカナイト云

フコトハ誰モ考ヘテ居ルノデスガ、ドウモ從

來ノ立場ニ囚ハレテ居ル人達ヂヤ迎モ思ヒ

切ツタ解決ハ出來ナイト思ヒマスガ、其ノ點

ハドウ御考ニナリマスガ

○國務大臣(伯爵有馬頼寧君) 一應大河内

サンノ御述ニナリマシタコトハ御尤ダト考

ヘマス、唯産業組合ノ關係ノナイ、アル者

ト云ヘバ産業組合ノ非常ニ味方ヲスル者

カ、サデナクテハ産業組合ニ全然反對ヲ

スル者カ、サウ云フ人デナイ公平ナ人ヲ以

テ委員會ノヤウナモノヲ組織シテト云フ御

意見ノヤウニ承ルノデスガ、サウ云フ又公

平ナ人ト云ヒマス、又産業組合ノコトヲ

理解ノナイ人モアル場合モアルト考ヘマス

ノデ、サウ云フコトハ果シテ公平ナ批判ガ

出來ルカドウカト云フコトモ問題ヂヤナイ

カト思ヒマス、先般産業組合關係ノ人トソ

レカラ反産運動ノ中心ト云ハレテ居ル商工

會議所側ノ人ト首腦部ノ連中ガ二三回集リ

マシテ、産業組合ノコトヤ又反産運動ノコ

トニ付キマシテ先般來二三回會合シテ話合ッ

テ居ルノデアリマス、サウ云フコトデ多少

歩ミ寄りモ出來テ居リマシテ、先般神戸ニ

於ケル「ゴム」工場ノ問題ナンカニ付キマシ

テモ、矢張りサウ云フ風ナ會合デ話合ガ出

來マシテ、一時中止ヲシタト云フヤウナコ

トニモナツタノデアリマスカラ、只今ノ御話

ノヤウナ委員會ヲ作りマスルコトモ惡イコ

トデハナイト思ヒマスガ、直接産業組合側

ト商工會議所側ノ所謂反産側ト言ハレテ居

ル、サウ云フ方面ト十分ニ話合フ致シマシ

テ、其ノ間ニ能ク了解ガ出來マスレバ、其

ノ方ガ更ニ宜イノデハナイカ知ラヌト私ハ

考ヘテ居リマス、御意見ノコトハ能ク承ッテ

置キマシテ、研究モシ、能ク考慮致シタイ

ト考ヘテ居リマス

○子爵大河内輝耕君 其處ノ點ハ一ツ尙能

ク御考ヲ願ヒマス、ソレデ甚ダ質問ガ前後

シテ誠ニ恐縮ナンデスガ、大藏大臣ノ御都

合モアリ、地方局長ノ御都合アルコトデス

シ、中途半端ナ質問ヲ致スコトニナツデ、誠

ニ恐縮シテ居ルデスガ、私が昨日承ッタ所デ

ハ貸賃價格ガ此ノ度改正ニナリマスコトニ

付キマシテ國稅ハ減少サレル、所ガ附加稅

ノ方ハ減少シナイト云フ風ナヤウニ承ッテ

居ツタガ、是ハモウ一度大藏大臣ナリ地方局

長ガ御見エニナツタラモウ一遍伺ハナケレ

バナラス問題ナンデス、私ノ言フコトガ間

違ッテ居ツタラ取消シマス、果シテサウダトス

レバ農林大臣ニ伺フノデスガ、果シテサウ

ダト致シマスレバ、ドウモ今ノ農村ノ實情

ニ合ハナイヂヤナイカ、貸賃價格ガ何故下

ルカト云フト、ソレダケ農村ノ經濟力ガ弱

ルカラコソ下ル稅額ハソレダケ下ル、下ル

ノガ當リ前、他ニ補填スル途ハ自ラ外ニ生

ジテ來ヨウト思フ、殊ニ是ハココノ問題デ

アリマセヌガ、農地法ナドガ出來テ話ガ色

色ニナルトイケマセヌカラ何シマスガ、隨

分地主ノ方デハ困ル／＼ト云フ聲ガアル、

マア私達モドウモ地主ニ利益ノアルモノト

思ヒマセヌ、地價ハ下ラウト思ヒマス、サ

ウ云フ關係モアリ、今ハ成ル程農家ハ宜ウ

ゴザイマス、農家ハ宜イケレドモダ、併シ

賃賃價格ガ下ツタツテ、稅額ハ下ゲナイノダ、

少シ行キ過ギタヤリ方ダラウト思ヒマス、

農村ノ方ノ立場カラ如何ニ御考ニナリマス

カ、農林大臣ニ伺ヒマス

○國務大臣(伯爵有馬頼寧君) 只今ノ大河

内サンノ御質問ハ半分承ッテ居ッテ、能ク了

解シナカッタノデアリマス、要旨ヲ伺ヒタイ

ト思ヒマス

○子爵大河内輝耕君 農林大臣ト指サナイ

デ申シタモノデスカラ甚ダ恐縮デスガ、此

ノ度賃賃價格ノ改訂ガ行ハレマス、ソレデ

ソレカラ又此ノ稅制ノ改正ニ依リマシテ地

方稅モ減リマス、又一方ニ農村ノ方ニ大分

軍事上ノ施設ヤ後援事業モ殖エテ來ルノデ、

其ノ爲ニ地方交付金ガ増加サレタ、斯ウ云

フ風ニ我々ハ承ッテ居ル其ノ内容ヲ段々伺ッ

テ見ルト云フト、他ノ問題ハ略シマスガ、

賃賃價格ノ改訂ニ依ッテハ地方稅ハ減ラナ

イノダ、賃賃價格ハ成ル程減ルダラウケレドモ、稅率ハ上ゲルノカ、ソコノ所迄マダ突留メナインダガ、稅額ハ減ラナイヤウニ、地方稅ノ稅額ハ減ラナイヤウニ持ッテ行クノダ、斯ウ云フ御答デアッタ、若シサウダトスレバ、賃賃價格ガ下ルト云フノハドウ云フ譯カト云フト、申ス迄モナク農業ノ經濟力ガ、詰リ土地トシテノ經濟力ガ弱クナッタ譯デアリマス、土地ノ經濟力ハ成ル程今ノ所デハ農產物ノ價格モ宜ウゴザイマス、宜イヤウニ思ヒマスケレドモ、是ハ一時ノモノダカ、永久ノモノダカ分ラナイ、ソレガ今度農地法ガ出來テ見レバ是ハ全然別問題デアリマスガ、地主ニハ餘リ有難イモノデナイ、地價ガ下ルトハ當然デス、サウシテ見レバ此ノ際賃賃價格ガ下ッタダケハ地方稅ガ減ゼラレルノガ當リ前デヤナイカ、賃賃價格ヲ下ゲテ置イテ、サウシテ稅額ヲ同ジニ取ルト云フコトハ少シ無理デヤアルマイカ、ソコヲ農業政策ノ立場カラ農林大臣ノ御意見ヲ伺ヒタイ

○國務大臣(伯爵有馬頼寧君) 只今ノ問題ハ先般來賃賃價格ノ改訂ニ依リマシテ、地方ノ收入ノ減リマスト云フ關係カラ今回ノ三千萬圓ノ補給金ガ出ルコトニナッタノデアリマシテ、唯其ノ稅率ヲ上ゲルカドウカ

ト云フコトニ付キマシテハ、私カラ御答申上ゲルヨリハ、大藏省ノ方カラ御答ヲ戴イタ方ガ結構ト思ヒマスガ、農村トシテハ其ノ賃賃價格ノ改訂ニ依リマシテ、實際ニハ減ルモノヲ、今度ノ補給金ニ依ッテ十分埋メラレルト云フ風ニ政府トシテハ考ヘテ決メタ譯デゴザイマス、實際ノ農村ノ方トシマシテハ、必ズシモソレニ依ッテ十分デナイト云フコトヲ申シテハ居ルノデアリマスガ、政府トシテハソレデ大體宜シイノダト云フ風ニ考ヘテ本同ノ案ガ決ッタヤウナ譯デアリマス

○子爵大河内輝耕君 私ノ質問ハ其ノ賃賃價格ハ減ルケレドモ、稅額ハ減ラナイ、言葉ヲ換ヘテ云ヘバ、稅率ヲ上ゲルカドウカ知リマセスケレドモ、稅ノ負擔ハ從來ト同ジ通リダ、斯ウ云フヤウニ解シテ質問致シテ居ルノデスガ、サウ云フコトハ、又サウ云フヤウニ私ハ大藏大臣ノ説明ヲサウ承ッテ居ルノデスガ、ソコハ何デアリマスカ、是ハ大藏政務次官デモ……デモト云ッテハ失禮デスガ、政務次官カラ御答ヘ願ヘバ宜イノデスガ、ソコハハッキリ決マッタ話デヤナイノデスカ

○政府委員(太田正孝君) 大藏大臣ガドウ云フ御返事ヲシタカ私昨日其ノ場合席ヲ外

シテ居リマシタノデスガ、國稅ノ分ダケ減ルコトハ申上ゲル迄モアリマセス、地方稅ノ關係ニ付テ此ノ附加稅ヲドウ動かスカ、ザックバランニ申シマスト、此方ノ建前デハ國稅ダケ減レバ、相當ナモノデアアルカラ、附加稅ノ方ハ或ハ地方收入ヲソコニ當嵌メルニハ課率ヲ上ゲナケレバナラヌヤウナ場合ガ起ルンデヤナイカト云フヤウナ、斯ウ云フ建前デアリマシタガ段々ト其ノ方面ノ農村關係ナドノ陳情ナドガゴザイマシテ、政府ニ於テモ尤ト考ヘテドノ稅ニドウヤルトカト云フコトデナク、又時局關係ノ爲ニ大變費用ガ掛ッタ所モアルカラ、サウ云フモノヲ括メテ茲ニ三千萬圓ヤッテ行カウ、稅率ヲドウ動かスト云フ所迄ハ決マッテ居ルノデハナイ、多分大藏大臣モサウ御答シタト思ヒマスガ、實際ドウヤッテ行カ、斯ウ云フコトニナリマスト、昨年一億圓交付金ヲヤリマシタ時ニ、補給委員會ト云フモノガ出來テ居リマシテ、ソコデ色々減稅、輕減方法ナリニ付キマシテ案ヲ立テ、實行シテ居リマス、今度ノ三千萬圓ニ付キマシテモ一億圓ノ「ブル」ノ中ニ入レマシテ一億三千萬圓ドウ云フ風ニ分配シタ宜イカト云フコトニ付テ、貴衆兩院其ノ他ノ委員ヲ以テ成ッテ居ル其ノ委員會ニ掛ケテヤッテ行キ

タイ、ドウ稅ヲドウ減ラスト云フ所マデハ御言葉ノ通り決マッテ居ルノデゴザイマセヌ

○子爵大河内輝耕君 實ハ大藏大臣ノ御出席ト、農林大臣ノ御出席ト、其ノナンダモノデスカラ、少シ言葉ガ假定デ伺フヤウニナッテ、是以上其ノ點ヲ伺ッテモ農林大臣御迷惑スルト思ヒマス、モウ少シ大藏大臣ト事實ヲシッカリ確カメマシテ、又伺フ必要ガアッタラ願フコトニ致シマシテ農林大臣ニ對スル私ノ質問ハシマッテ置キマス

○委員長(子爵前田利定君) チョット三浦君カラ今ノ御質問ニ關聯シテ農林大臣ニ御質問ガアルサウデゴザイマスカラ……

○三浦新七君 今ノ產業組合ノ課稅問題ニ付テ御伺ヒシタイ譯ナンデゴザイマスガ、今農林大臣カラノ御話デ社會的目的ヲ持ッタ團體デアアルガ爲ニ課稅ノ目的ニハナラナイデアラウト云フヤウナ御話ガゴザイマシテ、其ノ社會的事業ト云フ意味ガ實ハドウ云フ意味デアリマスガ、ツイハッキリ致シマセヌノデゴザイマスガ、自分共ガ考ヘテ居リマス產業組合ト云フモノハ、社會的ノ組合ト云フヤウナモノデナクテ、謂ハバ其ノ村ナラ村全體ノモノガ一つニナッテ居ル團體デアッテ、產業組合ト云フモノハ少ナクモ

經濟ノ方面ニ於ケル村デアル、斯ウ云フヤウナ意味デアル爲ニ片ツ方ノ方ノ個々ノ人間ニ課稅セラレテ居ル譯デアルカラシデ、全體トシテ産業組合ト云フヤウナモノニ課稅サレコトハナイ、斯ウ云フヤウナ工合ニ實ハ考ヘテ居ル譯デゴザイマス、是ハマア自分ダケサウ云フ工合ニ考ヘテ居ルノカモ知レマセヌガ、サウナッタ場合ニ於キマシテ若シ假ニ其ノコトガ許サレルトスルト、其ノ上ノ、私ハ今産業組合、ソレ自ラニ課稅スルト云フコトハ是ハスベキモノデナイト思フノデスガ、其ノ上ノ縣販聯デゴザイマス、全販聯デアリマス、全購聯デアリマス、サウ云フ聯合會、是ハ産業組合ソレ自身、町村ヲ單位トスル組合ト云フモノトハ性質ヲ異ニスルモノデアツテ、サウ云フモノガ聯合シテ聯合會ヲ組織シタ場合ニ於テソレガ農民全體、若シハ縣全體ノ一ツノ職能ノ團體デアルト云フ工合ニ見ルコトハチョット困難デアリハシナイカト云フヤウニ自分ハ考ヘテ居リマス、譯デゴザイマス、ソレノミナラズ、ソレニ付テハ實ハ私共ノ見ル所ニ依リマス、産業組合ト外ノ商業、若シハ工業ニ從事シテ居ルモノトノ間ノ「フリクシヨシ」ト云フモノハ主トシテ縣販聯、全販聯ト云フ聯合會ト、

ソレカラ營業者トノ間ニ起ル問題ナノデアリマス、是ハ今度ノ肥料ノ配給ト云フヤウナコトニ付キマシテハ此ノ特別ナ法律モ出來テ居ル譯デモゴザイマス、ソレガ實際ドウ云フ工合ニナッテ居ルカ、私ハッキリシテ居リマセヌガ、兎ニ角肥料ノ販賣ノ問題デアリマス、ソレカラ米ノ賣渡シノ問題トカ、サウ云フヤウナ産業組合デナイ、産業組合ノ聯合會トシテヤッテ居ルコトガ何時デモ其ノ商業組合、若シハ商人側ト衝突スル點デアルト云フ風ニ考ヘテ居ル譯デアリマス、デ商人側ノ方面ニ於キマシテモ商業組合ト云フモノヲ結ンデ、サウシテ商業組合デハ矢張り其ノ事務所ヲ設ケ、營業店ヲ設ケテモ宜イノダト云フコトヲ、商工省ノ當局ガ此ノ間其ノコトニ付テ大分問題ヲ起シマシタガ、ヤッテモ宜イト云フコトニ考ヘラレテ、サウスルト今度ハ農業ノ方ハ農業組合ノ聯合會デアル、商業ノ方ハ商業組合ノ聯合會デ同ジヤウナコトラスルト云フヤウナコトニナリマシテ、結局サウ云フヤウナ兩方トモ税金ハ課ケラレナイト云フヤウナコトニナル虞ガアル譯デア、ノミナラズ今ノ商人ノ立場ガ無クナルト云フコトヲ御考ヘ願ヒタイト思フ譯ナンデ、詰リ片ツ方ノ聯合會、産業組合ノ聯合會ノ方

ニハ税金ハ課カラヌシ、ソレト同ジヤウナ仕事ヲシテ居ル商人ニハ稅ガ課カル、營業稅ガ課ルトカ云フコトニナリマス、ドウモ其ノ間ノ競争ガ公平ヲ缺クト云フカ、片ツ方ニ「ハンディキャップ」ガ附イテ來ルト云フコトニナリマス譯デアリマシテ少クトモ今迄ヤッテ居リマシタ商業者ノ階級ガ業ヲ轉ズルト云フ迄ノ間ハ、餘リサウ云フヤウナ、片方カラシテ特權ヲ與ヘルト云フヤウナコトハ如何カト云フヤウナ工合ニ考ヘル譯ナンドゴザイマス、要スルニ農林大臣ニ御伺シタイコトハ、産業組合ト産業組合ノ聯合會ト云フモノトハ性質ヲ異ニスルト云フ工合ニ考ヘルガ故ニ、其ノ聯合會ノ方ニ課稅スルト云フコトニ付テ如何ナル御考ヲ持ッテ居ラレルカト云フコトヲ御伺ヒシタイ譯ナンデアリマス

○國務大臣(伯爵有馬頼寧君) 私ガ社會的ト申シマシタコトニ付テ、或ハ誤解ヲ招イタカトモ思フノデスガ、私ガ社會的ト申シマシタノハ、詰リ營利ヲ目的トシナイ、産業組合ハ營利法人ト公益法人ノ眞申位ダト云フコトヲ申シマスガ、所謂純粹ノ營利ヲ目的トシタ團體デナイト云フコトヲ申シゲタ積リデアリマス、デ産業組合ハ御承知ノヤウニ、外部ニ對シテ購買組合ガ物ヲ賣リマス、私共ハ矢張り聯合會ト云フモノハ、單位ノ組合ガ實際ニ活動致シマス上ニ、聯合組織ヲ持タナケレバ十分ニ活動ガ出來ナイ爲ニ聯合組織ヲ持ッテ居ルノデアリマシテ、單位組合ト雖モ、聯合會ト雖モ、目的トスル所ハ少シモ違ハナイト考ヘテ居ルノデアリマス、只聯合會ガ實際上商人側ト衝突スル場合ガ多イト云フ只今ノ御話デアリマス、併シ例ヘバ全販聯ノ場合ニ付テ考ヘテ見マシテモ、個々ノ單位組合ガ生産致シマス米ヲ全販聯ガ引取りマシテ、ソレヲ賣リマス場合ニ一般ノ消費者ニ直カニ賣リマスト云フコトデアレバ、商人ト衝突致シマスケレドモ、全販聯ガ賣リマス場合ニハ決シテ消費者ニ直カニ賣ルノデナイノデアリマシテ、ソレハ米ノ商人ニ對シテ賣ルノデ

アリマスカラシテ、其ノ間必シモ商業者ヲ害スルト云フコトハナイト私ハ考ヘテ居リマス、又全購聯物品ヲ自分ノ組合員ニ、單位組合ニ配給致シマスニ付キマシテモ、其ノ品物ヲ買ヒマス所ハ、製造業者カラ買ヒマス物モアリマス、又サウデナイ中間ノ者カラ買フ場合モアリマシテ、是ハ一方ニ只今御述ニナリマシタヤウニ、商業者ノ側ニ於テモ商業組合ヲ作り、又商業組合ノ聯合會、商業組合中央會ト云フヤウナモノガアツテ、サウ云フヤウナ兩者ガ一ツノ組織立ツタモノニナツテ參ルコトガ必シモ私ハ惡イコトトハ考ヘマセス、單位組合ニハ免稅ヲシテモ宜イケレドモ、聯合會ニハ免稅ヲシテモ宜イノデヤナイカト云フ御意見ニ付キマシテハ、私共ハ直接其ノ間ニ區別ヲスルト云フヤウニハ考ヘテ居リマセス、只先程大河内サシノ御質問ニモ御答ヘ申上ゲマシタヤウニ、單位組合ニ致シマシテモ聯合會ニ致シマシテモ、ソレガ外部ニ對シテ色々摩擦ヲ生ジマスコトニ付キマシテ、少シク逸脱シテ居ルト云フ嫌ガアリマスレバ、サウ云フ點ニ付テハ指導モシ監督モ致シマシテ、サウ云フ摩擦ヲ少クスルヤウニシナケレバナラヌト云フコトハ十分考ヘテ居リマス

○三浦新七君 只今ノ御説明承リマシタノデアリマスガ、要スルニ私ノ先程申上ゲマシタ其ノ産業組合ト云フモノガ謂ハバ此ノ村ト云フモノヲ經濟的ニ見タ團體デアルト云フ見地カラ出ナイト、片ッ方ノ方ノ區別ガハッキリシテ來ナイコトニナリマス譯デアリマス、ソレヲ大臣ハ御認メニナラヌト云フコトデアリマス、是ハ自ラ後ハ議論ニナル譯ナンデアリマス、ソレデ其ノコトニ付テ此ノ上御質問ヲスルノモ如何カト思ヒマスガ、是モ私ガ考ヘテ居リマシタ「コシフリクト」ト云フモノハ小賣商人トソレカラ縣聯若シクハ全聯「コシフリクト」デハナイノデアリマシテ、普通ニ謂フ地方ノ肥料ノ卸賣商若シクハ米ノ仲買人、サウ云フヤウナ今迄中間ノ配給者トシテヤッテ居リマシタ直接消費者ニ、直接消費スル者ニ配給スルト云フ仕事デナイ、中間ニ立ッテ居タモノヲ見テ居ル譯ナンデアリマス、サウ云フヤウナモノハ段々此ノ統制經濟ガ進ムニ從ッテ、殊ニ木綿トカ何トカ云フモノニ付キマシテハ、段々一定ノ手數料制度ト云フヤウナコトニ變ッテ來ル傾ヲ持チマスヤウナ場合ニ承ッテ居ル譯デアリマス、サウ云フヤウナコトニナルト今ノ購聯、全購聯或ハ縣購聯ノ手數料制度ト云フモノモ全く同じヤウナ性質ヲ持ッテ來ルガ爲ニ、片ッ方ノ方

ダケ課稅ヲシ、片ッ方ノ方ハ課稅ヲシナイト云フコトハ租稅ノ公平ヲ缺クト云フヤウナコトニナリヤシナイカト云フヤウニ考ヘテ居リマシタノデアリマス、其ノ點ヲモウ一應サウ云フ具體的ノモノニ付テノ公平不公平ト云フヤウナ點ニ付テ如何御考ニナリマスカ承リタイト思ヒマス

○國務大臣(伯爵有馬頼寧君) 只今ノ御話ノコトハ能ク研究ヲ致シテ見ナケレバ今茲ニハハッキリ御答ヲ申上ゲ兼ネマスガ、所謂問屋トカ或ハ仲買人トカサウ云ツタ風ノモノハ、産業組合側デナシニ一般ノ商人側ニ於キマシテモ段々統制サレテ、矢張り一ツノ手數料ヲ貰ッテヤルト云フヤウナ一ツノ系統ノアル組織ニ段々變リツ、アルヤウニ考ヘマスノデ、産業組合ト同ジヤウナ形ノモノニ一般商人側ノ方カラ産業組合等ヲ見テ參リマス、サウ云フ風ナ傾向ヲ持ッテ居ルヤウニ考ヘラレマス、サウ云フ全然同ジヤウナ形ニナツテ參リマシタ場合ニ、其ノ間ニ課稅ノ點ニ於テ差別ノアルコトハドウカト思フト云フヤウナ御意見ニ付キマシテハ又能ク研究ヲ致シテ見タイト考ヘマスガ、私共ハ從來産業組合ノ本質カラ考ヘマシテ課稅ヲスベキモノデナイ、若シ産業組合ガ免稅ノ特典ヲ得テ居ルコトガ他ノ方面ト比較

シテ不都合デアルト云フナラバ、商業組合其ノ他ニ於テ同ジヤウナ特典ヲ與ヘレバ宜インダト云フ風ニ考ヘテ居ツタノデアリマス、尙能ク研究ヲ致シテ見タイト思ヒマス

○三浦新七君 只今ノ質問ハソレデ止メマス

○子爵大河内輝耕君 地方局長ガオイデニナリマシタラ、昨日伺ヒ掛ケタ材料ヲ戴ケバ宜シイノデスガ、説明デモ結構デス、此ノ度何ト申シマスガ、事變ノ結果トシテ所謂軍事上ノ事務ガ多イトデモ言ヒマスガ、ソレガ爲ニ地方費ガ大分膨脹シタト云フコトヲ聞キマスガ、總額デドノ位ニナリマスカ

○政府委員(坂千秋君) 御尋ニナリマシタ數字ハ調査ガ相當難カシイモノデアリマシテ、私共ノ手許デ極ク大雜把ト申シマスガ、餘リ確信ヲ以テ申上ゲ惡イ、數字デアリマスガ、サウ云フ意味デ取纏メマシタモノハ一應ゴザイマスガ、此ノ程度デ一ツ御了承ヲ願フコトト致シマシテ、ソレハ大體マア四千萬圓ヲ少シ超エル數字デハナイカト云フ大體ノ見當ヲ付ケテ居リマス

○子爵大河内輝耕君 昨日伺ヒマシタ所デ大藏當局ノ御説明ニ依リマスレバ、稅制整理ニ依リマシテ二千萬圓地方稅ノ減、賃貸

價格ノ改訂ニ依リマシテ一千萬圓ノ減ニナル、斯ウ云フコトダツタノデアリマスガ、内務當局ハ其ノ通リト承知シテ宜シイノデアリマスカ

○政府委員(坂千秋君) 賃賃價格ノ關係ノ方ハ約二千萬圓、ソレカラ稅制變更ニ伴フモノガ一千萬圓、大體ノ數字ハ其ノ通リト考ヘテ居リマス

○子爵大河内輝耕君 是ハ方針ニ屬スルコトデゴザイマスガ、其ノ積リデ御答ヲ願ヒタイ、賃賃價格ガ改定ニナリマス、現實ノ二千萬圓ヲ御減シニナル御見込デスカ、或ハ稅率デモ改正ヲシテ、此ノ二千萬圓ハ賃賃價格ハ課稅標準ハ減ルケレドモ、稅額ハ減ラナイト云フヤウナ意味ヲ持ッテオイデニナル積リデスカ、ソレハ如何デスカ

○政府委員(坂千秋君) 明年度ノ豫算ノ上ニ於キマシテ賃賃價格ガ減リマスルト、ソレニ伴ヒマシテ附加稅ガ自ラ減ルデアラウコトハ當然想像致サレマス、其ノ生ジマスル不足分ヲ何ニ依ッテ補フカト云フコトハ相當問題トナルト思フノデアリマスガ、是ハ率ヲ上ゲマスレバ、其ノ稅率ニ依ッテ補フコトモ出來ルデアリマセウガ、併シ是ハ他ノ收益稅即チ營業收益稅附加稅或ハ所得稅附加稅ト云フ方面トノ均衡モ考ヘナケレバ

ナラスコトデアリマシテ、地租ノミヲ増率スルコトハ、恐ラクハ適當デハナカラウカト云フ風ニモ考ヘラレルノデアリマス、從ヒマシテ他ノ方法ヲ考ヘナケレバナラスト云フコトニモ相成リマシテ、或ハ地方交付金等ガ、其ノ方面ニ相當ノ働ヲナスモノデハナカラウカ、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス

○子爵大河内輝耕君 サウスルト斯ウ云フ風ナ減額、稅制改革ニ依ッテ一千萬圓、賃賃價格ニ依ッテ二千萬圓、銃後ノ經費ガ四千萬圓、之ヲスツカリ合ハセルト七千萬圓ニナル、ソレデ地方交付金ハタツタ三千萬圓ノ増加ト云フト、何カ不權衡ナヤウニ思ヒマスガ、其ノ點ハ内務當局ハドウ御考ニナリマスカ

○政府委員(坂千秋君) 三千萬圓ノ増額ニナリマシテ一億三千萬圓ニナリマス、此ノ一億三千萬圓ヲ全體トシテ、之ヲ總計シテ考ヘテ見タイト思フノデアリマスガ、是ハ一萬一千有餘ノ市町村、或ハ五十足ラズノ此ノ府縣ニ對シテ、道府縣ニ配分セラレマスルガ、各地方團體ハ、ソレノ又財政ノ宜シイ所モゴザイマスシ、非常ニ窮乏シテ居ル所モアルノデアリマシテ、財政ノ宜シイ所ハ即チ抛ッテ置キマシテモ、若干ノ自然

増收モ見得ルヤウナ團體デアリマスレバ、餘リ多クノ交付金ヲ出シマセヌデモ經理ノ付クコトデアリマスルシ、財政窮乏致シテ居リマスモノハ、特ニ多クノ金ヲ配分致シテ、其ノ窮乏ヲ見テヤラスコトニ相成ラナケレバ經理ガ付キマセヌデ、配分ニ當リマシテモ、貧弱ナ團體ニハ多分ニ參リマシヤウニ、財政ノ宜シイ方面ニハ少クテ我慢シテ貰フヤウナヤリ方致サナケレバナナルマイト思ヒマスルノデ、大體一億三千萬圓ヲ以チマシテ、相當地方團體トシテハ經理ガ出來ルモノデハナカラウカ、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス、尙其ノ負擔ガ均衡ヲ得テ居リマスル限り、即チ銘々其ノ持分ニ應ジマシテ、戰時關係ノ經費ヲ地方團體デ相當負擔スルコトハ是ハ已ムヲ得ナイデハナカラウカ、或者ノミガ特ニ多ク負擔スルコトハ適當デハナイノデアリマスケレドモ、公平ナル負擔ニ於キマシテ、相當ノ經費ヲ持チマスコトハ、是亦當然ノコトデハナカラウカ、斯ウ云フ考ヲ他面ニハ持ッテ居ル次第デアリマス

○子爵大河内輝耕君 サウスルト、賃賃價格ノ二千萬圓ニ對シマシテハ、其ノ缺陷ノ二千萬圓ニ對シマシテハ、特ニ地方交付金ヲソレダケ御殖ヤシニナルト云フ御考ハナ

イノデスカ、アルノデスカ、ドウデスカ

○政府委員(坂千秋君) 三千萬圓ノ増額ノ理由ハ、恐ラク大藏大臣、其ノ他カラ御説明ガアツタノデハナイカト思ヒマスルカラ、私カラ餘リ申上ゲルコトハ如何ト思ヒマスガ、此ノ賃賃價格ノ改訂、或ハ稅法ノ改正、其ノ他戰爭關係デ經費ガ多分ニ要ッテ居ル各種ノ事情ヲ綜合判斷セラレマシテ御決定ニナツタモノデハナイカト私ハ考ヘテ居ル次第デアリマス

○子爵大河内輝耕君 サウシマス、稅制改正、賃賃價格改訂ニ依ル收入ノ減、今ノ軍事費ノ増、斯ウ皆合セテ來ルト三千萬圓デハ足リナイノデスカ、足りナクテモ構ハナイ、斯ウ云フ譯デスネ

○政府委員(坂千秋君) 交付金ガ各地方團體ニ配當致サレマス、其ノ配當致サレマシタモノハ、本年度ノ交付金ハ其ノ總テヲ廢稅、減稅、負擔ノ輕減ノミニ充當致シタノデアリマスガ、十三年度ニ於キマシテハ廢稅、減稅固ヨリ致スノデアリマス、其ノ大部分ノモノハソレニ充當セラル、デアリマセウカ、併シ財政ノ非常ナ惡イ團體デアルト軍事關係ノ經費ヲ支辨スルニ困難ヲ感ジテ居ルヤウナコトニ付キマシテハ相當ノ部分ノモノハ其ノ方ノ經費ニ交付金ノ充當

ヲ用ヒセシムル、交付金ヲ其ノ他廢稅減稅
ダケデナクテ、其ノ方面ニモ使ハシメタラ
ドウデアラウカ、斯ウ云フ考ヲ持ッテ居ル次
第デアリマス

○子爵大河内輝耕君 サウスルト内務當局
トシテハ一億三千萬圓デ他ニ別ノ問題ガ起
レバ格別、然ラザル限リニ於テ例ヘバ稅制
ノ改正ニ依ル減、賃賃價格ノ改訂ニ依ル減、
減稅ニナツタ經費ノ増加、是カラ増加シタノ
ハ別デスガ、今ノ程度デ行クト云フ現在ノ
程度ナラバ先ヅ一億三千萬圓以上ハ増加ハ
シナイ見込デアアル、斯ウ承知シテ宜シウゴ
ザイマスカ

○政府委員(坂千秋君) 一億三千萬圓ハ必
シモ十分デアルトハ申シ兼ネルト思ヒマス
ガ、色々ノ情況カラ判斷致シマシテ、先ヅ
此ノ程度ヲ以テ満足スル外致シ方ナイモノ
デハナカラウカ、斯様ニ考ヘテ居リマス
○子爵大河内輝耕君 能ク分リマシタ、是
デ内務當局ニ對スル質問ハ私ハ宜シウゴザ
イマス

○三浦新七君 今ノ問題ニ付テ大藏當局ニ
御伺ヒ致シタイノデアリマス、昨日大臣カ
ラ御話ニナツタコト、又今大河内子爵ノ御質
問ニ對シテ御答ニナツタコトカラ考ヘテ見
マス、三千萬圓ト云フモノノ使ヒ途ガ

ドウモハッキリシナイコトガ甚ダアル、此處
デ稅制ヲ議スル場合ニ於テ困ルヤウナ氣ガ
致シマス、大藏省ノ方デハ斯ウ云フ計算デ
三千萬圓出シタノダト仰ッシャルシ、内務省
ノ方デハ、ソレハ時局ニ對シテ經費ガ多ク
ナツタカラ、其ノ方ニ向ケルノダ、斯ウ云フ
ヤウナコトニナリマス、ドウモ其處ニ何
カ兎ニ角三千萬圓ヲ出スカラソレヲ適當ニ
使ツタラ宜イダラウト云フヤウナコトニ話

ガ落著イタノデハナイカト云フヤウナ工合
ニ考ヘラレル譯デアリマス、其ノ事ハ此ノ
委員會ニ於テ地方ナリ、都會ナリノ間ニ稅
ノ均等ト云フ方面カラ觀察シナケレバナラ
ヌ問題ダト思ッテ居ル譯ナノデアリマス、是
ハ此ノ前御配付ニナリマシタ資料ノ七ト云
フモノノ中ノ稅第六十二號ト云フ所デ地方
ノ商業者若シクハ工業者ノ營業稅ノ負擔、
地主、小作人ト云フヤウナモノニ付テノ平
均、昭和六年ト今度増稅案ガ通ツタ後ニ於ケ
ル計算ト云フモノヲ出シタ表ガ示サレテ居
ル譯ナノデアリマシテ、之ヲ見マシテモ先
ヅ餘程地方ノモノノ負擔、ソレカラ都市ニ
於ケルモノノ負擔ト云フヤウナモノガ平均
シテ來タ、自作農ト云フヤウナモノニ付テ
ハ八十八、詰リ都市ニ於ケル營業者ガ百デ
アル場合ニ、農村ノ營業者ガ八十九デアアル、

自作農者ハ八十八デアアル、是ハ多分六千圓
カ何カノ收入ニ付テノ統計ダト思フノデア
リマスガ、サウ云フヤウナ工合デ、工合ノ
惡イノハ唯都市ノ地主ト農村ノ地主ト云フ
モノダケガ餘計ナ負擔ヲ背負ッテ居ル、是ハ
又不動產ノ負擔ト、ソレカラシテ動產ノ負
擔ト云フ方面カラ觀察スベキ問題デアリマ
ス、是ハ別ニシマシテ、兎ニ角相當ニ平均
シテ來タト云フコトニ考ヘラレル譯デアリ
マシテ、ソレカラシテ又昨日大藏大臣ノ御
話ニ依ッテモ大體平均シテ來タノデアアルカ
ラシテ、此ノ上賃賃價格ノ額ガ減ッテ來テ
モ、附加稅ヲ減ラサナクテモ宜イナラバ、
減ラサナクテモ宜イ、勝手ニシテモ宜イ、
斯ウ云フヤウナ御話ガアツタ、其處ニ詰リ餘
程平均シテ來タト云フ事實ヲ認メテ來ラレ
タコトガ現レテ來テ居ルノデヤナイカト云
フヤウナ工合ニ考ヘル譯デアリマス、ソレ
ニ元々此ノ一億圓ノ地方交付金ト云フヤツ
ハ地方ト都會トノ間ノ平均ヲ取ルト云フ目
的ノ爲ニ拵ヘラレタモノデアリマス、ソレ
モ初ハ七千萬圓デアッタノガドウモ多少妥
協ニ依ッテ三千萬圓増加スルコトニナッテ一
億圓ニナリ、此ノ際又妥協ニ依ッテ三千萬
圓増加ニナルト云フコトニナリマス、ド
ウモ地方ノ負擔ト都會ノ負擔トノ間ニ平均

スルト云フ方面カラ見ルト非常ニ困ルコト
ニナル、サウ云フ譯デアリマスカラシテ、
其ノ負擔ノ公平ト云フコトニ關係ナシニ大
藏省ハ三千萬圓出スト云フ御決心ニナツタ
ノデアリマス、或ハソレトモ其ノ地方ノ
個々ノ負擔者ノ場合ハ段々平均シテ來テ居
ルケレドモ、サウ云フモノノ集ツタ村ト云フ
モノハ元々資力ハ少ナイノデアアルカラ、都
會ト比ベテ村ノ經濟、村ノ役場ノ經濟、若
クハ縣ノ役所ノ經濟ト云フヤウナモノニ於
テ困ル所ガアルカラシテ、ソレヲ平均セシ
メル爲ニ三千萬圓ト云フヤウナモノヲ此ノ
際増加スルノデアアルカ何トカ一ツソコニ關
係ガアルカナイカヲ此ノ際ハッキリシテ戴
カナイト、ドウモ此ノ地方交付金ト云フモ
ノハ機會ノアル度毎ニ片方ノ稅制整理案ガ
出來レバ別デアリマスガ、増加スル傾ヲ持
ツ、何時デモ是ハドウモ問題ノ種ニナッテ、
問題ノ種ニナレバ減ルコトガナクテ増加ス
ルト云フ傾向ヲ持ツト思ヒマスガ、其ノ點
當局ノ御考ヲ承リタイ

○政府委員(太田正孝君) 昨年結城サンノ
大藏大臣ノ時ニ七千萬圓ニ更ニ三千萬圓加
ヘマシテ一億圓ニナリマシタ時ノ關係竝ニ
今回三千萬圓ヲ更ニ増額シタ關係ヲ申上ゲ
テ見マス、無論地方ノ負擔ノ均衡

第四部第二九類 支那事變特別稅法案特別委員會議事速記第三號 昭和十三年三月二十三日 貴族院

ヲ得ルト云フコト、特ニ國稅ト關聯シテ負擔ノ均衡ヲ得ルト云フコトハ勿論要素デハゴザイマスルガ、併シ豫算ノ文字ニモアリマス通り地方財政ヲ一括シテ茲ニ一ツノ補給ヲシテ行キタイト云フノガ第一ノ目的デアリマス、無論ソレヲ分配スルニ付キマシテハ一億圓ノ時ニモ條件ガ附イテ居リマシタ通り、成ルベク町村ノ方ニ行カウ、或ハ負擔ノ均衡ヲ圖ルヤウニショウ、地租其ノ他ノ戸數割等ノ減稅ニ當テシメヤウト云フ内容ガ加ハッテ居リマスガ、第一ノ狙ヒト云フモノハ地方財政ノ補給ト云フコトヲ目的トシテ居リマス、從ッテ補給ノ内容トナルモノハドウ云フコトカト云ヘバ、稅ノ關係モアリマス、軍事ノ爲ニ大變費用ガ嵩ムト云フコトモ考慮サレテ居ル、第一ニハ財政ノ補給デアリマシテ、ソレヲドウ云フヤウニ埋メテ行クカト云フコトニ付キマシテ大變議論ガアリマシタノデ、委員會ヲ作ッテ、ソコデ議ニ掛ケテ決メテ行ク、斯ウ云フヤウニ御了解ヲ願ヒタイト思ヒマス

○三浦新七君 サウ致シマス、其ノ三萬圓ト云フコトハ今度ノ地方ノ附加稅ガ減少スル、ソレトハ關係ナシニ御決メニナッタト云フヤウニ考ヘテ宜シウゴザイマスカ

○政府委員(太田正孝君) 先程地方局長ガ

申シマシタ通り、サウ云フノヲ俗ナ言葉デ申シマスアレヤ、是レヤト云フコトニナリマスガ、綜合的ト云フコトヲ地方局長ハ申シマシタガ、綜合シテ三千萬圓ト云フコトヲ決メタノデゴザイマス

○三浦新七君 其ノ綜合ト云フコトニナリマス、又次ニ問題ヲ起コス因ニナルノハナイカト云フコトヲ心配致シマスノデ、實ハ何トカソコヲハッキリシテ戴キタイト思フノデアリマス、今日綜合シテ六千萬圓茲ニ要ルドラウ、ソレヲ三千萬圓出サウ、斯ウ云フコトニナッタノデゴザイマスカラ、是ハ又問題ガ起リマス、今度ハ又請求スル場合ニ地方稅ノ附加稅ト云フモノガ少クナッタカラト云フコトヲ理由トシテ、又請求ガ出來ルト云フコトニナルコトニナル、ソコガモウ少シハッキリシテ戴キタイト云フコトヲ申上ゲルコトガ、無理ナノカモ知レマセヌデゴザイマスガ、ドウモ衆議院ノ委員會ノ速記ヲ見マス、或ハ二億圓、或ハ五六億迄ハドウシテモ上セルヤウナ氣分ガ見エマスノデ、是ハドウモ財政ノ上カラ考ヘテ非常ニ困ッタ問題デアルト思フ譯デアリマス、何ントカモウ少シ綜合的ト云フヤウナコトデナシニ、此ノ三千萬圓出シタ意味ヲ稅制ノ方カラ理窟付ケルト云フコトハゴザ

イマセンデセウカ

○政府委員(坂千秋君) 念ノ爲ニ私カラモ

ウ一度申上ゲマスガ、恐ラク三千萬圓ト云フ金ガ極マリマシタノハ貨價價格ノ二千萬圓ト稅ノ改正關係デ一千萬圓、合計三千萬圓ト云フコトガ可ナリ大キナ動機ヲ爲シテ居ルト思フノデアリマス併シナガラ其ノ使ッタル金ハ全部サウ致シマス廢稅、減稅ダケニシカ使ヘナイ、動機ガソコニアリマス此ノ目的ニ設ケタモノハ其ノ目的ニ使ウト云フコトニナル譯デゴザイマシテ、全部ガ廢稅、減稅ニ使ハルベキモノニ一應ナルト思フノデアリマスガ、併シ地方ノ團體ニ依リマシテハ戰爭關係ノ經費ノ調達ニ非常ニ苦シンデ居ル所モ少クナイカラ、サウ云フ方面ニモ此ノ經費ノ支途ヲ求メタイノデ、地方團體ガ其ノ經費ニモ苦シンデ居ルト云フ氣持ガ、金ノ使ヒ途ヲ其ノ部分迄ハ擴充スルト云フコトニ致シテ置キタイ、斯ウ云フ一面氣持ガアリマスノデ、ソレデアレ是レ其ノ意味ノコトガ出テ參リマシテ、御疑問ニナルヤウニ思ヒマスガ、先ヅ三千萬圓ト云フ目安ヲ立テラレマシタ場合ニ、二千萬圓ト一千萬圓ト合計三千萬圓之ヲ支出致シマセヌト、地方團體ハソレダケ歳入缺陷ヲ生ジマス、此ノ歳入缺陷ハ何等カノ形デ

増徴致サナケレバナリマセヌ、ソレハ或ハ場合ニヨリ負擔ノ均衡ヲ破ルコトニナルカモ知レマセヌ、苛斂誅求ト云フ非難ヲ受ケルカモ知レマセヌ、其ノ結果ハ負擔ノ均衡ト云フモノハ得ラレナイノデアリマスカラ、特ニ財政ノ惡イ所デハ戰爭關係ノ經費ニ使ウ所モゴザイマセウシ、サウデナイ所ハ普通ノ經費デ戰爭關係ノモノハ支辨セラレル所モアルデゴザイマセウシ、サウ云フ思想ハマア兩様ノ思想ガ含マレテ居ル、ト斯ウ申シタ積リデアリマス

○三浦新七君 實ハ私モ地方ノモノデアリマシテ、地方ノ財政ノ苦シイコトハヨク心得テ居リマス譯デアリマス、ソレト同時ニ今ノ狀態デハ中央ノ財政ト云フモノモ非常ニ苦シイ、税金ヲ取ルコトモ困難デアルシ、隨分苦シイ仕事デアルト云フコトヲ考ヘテ居リマス、今ノ御話ハ要スルニサウ云フヤウニ地方ガ苦シインダカラ、何ントカ是カラ相當ノ金額迄上ル危險ノアルモノヲ、其ノ危險ヲナンボナンデモ「チエック」シテ置キタイト云フノガ此ノ提案ノ目的デアリマス、今ノ地方局長サンノ御話ハ是ハ大體ノ限度トシテハ附加稅ガ減ルト云フコトノ爲ニ出スンダ、併シ所ニ依ッテハソレバカリデハナインダカラ、ソレヲ適當ニ地方デ處分ス

ルコトハ認メル、詰リ外ノ言葉デ言ヒマス
ト云フト、是カラ後トニ於テ附加税ガ減ツタ
云フコトノ理由ヲ以テ、此ノ地方交付金
ト云フモノヲ請求シナイ、斯ウ云フ意味ニ
取ッテ宜シウゴザイマス

○政府委員(坂千秋君) 三千萬圓ガ二千萬

圓ト一千萬圓ノ合計デアル、即チ税法ノ改
正ト貸賃價格ノ改正デ當然生ズル減ヲ補フ
趣旨ガ目的ノ大キナモノト申上ゲタノデア
リマス、將來サウ云ツタ支出ガ重ネテ起リ
マスト貸賃價格ノ改正ハ十年先ノコトデア
リマスシ、税法ノ改正ハサウヤタラニ起ル
コトハナイト思ヒマスガ、同ジヤウナ原因
ガ發生致シマスレバ、同ジヤウナコトヲ考
ヘナケレバナラヌカト思フノデアリマスガ、
サウ云フ原因ガナイ限リハ此ノ總額ト云フ
コトニ付テハ、只今ノ所サウ突キツメタ考
ハ持ッテ居ラナイ、斯ウ云フコトヲ申上ゲタ
積リデアリマス、即チ言葉ヲ換ヘテ申シマ
スレバ、戰爭關係ノ經費ガ非常ニ殖エル爲
ニ交付金ハ非常ニドシ／＼増シテ行クト云
フコトニナリマスレバ、十分考慮ノ餘地ガ
アルノデハナイカト云フコトヲ私共多少考
ヘテ居リマス、他ノ方面ノ御意見ト違ッテ
居ル所ガアルト甚ダ恐縮デアリマスケレド
モ、其ノ爲無暗ニ殖ヤストニ云フコトハ考

慮ヲ要スル一點デハナイカ、斯ウ云フ氣持
ヲ持ッテ居ル次第デアリマス

○三浦新七君 大體分リマシタノデゴザイ

マスガ、今ノ第二ニ質問シタ要旨ハ是カラ
十年先ニモウ一度貸賃價格ガ變ル、其ノ間
題ヲ考ヘテ居ルノデハゴザイマセヌ、今年
若シクハ來年アタリ又早速問題ガ持チ上ッ
テ、去年ノ方ハ是ハ戰爭、此ノ時局ノ爲ニ
經費ガ増加シタ爲ニ三千萬圓貫ツタ、片ッ方
ノ附加税ノ方ハ未ダ濟ンデ居ナイ、附加税
ヲドウシテモ減ラス必要ガアルカラ之ヲ増
額シテ呉レト云フヤウナコトニ付テノ心配
ハナイモノト云フ位ニ考ヘテ宜シイカト云
フコトヲ御質問申上ゲタ譯デアリマス、サ
ウ云フ工合ニモウ一應念ヲ押スト申シマス
カ、サウ云フ風ニ考ヘテ宜シウゴザイマス
カ

○政府委員(坂千秋君) 從來國税ノ、税法

ノ變更ガアリマシテ、其ノ結果地方財政ニ
缺陷ヲ生ズルコトガアツデハヤッテイケマセ
ヌノデ、サウ云フ所ニ對シテサウヤタラニ
殖スト云フコトヲ考ヘテ居ラナイ、斯ウ云
フ風ニ申上ゲタ積リデアリマス

○政府委員(太田政孝君) 同ジヤウナ考デ

ゴザイマス、御趣意ノ點ノ無暗ニ斯ウ云フ
モノガ殖エテ行クト云フコトハ非常ニ財政

ノ上カラ大キナ問題デゴザイマスシ、尙實
ハ昨年一億圓ノ分配ト云フ時ニハ當院ニ居
ラレル酒井伯爵モ出テ居ラレマシタガ、非
常ニ複雑ナ問題デゴザイマシテ、各地方ノ
情況ガ違ッテ居リマスカラ、其ノ分配ノ方法
ニ付キマシテハ内務當局ノ原案デハ非常ニ
細カイ所迄行ッテ居ルノデアリマス、不揃ニ
ナツテ居ル所ヲ分配シテ行ッテ、其處ヘ好イ
結果ヲ示シテ行キタイ、今回ノ三千萬圓ノ
起ツタ趣旨ハ矢張り減税ガ主ニナツテ居リマ
スガ、ソレバカリト云フト片ッ方ノ軍事ニヤ
ルノガイイカナイ場合ガ起リマス、大變理
論トシテハ濁ル場合モゴザイマスガ、其處
ガ實際ノ今ノ地方ノ情況ハ或ハ地方局長カ
ラ御聽キ下サレバ分リマス通り、非常ニ複雑
シテ居リマスノデ、大變ソレニ充テヤウトス
ル爲ニ、又外ノ點ガ大マカニ三千萬圓ト決
メタ爲ニ御疑念ガ起ツタラウト思ヒマスガ、
大體ノ趣旨ハ御言葉ノ通りデゴザイマス

○男爵松平外與麿君 極ク簡單ナコトデス

ガ、地方局長ニ御願ヒ致シマス、先程ノ御
話ニ對シテ、今度ノ交付金ノ額デハ満足ハ
シナイガト云フ御言葉ガアツタノデアリマ
スガ、内務當局トシテ正確ニ仰ッシャルコ
トハ御困難デアリマセウガ、一體地方交付
金ガ凡ソドレ位ナラバ安心シテ地方財政ノ

困窮ヲ救フコトガ出來ルカ、ドウカト云フ
御見込ノ計數デモ御差支ナケレバ一ツ參考
ニ承リタイト思ヒマス

○政府委員(坂千秋君) 大變ムヅカシイ御

質問デアリマスガ、是ハ御承知ノヤウニ毎
年度臨時ノ、根本的税制改正ニ至リマス迄
ノ臨時的措置トシテ、一年限りノ經費ニ付
テダケノモノデアリマス、十三年度ニ於キ
マシテハ先ヅ此ノ程度デ満足シナケレバナ
ラスト思ヒマス、根本改正ノ際ニナリマス
ト、根本改正ノ内容ニ迄至ルコトデアリマ
スノデ、只今ドノ程度ト云フコトヲ申上ゲ
ルコトハ非常ニ困難ヲ感ジマス、御了承ヲ
戴キタイト思ヒマス

○男爵松平外與麿君 サウ致シマスルト、

今ノ御話ヲ承リマス、此ノ交付金ハ一年
度限りダト云フ御話デアリマスカラ、是迄
ハ金額ガ多少増シテ、又一億圓ガ一億三千
萬圓ニ増シテ來タノデアリマスガ、將來ハ
相當事變モ收マリ、經濟モ回復シテ相當減
ズルモノト考ヘテ宜シウゴザイマス

○政府委員(坂千秋君) 將來税制ノ根本改

正ニ至リマス迄ノ過渡的措置ト致シマシテ
モ、此ノ交付金ガ減ルト云フコトハ餘リ考
ヘテ居リマセヌ

○橋本辰二郎君 地方ノ財政ノ、就中市町

村ノ財政ノ窮乏ト云フコトハ、地方局長能ク御承知ノコトト思ヒマスガ、能ク世間デハ教育亡國ト云フコトヲ唱ヘル者ガアリマ

スガ、町村ノ經費ノ過半ハ教育費ニ持テ行カレル、ソレガ爲ニ非常ニドウモ困難ニ瀕シテ居ルト云フヤウナコトヲ度々聞キマ

スルガ、國民教育ト云フコトカラ考ヘマシテ、教員ノ費用ソレ全部ヲ國庫デ支辨ヲス

ルト云フコトハ當然デナイカト考ヘルノデ

アリマスルガ、ソレニ付キマシテ何カ御考

ハアリマセスカ……イヤソレハ地方局ノ關

係デヤナイデスカ

○委員長(子爵前田利定君) 文部省カ内務

省カ、ドッチデスカ

○政府委員(太田正孝君) 財政計畫ノ點カ

ラ申シマス云フト、今ノ橋本サンノ仰セ

ニナツタ點ハ一度馬場サンノ財政改革ト申

シマスカ稅制改革ノ時ノ一ツノ要綱ニナツ

テ居リマシテ、市町村分ハ府縣ニ持タシテ、

其ノ分ヲ補給スルト云フヤウナ案ヲ馬場サ

ンノ時ニ作ッテ居ラレマシタノデスカ、理論

トシテハ國家ガ持ツカト云フコトハ別ト致

○橋本辰二郎君 只今ノ私ノ質問ハ、ドウ

モ少シク此ノ席デ申上ゲルノニハ當ヲ失シ

タヤウデアリマスガ、昨日御尋ネ致シテ置

キマシタ十二年度ニ發行スベキ公債ニシテ

十三年度ニ持越サルベキ額ト云フコトニ付

キマシテ、マダ御答辯ヲ得マセスカ……

○政府委員(太田正孝君) 大變御報告ガ遅

レテ申譯ゴザイマセヌ、昭和十二年度ニ於

ケル公債發行ノ總額ハ三十三億九千四百萬

圓ニナツテ居ルノデゴザイマス、節減ヲ繰越

ヤ使用見合セ等ノ關係ヲ大體ニ見マシテ、

差引ドノ位發行シナケレバナラスト云

フ見當ハ三十二億一千三百萬圓ニナツテ居

リマス、三十二億一千三百萬圓見當出サナ

ケレバナラスデヤナイカ、其ノ中デ既ニ發

行シテ居リマスモノハ十九億圓デアリマス、

三十二億圓カラ十九億圓引イテ見マス、

十三億一千三百萬圓未發行ニナツテ居リマ

ス、而シテ是ガドノ位繰越ニナルカト云フ

コトハ、今後自然增收ガドレ位ニナツテ行

クカ、更ニ歳出不用額ガドレ位出ルカト云

フコトニ依ッテ定マツテ參リマス、又此ノ月

末迄ニ或ハ手當ヲスルコトニナリマスレ

バ、其ノ額モ其ノ中カラ引カナケレバナリ

マセヌ、今迄マダハッキリ申上ゲル迄ニ至

テ居リマセヌ、自然增收ガドレ位カ、歳出

不用額モマダハッキリシテ居リマセヌガ、サ

ウ云フ點ヲ考慮ノ中ニ入レテ十三億ノ内ド

レダケ減ッテ來ルカト云フ問題ニナツテ來ル

ノデゴザイマス、自然增收ノ方ハ毎月ノ現

計ノ收入ノ足取リヲ見マス、大變好イ結果

ニナツテ居リマス、不用額ノ關係ハ相當昨年

カラ強イ節減繰延ヲ強ヒテ居リマス關係デ、

餘リ多クハナイカト思ヒマス、此ノ十三億

一千三百萬圓ノ内、假ニ三億自然增收ガ出

レバ十億ニナリ、又不用額ノ關係デ減ッテ

參リマスガ、大マカニ申上ゲルヨリ外ナイ

ノデゴザイマスガ、大體財務當局トシテ十

三億一千三百萬圓ト云フコトヲ抑ヘテ居ル

ノデゴザイマス

○橋本辰二郎君 實ハ此ノ御尋ヲシタ私ノ

眞意ハ、公債發行ノ不用額ガドレ位アルカ、

又自然增收ガ幾ラアルカト云フコトヲ承リ

タカッタデアリマス、マダ御調査ガ出來ヌ

ト云フコトデアリマスガ、大體ノ見透シガ

著イテ居リマスナラバソレヲ承ルコトガ出

來レバ仕合セト思ヒマス

○政府委員(太田正孝君) 不用額トノ關係

ハ各省トノ交渉モゴザイマスガ、自然增收

ニ付キマシテハ最近ノ現計ヲ御手許ニ差上

ゲルコトニ致シタイト思ヒマス

○三浦新七君 一寸主稅局長サンニ御願シ

タイノデゴザイマスガ、此ノ間頂キマシタ

書面ノ中ノ法人ノ所得稅額ヲ制限スル場合

ノ計算例ト云フモノガ二ツ、三ツアリマス、

是ガ個人ノ所得ノ場合ニ於テ五十五「パー

セント」デスカ是ガ増加スルコトハ能ク分

リマセヌガ、法人ノ場合ニ實際此ノ制限額

ニ到達スルデアラウト思ハレル、會社法人

ノ數ト云フコト若シクハ其ノ金高ノ豫想ガ

著イテ居ラレルノデゴザイマセウカ

○政府委員(大矢半次郎君) 是ハ詳細ナ計

算ハ致シテ居リマセヌ、極メテ稀デアリマ

スルデサウ適用ノ數ハ多クナイト存ジテ居

リマス

○三浦新七君 個人ノ所得制限ニ於テノ計

數ハ御計算ニナツタモノガアルノデゴザイ

マスカ

○政府委員(大矢半次郎君) 個人ニ於キマ

シテハ第三種所得百七十四萬三千四百二十

五圓以上ノモノガ制限ニ掛ルノデアリマス、

是以上ノ所得者ト云フモノノ數ガ至ッテ少

イノデゴザイマス

○三浦新七君 モウ一ツ徵稅技術ノコトヲ

御尋ネシタイト思ヒマスルガ、法人ノ所得

稅ノ計算ノ場合デゴザイマスガ、貸借對照

表ヲ拵ヘル時ニ、其ノ年度ニ拂フベキ税金

ト云フモノニ付テノ拂フベクシテマダ支拂

ハ

ハ

ハ

ハ

ハ

ハ

ハ

ハ

ハ

ハ

ハ

ハ

ハザルモノヲ見返リシテ負債勘定ニツケ、損失勘定ニツケル、ソレハ無論御引キニナルダラウト思ヒマス、來年度分ノ租税負擔ヲ此ノ租税引當ト云フヤウナ風ニシマシタ場合ニハソレハ何時課税セラレルコトニナリマスカ

○政府委員(大矢半次郎君) 法人ノ各事業ニ於テ税金引當金ヲ計算シタ場合ニ其ノ當該年度分ノ所得ニ對スル税金ノ引當金ハ其ノ期ノ損金ニハ認メマセヌ、翌期ニ於テ損金ニ認メル、斯ウ云フコトニナッテ居リマス、翌期ニ於テ前期分ニ對スルモノヲ税金引當金トシテ計算スレバ是ハ經費ト認メル、斯ウ云フ扱ニナッテ居リマス

○三浦新七君 チョットハッキリ致サナイガ、去年ノ貸借對照表ニ從ッテ課税セラレル譯デセウガ、其ノ場合ニ詰リ今期分ニ支拂フベクシテ支拂ハナイモノト申上ゲマシタノハ、詰リ昨年度ノ成績ニ依ッテ今年分ニ計上シタモノノ、其ノ引當ハ詰リ損失勘定ニ御認メニナルノデゴザイマスカ

○政府委員(大矢半次郎君) 左様デゴザイマス、昭和十二年度下期分ニ對スル所得税、臨時利得税ヲ昭和十三年ノ上期ニ於テ税金引當金トシテ計算致シテ居リマスレバ、是ハ十三年上期ノ經費ト認メルノデゴザイマ

ス

○三浦新七君 今ノ問題デゴザイマス、是レ迄御質問申上ゲタコトハ主トシテ其ノ負擔ノ均衡ト云フ方面カラ御質問申上ゲテ居ッタ譯デアリマス、モウ一ツ此ノ法人ノ負擔ト個人ノ負擔ト云フコトニ付テ政府ガドウ云フ工合ニ見テ居ラレルカト云フコトヲ御尋ネシタイ譯デアリマス、此ノ法人課税……法人殊ニ株式會社ノ課税ト云フコトハ二重、三重ノ税ニナル處ガアリマスノデ、個人ノ課税ト別ニシナケレバナラヌモノデアルト云フ議論ハアルノデアリマスガ、是等ハドウモ自分共ノ考ニ依リマスルト、多少誤ッテ居ルノデヤナイカ、株式會社トカ云フ法人ハ少クトモ外ノ個人ト同ジヤウナ獨立性ヲ持ツタモノデアッテ、從テソレハ多少累進税ヲ課スルトカナントカ云フコトニ付テハ多少取扱ヲ異ニスル必要ガアルトハ思ヒマスカ、兎ニ角二重、三重ニナルト云フ議論ニ付テハ、今私ガ伺ヒマシタ税金ヲ總テ引去ルノダト云フ所カラ解消シタモノト見ラレル、百萬圓儲カッテ前年度ニ例ヘバ二十萬圓ノ負擔ヲシテ居ルト云フ時ニハ、其ノ二十萬圓ト云フモノハ今年ノ課税デ以テ引去ラレル譯デスカラ税金ノ負擔ガナイ、全ク二重ニモ三重ニモ取ラレルノダト云フコトハ

起ルノデナイト云フ風ニ考ヘル譯デアリマス、其ノ點カラ考ヘマスト、詰リ法人ノ課税ヲドノ程度ニ止メルカト云フコトハ、ソレヲ課税スルコトニ依ッテ企業心ヲドウ妨グルカ、詰リ餘リ税ヲカケルト企業心ヲ害スル、其ノ間ノ「バランス」デ以テ先ヅ課税率ガ決マルト云フヤウナ考デ宜シイノダラウト自分ハ思ッテ居ルノデアリマス、サウ云フ見地カラ考ヘテ見マスト、ドウモ今ノ法人ノ負擔ト云フコトハ割合ニ輕クナッテ居ルノデヤナイカ、今ノ法人ト個人ノ所得ニ付テハ斯ウ云フヤウナ特別ナ法制ヲ……税金ヲ制限スルト云フヤウナ規定ニ當嵌ルモノガ澤山アル、法人ノ所得ニ付テハ是ハ殆ドナイト云フ工合ニ見テ宜カラウト思フ譯デアリマス、法人ノ方ニハ税金ガ引カレマス、ソレカラ先程カラ問題ニナッテ居リマスル償却ト云フ問題ガ明白ニ認メラレマスト云フコトナンデアリマス、ソレガ一割、ソレニ二分五厘ノ税率ガ増シテ一割二分五厘ト云フ同ジヤウナ率ヲ個人ノ所得ト増シテ行ッタト云フ理由ハ自分トシテハ少シ「バランス」ヲ、平衡ヲ失ッテ居ルノデヤナイカト考ヘル譯デアリマス、殊ニ衆議院ノ改正案ニ依ッテ、ソレガ改正スル時迄矢張り同ジニ取扱ッデ一割二分五厘デスカ、二割二分五厘デスカ、

サウ云フコトニナッテ、ソレニ付テ政府ガ此ノ個人ノ負擔ト法人ノ負擔ト云フコトニ付テドウ云フ工合ニ御考ニナッテ居ルカ、ソレヲ伺ヒタイ譯デアリマス、ソレカラモウ一ツノ點ハソレニ附帶スル譯ナンデアリマシテ、所得税ノ方ハ此ノ法案ニ出テ居リマスカ、ヤウナ制限ヲシナケレバナラナイ程一杯ニナッテ居ルト見ナケレバナラヌ譯デアリマス、課税ノ負擔能力ノアル者ハ、大體ニ今ノ所殘ッテ居ル者ハ此ノ臨時利得税ト云フコトニ落チテ來ナケレバナラヌと思フノデアリマス、其ノ臨時利得税ヲカケラレテモ今ノ法人ノヤウナ場合ニハ左程此ノ負擔ノ制限ヲ受ケル所迄到達シナイ位ノ狀態デアルト觀察シマス譯デアリマス、ソレニ三割ノ、詰リ總體カラシテ一割ノ利率ヲ見テ、ソレカラシテ近頃ノ景況カラシテ其ノ償却ノ割合ヲ餘計ニヤッテヤル、ソレカラ前年度分ノ課税ト云フモノヲ損ト見テト云フヤウナコトカラ考ヘテ見テ、三十「パーセント」ト云フコトハ餘程低キニ失シマセヌカ、モウ少シハ税金ノ通り成ルベク少イコトヲ望ムノデアリマスガ、今日ノヤウナ狀態ニ於テ出來ルダケ非常ニ企業心ヲ害セナイ程度ニ於テ取ル次第デモアルノデス、又將來ニ於テモ此ノ税額ト云フモノハサウ減ラス

コトが出来ナイト云フ状態ニナルノデア
ト云フコトヲ覺悟シナケレバナラヌト思フ
譯デアリマス、トコロデ其ノ臨時特別稅ト
云フモノガ事變ガ終ヒニナルト直グ減ッ
テシマフモノデアリマス、是ハ其ノ點ヲ考
ノ中ニ入レテ、モウ少シ増額スベキデヤナ
カッタカト云フ工合ニ考ヘル譯ナシデアリ
マス、ソレニ付テ政府ノ所見ハドウ云フ工
合ニ考ヘラレテ居ラレルカ、要スルニ其ノ
個人ノ負擔ト法人ノ負擔ト云フ問題ニ付テ
ドウ云フ工合ニ考ヘラレテ居ルカ、御尋シ
タイノデアリマス

○政府委員(大矢半次郎君) 御答致シマス、
法人ノ負擔ト個人ノ負擔ト比較シテ其ノ輕
重ヲ論ズルト云フノハ非常ニ至難ナコトデ
ゴザイマス、所得稅法ニ於キマシテモ、大
體法人ニ付キマシテハ比例稅率ヲ以テ課稅
シテ居ルノデアリマス、個人ニ付キマシテハ累進
稅率ヲ以テ課稅シテ居ルト云フヤウナ情況デ
アリマシテ、是ハ本質ト言ヒマスカ、組織其ノ
モノガ違フノデゴザイマスカラシテ、サウ云
フ違ッタモノヲ同列ニ持ッテ來テ、其ノ負擔
ノ輕重ヲ簡單ニ論ズルト云フノハ、誠ニ至
難ノコトデアルト存ジマス、尙御示シノ通
リ法人ニ於キマシテハ、所得稅ハ實際ニ之
ヲ支拂ッテ時ニ於テハ損ニ認メル、而シテ個

人ノ方ニ於テハ之ヲ經費ニ認メナイト云フ
ヤウナ、計算方法自體ニ於テ違ッテ居ル點モ
アリマスルカラシテ、其ノ兩者ノ間ノ負擔
ノ均衡ヲ得テ居ルカドウカト云フノヲ見ル
ニ尙一層困難ノコトデアリマスルノデ、唯
然ラバ此ノ法人ニ對スル課稅ト個人ニ對ス
ル課稅ヲ全ク同一ニ扱ッテ行ッタラドウカト
云フコトノ御話ノ片鱗ガアッタヤウニ思ハ
レマシタガ、是ハドウモ性質上矢張り法人
ハ一ツノ資本ノ集積ト申シマスカ、背後ニ
ハ矢張り個人ガ控エテ居ルト云フコトヲ考
ヘナケレバナリマセヌノデ、各國ノ所得稅
法ヲ見マシテモ兩者ヲ全ク同一ニ扱ッテ居
ル所ガナイノデアリマス、元ハ法人擬制說
ト申シマスカ、法人ニ對スル課稅ト云フノ
ハ結局個人ガ負擔スベキモノダト云フ建前
ヲ大體取ッテ居タヤウデアリマスガ、近時漸
次法人ガ獨立ノ納稅主體デアルト云フ觀念
ノ方ニ進ンデ參ッテ居リマシテ、日本ノ所得
稅法ニ於テモ大體其ノ方向ニ進ンデ居ルト
思フノデアリマス、併シナガラ兩者ヲ全ク
同一ノ地位ニ竝ベテ課稅ヲスルト云フ譯デ
到底行ケナイト存ジテ居リマス、ソレカラ
法人ノ負擔ハモウ少シ強クシテ宜イデハナ
カラウカト云フ御話モゴザイマシタガ、近
時軍需工業ヲ中心ト致シマシテ時局關係デ

隨分法人組織デ事業ヲヤッテ居ルモノノ利
益ガ増大シテ參リマシテ、殆ド此ノ事變下
ニ於キマシテ此ノ傾向ガ特ニ強イノデアリ
マスカラシテ、此ノ臨時利得稅ヲ改組致シ
マシテ、乙種利得ヲ設ケマシテ、之ニ對シ
テハ個人ノ場合ヨリモ法人ニハ特ニ強ク課
稅シテ居リマシテ、時局下ニ於テ利益ノ増
大スル法人ニハ此ノ方面デ負擔ガ相當強ク
アリマスルト存ズル次第デアリマス、從ヒ
マシテ第三種所得稅ト法人ノ普通所得ニ於
キマシテ同ジク二割五分ノ増徴ヲ致シマシ
テモ、臨時利得稅ノ關係ヲ考慮致シマス
ト云フト、法人ニ對シテハ相當強ク掛ッテ行
クノデハナカラウカ其ノ意味ニ於キマシテ
大體仰セノ御趣旨ニ副フテ居ルコトデハナ
カラウカ、斯ウ存ズル次第デアリマス
○委員長(子爵前田利定君) 三浦君ニチヨッ
ト御相談致シマスガ、アナタノ御質問ハチ
ヨット一時後ニ讓ッテ頂ケマセヌカ
○三浦新七君 濟ンダノデゴザイマスガ、
チヨット申上ゲタイト思ヒマス
○委員長(子爵前田利定君) 宜シウゴザイ
マス
○三浦新七君 今ノ質問致シマシタコトハ
今度ノ案ヲドウ云フ工合ニイデラウカト云
フヤウナ意味ハ勿論持ッテ居リマセヌノデ、

衆議院ヲ通ッテ居ル法案ニ對シテ變更スル
ト云フ考ハ持ッテ居リマセヌ、唯是ハ稅ノ平
衡ト云フコトニ關係ガアリマスルノデ、是
カラ先御研究ニナル時ニ是非一ツ此ノ點ダ
ケヲモウ少シ御研究アッテ欲シイト云フコ
トヲ希望シテ置ク次第デゴザイマス
○委員長(子爵前田利定君) 皆様ニチヨッ
ト御諮リヲ致シマスガ、遞信大臣ガ御忙シ
イ中ヲ漸ク差繰ッテ來テ頂イタノデ居リマ
スカラ、モウ正午デアリマスガ深尾男爵ノ
質問ヲ此ノ際御許シ致シタイト思ヒマス、
暫ク御辛抱ヲ願ヒマス
○男爵深尾隆太郎君 私ハ此ノ日滿經濟關
係ニ關スルコトヲチヨット御伺シタイト思
フノデアリマス、此ノコトハ直接ニ當委員
會ニ付議サレテ居リマスル法案ト關係ガア
リマセヌケレドモ、重要ナ事項デアリマス、
又他ニ機會モナイト思フノデアリマスシ、
非常ニ貴重ナ時間、殊ニ只今ハ正午ヲ過ギ
タヤウナ有様デアリマスガ、暫時ノ御許ヲ
得マシテ委員諸君ニ御願ヒシ、遞信大臣ニ
モ御了承ヲ願フ次第デアリマス、是ハ對滿
事務局總裁ニ先ツ伺ッテ然後ニ遞信大臣
ニ伺ッテ見ヤウト思ヒマシタガ、中々御兩所
御一緒ニ御見エニナルト云フコトハムヅカ
シイサウデゴザイマスシ、又遞信大臣ニ於

カレテ對滿事務局總裁トモ既ニ御打合濟ミ
ノヤウニ伺ヒマシタノデ其ノ積リデ御尋ネ
致シマス、先ヅ日滿經濟關係ヲ律スル根本
方針ニ付テ、御尋スルノデアリマスガ、本
委員會ニ付託ヲサレテ居リマスル二ツノ法
案、即チ日滿國稅徵收事務共助法案、本邦
内ニ於テ募集シタル外國債ノ待遇ニ關スル
法律案、此ノ二ツハ詰リ所謂日滿一如ト稱
セラレル方針ノ一ツノ現レデアラウト思ハ
レルノデ、至極結構ノコトト考ヘテ居ルノ
デアリマス、此ノ日滿一如ト云フ一如ノ考
ヘ方ニ付テ、一如ハ即チ一ツデアアルカラ、

一方ガ善ケレバ一方ハ惡クテモ宜イデヤナ
イカ、滿洲サハ善ケレバ日本ハドウデモ宜
イデヤナイカ、或ハ日本ガ善ケレバ滿洲ハ
ドウデモ宜イデヤナイカ、一ツノモノデア
ルカラアツチトカ、コッチトカ考ヘナクトモ
宜イデヤナイカ、ト云フ考ノ如ク感ゼラレ
ル場合モアルノデアリマス、併シナガラ私
ハサウ云フモノデナクシテ、日滿一如ト云
フコトハ、矢張り共存共榮デアアル、即チ兩
方トモ競争ト云フヤウナコトハナイヤウニ
シテ、兩方トモ榮エテ行クト云フ一如デナ
ケレバナラヌト思フノデアリマス、即チ原
則トシテハ有無相通ズルト云フコト、先ヅ
一般のニ申セバ、滿洲ハ日本ニ對シテ原料

ヲ供給シ、日本ハ製品ヲ滿洲ニ送ルト云フ
ノガ、極ク大體ノ原則デハナイカト思フノ
デアリマス、サラバト云ッテ滿洲ニソレデヤ
製造工場ヲ起サナイカト云ヘバサウ云フ譯
ニモ參リマセヌ、ソレデ滿洲ニ於テハ原料
關係トカ若シクハ國防關係カラ見テ、滿洲
デ企業スルコトヲ是非トモ必要トスル範圍
ノモノハ、滿洲ニ於テ起シ、大體ニ於テ日
本ニ於ケル事業ノ壓迫ヲスルト云フコトノ
ナイヤウナ方針デ進メラレルベキモノト思
ハレルノデアリマス、此ノ點ニ對シテ御所
見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(永井柳太郎君) 日滿兩國ガ、
實ニ國防上ダケデナク、産業上ニ於キマシ
テモ相互扶助ノ關係ニ立脚シナクテハナラ
ヌト云フ深尾男爵ノ御意見ニハ、政府モ全
然同感ニ存ジマス、丁度國防上ノコトガ共
同防衛ノ基礎ニ立タナケレバナリマセヌヤ
ウニ産業上ノコトモ亦共同經營ト云フ一元
的ノ基礎ノ上ニ立ツベキモノデアルト斯様
ニ考ヘテ居リマス
○男爵深尾隆太郎君 其ノ點ニ付キマシテ
更ニ一應進シテ御伺ヲ致シタイト思ヒマス
ルコトハ此ノ日滿間ノ海運ニ關スル問題デ
アリマシテ、先般海事研究會カラ日滿兩國
ニ於ケル海運協定ニ關スル件ト云フコトヲ

海事研究會ニ於テ決議サレマシテ、其ノ陳
情書ガ多分遞信大臣ノ御手許ニモ參ッテ居
ルト思ヒマス、ソレハ讀ミマスノハ大變煩
ニ堪ヘマセヌカラ梗概ヲチョット申上ゲマ
スト、只今我が國ノ船舶ハ政府ニ於ケル各
種ノ施設宜シキヲ得タノト民間當業者ノ奮
闘ノ結果今ヤ總「トシ」數六百萬「トシ」ニ達
セムトシテ居ルノデアリマスガ、此ノ海外ニ領
土ヲ持ッテ居ルコトノ少イ我が國ハ是等ノ船舶
ヲ消化スルト云フコトハ餘程或場合ニハ困難
ヲ感ジマスルノデ經營ハ容易ナラヌト考ヘラ
ル、ノミナラズ各國ニ於テハ自國船主義ノ厲
行ガ益、露骨ニナッテ來ルヤウナ有様デア
ルノデアリマスカラ、今後我が國ノ當業者ハ

我が國ノ船舶海運界ノ將來ニ就テ非常ニ苦
心ヲシテ居ル次第デアリマス、然ルニ滿洲
國ハ建國以來著々諸般ノ制度ヲ整備シテ、
國內産業ノ振興モ結果ヲ現ハシテ來テ居リ、
從ッテ海外貿易モ相當増加スルト見ラルル
ノデアリマスガ、此ノ際滿洲國ニ於テ又滿
洲國獨自ノ海運ヲ創設スルコトガアリマス
レバ地形上經濟上密接ナ關係ニアル我が國
ノ海運トノ間ニ激烈ナル競争ヲ起スト云フ
コトハ明カナコトデアリマスカラ今日ニ於
テ同國ノ海運業ハ今ノ御話ノ、一元化スル
意味ニ於テ我が海運業者ニ當ラセルト云フ

コトヲ考ヘルコトガ最モ急務デナイカト思
ハレル、即チ是ガ共存共榮ノ途デアルト考
ヘラル、ノデアリマス、最近滿洲國ニ於テ
ハ海商法其ノ他ノ海事法規ガ制定サレタニ
モ拘リマセズ、又今申上ゲタヤウナ意味デ
ノ海運ニ關スル協定ガマダ締結サレテ居ラ
ヌノデアリマスカラ、此ノ點ニ於テ非常ニ
不安ヲ感ジテ居ル譯デアアル、速ニ此ノ問題
ヲ御取上ヲ戴イテ此ノ共存共榮ノ實ヲ舉ゲ
ルコトニ御盡力ヲ願ヒタイ、斯ウ云フヤウ
ナ趣意デ海事研究會カラ陳情ガ出デ居ルノ
デアリマス、私モ此ノ事ハ非常ニ急務デア
ルト考ヘマシテ、是非、遞信大臣ニ於テ御
盡力ヲ願ッテ、速カニ此ノ問題ノ解決ヲ見タ
イト思フノデアリマス、是ニ付テノ御考ヲ
承リマス

○國務大臣(永井柳太郎君) 只今深尾男爵
ノ御述ニナリマシタ通り陸上ノ産業ダケデ
ナク、海運事業ノ如キモノニ於キマシテモ
矢張り相互扶助ノ關係ハ實現シナクテハナ
ラナイト考ヘテ居リマス、殊ニ深尾男爵ノ
能ク御存ジノ通り、滿洲國ノ海運業ト云
フモノハ頗ル幼稚ナ狀態デアリマシテ、私
ノ記憶ガ誤ッテ居リマセヌケレバ、滿洲國ノ
沿岸貿易、又北支ノ沿岸貿易ニ從事シテ居
ルモノハ合計一萬「トシ」餘ニ過ギナイドラウ

ト存ジマス、勢ヒ日本ノ海運業ノ協力ヲ俟タナケレバ、滿洲國自體ノ産業ノ開發モ出來ナイ、滿洲國自體ノ通商モ出來ナイト云フヤウナ狀態ニナッテ居ルノデアリマシテ、將來ハ滿洲國トシマシテハ、特ニ日本ノ海運業ト無用ノ競争ヲ惹起スト云フヤウナ危險ヲ冒シテ迄、滿洲國自體ノ海運業ヲ創立スル、強化スルト云フヤウナコトハ今日ニ於テ必要ノナイコトデアリマシテ、出來ルダケ日本ト滿洲トハ其ノ海運業ニ於キマシテモ協調ヲ遂ゲマシテ、總テ協力スル精神デ經營ヲ進メテ行キタイト斯様ニ考ヘテ居リマシテ、此ノ點ハ對滿事務局ノ方デモ全然同感デゴザイマス

○男爵深尾隆太郎君 只今遞信大臣ノ御話ヲ承リマシテ、御趣意ノアル所ハ了承致シマシテ安心致ス次第デアリマスガ、併シハ唯自然ニ委シテ置キマスレバ、滿洲ニ於テ又海運業ヲ營ム者モ續出シテ來ルヤウナ虞モアリマス、丁度滿洲國ノ國防、就中海軍ガ、日本ノ海軍ガ滿洲國ノ國防ヲ任サレテ居ルト同ジ様ニ、何カノ公ノ方法ヲ以テ滿洲國ノ海運ヲ、沿岸トカ、内河トカ云フモノハ別デアリマスガ、外國貿易ハ日本ノ海運ニ任セルト云フヤウナ御取極デモ願ッテ置カナケレバ、唯自然ニ委シテ置カレ

ト云フト、又別ノ結果ヲ來シハシナイカト思ハレルノデアリマスガ、何カサウ云フ方策ヲ御考ニナッテ居リマセウカ承リタイト思ヒマス

○國務大臣(永井柳太郎君) 只今御示シノ滿洲國ニ現存シテ居リマスル海運業ト、我が國ノ海運業トノ間ニ於キマシテモ出來ルダケ協調ヲ圖ルコトヲ努力シテ居リマスルノミナラズ、將來ニ於キマシテモ亦兩國ノ海運業ニ關スル關係ハ共同デ研究ヲ遂ゲマシテ、出來ルダケ他ノ産業ノ精神ニ一致スルヤウニ努力致シタイト思ヒマス

○男爵深尾隆太郎君 是ハ將來ノ問題デアリマスルカラ、今具體的ニドウ斯ウト云フ御示シヲ戴クト云フコトモムツカシイト思ヒマスルガ、只今御示シノ精神ニ依リマシテ、後日問題ガ起ラナイヤウニ、ハッキリシタ何カノ御取極ヲ願フヤウニ御盡力ヲ願ッテ、私ノ質問ヲ終リマス

○委員長(子爵前田利定君) 深尾男爵ノ日滿關係ノ御質問ハ是デ……

○男爵深尾隆太郎君 是デ終リマシタ

○委員長(子爵前田利定君) ソレデハ午後ハ少シ御窮屈カモ知レマセヌガ、矢張り午後一時半カラ開會致スコトニ致シタイト思

ヒマス、午前は是デ休憩致シマス

午後零時二十一分休憩

午後一時三十九分開會

○委員長(子爵前田利定君) 會議ヲ開キマス、森君ニ申上ゲマスガ、貿易局長ガ見エテ居リマスカラ……

○森平兵衛君 ソレデハ御許ヲ得マシテ、貿易局長官ニ貿易政策ト云フコトニ付テ御尋ヲ致シタイト思ヒマス、昨日或委員カラ

ノ大藏大臣ニ對スル御質問デ、要スルニ此ノ爲替「レート」ノ維持ト云フコトガ我が國ノ財政上最モ必要デアルコトハ今更申ス迄モナイノデアリマス、要スルニ此ノ一志ニ

片ト云フ爲替ヲ何處迄モ我が國ノ政府トシテ維持スル上ニ於キマシテハ、ドウシテモ此ノ國際收支ノ對策ニ對シテ十分考慮ヲ拂ハナケレバナラスコトハ申ス迄モナイノデアリマス、

是ガ我が國ノ經濟政策ノ根本問題デアラウト思ヒマス、然ルニ現時ノ貿易政策ガサウ云フ國際收支ノ對策ニ非常ニ關心ヲ持つテ輸出ヲ増進センケレバナラスコトト相反スルヤウナ結果ヲ招來シテ居リハセヌカト云フコトヲ

私ハ思フノデアリマス、私共ノ調査ニ依リマスルト、昨年ノ貿易ハ上半期ハ非常ニ輸入ガ多カッタ、爲ニ此ノ日支事變勃發以來

政府ノ政策ニ依リマシテ、輸入ニ極端ナル統制ヲ實行セラレマシタ結果ハ大ナルモノガアリマシタノデ、輸入超過ノ緩和ハ出來タノデアリマスガ、併シ例年ト比較シマスレバ、矢張り相當輸入超過ニアッタノデアリマス、然ルニ本年ハ貿易統制ガ全體ニ互ッテ作用シテ居リマシテ、殊ニ輸入ノ主ナルモノ、所謂棉花トカ、或ハ羊毛トカ其他「ゴム」トカ色々ノ物ニ對シテ餘程政府ガ手心ヲ御加ヘニナッテ居リマスノデ減少シテ居ルコトハ明ナ事實デアリマス、然ルニ此ノ原料品ガ減少シテ居ッテモ、輸出サヘ増進シテ居レバ大變ソコニ好イ安排ニ行クノデアリマスガ、此ノ輸出ガ輸入ノ減少ト比例シテ多ク減退シテ居リハセヌカト思フノデアリマス、最近ノ新聞紙上ノ報ズル所ニ依リマシテモ、矢張り此ノ輸入ノ減少ハ著シイガ、輸出モ非常ニ不振デアルト云フコトヲ報道シテ居ル譯デアリマス、政府ハ斯クノ如キ此ノ貿易政策ニ對シテドウ云フ方法ヲ御採リニナッテ居ルノデアアルカ、殊ニ此ノ我が國ノ工業ノ大宗デアリマス所ノ綿絲綿布ニ致シマシテモ、矢張り棉ガ無い、棉ガ無い爲ニ綿絲ガ出來ナイ、又内地消費モ御承知ノ通り將來ハ必ズ羊毛或ハ綿絲ニ於テモ何割カノ「ステープル・ファイバー」ヲ混ゼルト云

フヤウナコトが國民一般ニ傳ハリマシタ爲
ニ内地ノ需要ガ非常ニ増加シタ、寧ろ輸出
ヲスルヨリモ内地ニ賣ル方ガ宜イト云フヤ
ウナ按排デ浴衣ガ一反ニ一圓モ上ツタ、或ハ
晒木綿ガ幾ラ上ツタト云フヤウナコトノ爲
ニ、輸出下コロデハナイ、内地ノ需要ヲ供
給スルダケデモ尙足りナイ有様デアリマス、
斯クノ如キコトデ原料品ノ輸入制限ヲ餘リ
極端ニ爲サル爲ニ、輸出ガ減少シテ、結局
輸入ガ減少スルヨリモ輸出ガ減少スル、輸
出ガ減少スレバ何ニモナラヌコトニナルト
私ハ考ヘルノデアリマス、サウ云フコトニ付
テ現在商工省ナリ、或ハ大藏省ニ於テハ非常
ニ御苦心ニナツテ居リマスガ、私共ノ耳ニシ
テ居ル所デハ其ノ結果ガ甚ダ宜クナイ、寧
ろ之ヲ或程度、輸入スルモノニ付テハ輸入
ヲ何割カ相當御認メニナツタ方ガ宜クハナ
イカト云フ考ガアルノデアリマス、現在御
ヤリニナツテ居ル貿易統制ガドウ云フ所迄
行届イテ居ルカ、或ハ私ガ只今御尋シタヤ
ウナ結果ヲ招來シテハ居ラスカ、或ハ又將
來ハドウ云フヤウニシテ輸出ヲ増進サレル
御見込アルカト云フ點ニ付テ御伺ヲ致シ
タイト思フノデアリマス

○政府委員(寺尾進君) 御答ヲ申上ゲマス、
只今御質問ノアリマシタヤウニ輸入原料ヲ

制限スル結果トシテ、ソレガ輸出ヲ阻害ス
ルヤウナ結果ニナリハシナイカト云フ御懸
念ノ點ハ洵ニ御尤デアリマシテ、私共モ左
様ナコトガアツテハナラヌト存ジマシテ、其
ノ點ニ付テハ實ハ出來得ル限りサウ云フコ
トノナイヤウニ致シタイト云フ意味ヲ以テ
努力致シテ居ルノデアリマス、先ヅ第一ニ
御引例ニナリマシタ棉花ト綿布ノコトニ付
テ申上ゲマス、是ハ御承知ノヤウニ日本
ノ輸出ノ大宗デアリマスカラ、其ノ輸出ノ
原料ニナル棉ノ部分ニ付テハ、是ハ出來得
ル限りニ制限ヲシナイ、昨年アタリノ實績
ヲ維持シタイト云フ當業者ノ考デアリ、私
共モ左様ナ考カラ輸出ノ原料ニ必要ナルモ
ノハ制限シナイト云フ方針ヲ以チマシテ、
現在ハソレノ輸入ヲ認メルト云フ方法デヤッ
テ居リマスガ、只今御話ノアリマシタヤウ
ニ同時ニ又國內ノ消費ニ充テラレル關係上、
國內ノ値段ガ非常ニ高クナツテ參リマス、
何時ノ間ニカソレガ國內ノ方ニ流用サレ
テ、輸出ノ方ニ出テ行カナイト云フヤウナ
結果ニナルコトハ御話ノ通りデアリマス、
斯様ナコトガアツテハナリマセヌノデ、目下
其ノコトニ付テ出來得ルダケノ措置ヲ講ジ
テ居リマスガ、ソレニハ先ヅ第一ニ一般國
民ニ消費ノ節約ト云フ點ニ十分留意シテ貴

フコトハ勿論デアリマスガ、御話ニナリマ
シタヤウナ「ステール・ファイバー」等ノ
代用品ヲ以チマシテ出來得ル限り供給ノ不
足カラ來ル不便ノ點ヲ補フコトニ努力シテ
居リマス同時ニ、斯様ニ非常ニ内地ノ消
費ヲ節約スルニ拘ラズ、輸出ダケハ元通り
ニ少クトモソレヲ維持シテ増進シテ行クト
云フコトハ、御承知ノ通り非常ニ困難ノ問
題デアリマスカラ、何トカシテ之ヲ立派ニ
行ツテ行ク爲ニハ、特別ノ方策ヲ施サナケレ
バナラヌト云フ意味ヲ以チマシテ、實ハ專
門ノ當業者ノ方々ト接觸ヲ保チマシテ、
ドウ云フ方策ヲ採ツタラ宜イカト云フコト
ニ付テ研究ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、
今日迄大體眼ニ著イタ例ヲ申上ゲマスレバ、
今申上ゲマシタヤウニ輸出ヲ維持スル爲ニ
ハ、此ノ棉ト云フモノヲ、輸出ノ原料デ
アル棉ハ十分入レル、而シテソレガ内地
ノ方ニ徒ニ流レテシマハナイヤウニ、詰
リ適當ノ方策ヲ講ズル必要ガアル、ソレカ
ラ輸出ヲドウシテモ盛ニ致シマセヌト、今日
ノ此ノ國際收支ノ關係カラ言ヒマシテモ、棉
ヲ買フコトガ出來マセヌカラ、何トカ輸出ヲ
増進スルヤウニシナケレバナラス、ソレニハ
或程度迄、棉ト其ノ製品デアル所ノ綿布ノ間
ニ關聯ヲ認メマシテ、綿製品ヲ輸出スレバ、

輸出シタ綿製品ノ高ニ應ジテ一定ノ割合ニ於
テ棉ノ輸入ヲ許スト云フヤウナ方法デ行ツタ
ナラバ、輸出ヲ増進スルコトニモナリ、又
必要ナ棉ヲ入レルコトガ出來ルヤウナ方法
ニ行カラト云フヤウナコトデ、目下其ノ
意味ニ於テ研究ヲ致シテ居ルノデアリマス、
近ク當業者ノ方々ノ間ニ於テモ意見ガ纏マ
リマシタナラバ、速カニ左様ナ方策ヲ實行
致シマシテ、出來得ル限り此ノ原料難カラ
來ル所ノ輸出ノ阻害ト云フコトノ現レマセ
ヌヤウニ努力致シテ參リタイト存ジテ居リ
マス、外ノ品物ニ付テモ同様ノ意味ヲ以チ
マシテ、何トカ斯ウ云フ非常ノ時局ニ際シ
テ輸出ノ維持増進ガ出來マヌヤウニ極力努
力致シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス
○森平兵衛君 只今綿絲ニ付テノ引例ヲ申
上ゲタノデアリマスガ、大體私ノ質問ハ綿
絲ダケデナイ、一般ノ所謂貿易品デアリマ
スガ、ソレヲ綿絲ニ對シテ引例ヲシテ御答
ヲ下ツテ有難イノデアリマスガ、サウ致シマ
スト、是等ハ輸出シタダケノ額ノ棉ヲ所謂
原料ノ輸入ヲ許ス、内地ノ需要ガアツタ場
合、其ノ一方ニ振り替ヘテシマッタナラバド
ウ云フ原料品デモ、原料品ノ輸入ハ御許ニ
ナラヌ建前デアリマスガ、從來棉デモ其ノ
他ノ原料品ガ何ト申シマスガ、商賣ノコト

ハ御承知ナクシテ、唯政府ノ財政ノ都合ノミヲ以テ輸入爲替ノ許可ヲ爲サルト云フヤウナコトノ爲ニ、商賣ノ所謂原料ノ買入ノ時機ヲ失スルコトガアルノデアリマス、例ヘテ申シマスレバ、輸入爲替ノ許可ヲ爲サルニ付テモ、一年分ノモノハ矢張り國際收支ノ關係ガアリマスノデ、一遍ニ一度ニ許可ヲ爲サズニ、或ハ之ヲ四ツニ分ケルトカニツニ分ケルトカ云フコトデ、假ニ一千万圓ノモノナラ、五百萬圓ヲ二度ニスルトカ、或ハ二百五十萬圓ヲ四回ニスルトカ云フコトデ、輸入爲替ヲ許可ニナル、其ノ期間ニ於テ原料ヲ輸入セナケレバナラス、是ハ御役人サンガ「テーブル」ノ上デ爲サレタラサウ云フコトモアリ得ラレルノデアリマスガ、ナカノ商賣ト云フモノハ非常ナ複雜ナモノデアリマシテ、又物ニ依ルト相場ノ高下ガ非常ニアツテ、好イ時分ニ少シ餘計買ツテ置カヌコトニハ、非常ナ値上リヲ受ケル、ソレガ爲ニ原料ガ高クナレバ、賣捌ノ「コスト」ガ騰ルト云フコトデ、要スルニ輸入ガ出来テモ、原料ガ高イ爲ニ、輸出ガ困難ニナル場合ガアルノデアリマス、是ハ爲替收支ノ關係上、一年分モ半期分ヲ御許ニナルコトハ出来マセスガ、凡ソノ目安ヲ立テテ、三箇月分ナラ三箇月分ガ濟メバ、後

ハ是デヤルト云フヤウナ、多少ナリトモ豫定デモ出来テ居リマスレバ、輸入ヲスルコトニハ非常ニ便利デアリマス、又向フノ外國ニ對シテ注文ヲスルニモ其ノヤウニシテスルノデアリマス、後ニハ分ラナイ、是ハ是ダケダト云フコトデアリマシテハ、當業者ガ非常ニ製造ニモ困ル、又輸出ニモ困難ヲ來スト云フヤウナコトガアリマスノデ、政府ハ只今ノ御話ノヤウニ非常ニ御留意ニナッテ居ルコトハ我々共モ多シテ居ル、多シテ居ルガ、其ノヤリ方ニ付テハ餘程時機ト云フコトモノヲ見テ、先ノコトガ分ッテ居リマスレバ、凡ソ此ノ位ノモノハ許シテヤルト云フコトデナイト、其ノ場ニ至ッテ或ハ許可ガ出ナイト出来スト云フヤウナコトデアルト、買入モ賣捌モ商機ヲ逸スルコトガ多イノデアリマス、斯ウ云フコトニ付テハ、將來當業者ノ意向ヲ付度シテ、從來ヨリハ輸入爲替ノ許可ヲモウ少シク便利ナ方法デ、御許ニナルト云フヤウナ方法ガ出来ヌモノデアリマセウカ、此ノ兩點ヲ御尋ネ致シマス

方法デ、一ツヤラナケレバナラスト云フ意味ヲ以チマシテ、十分大藏當局トモ御相談ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、必ズシモ機械的ニ一年ヲ何期ニ分ッテヤラウト云フ方針ヲ持ッテ居ル譯デモナイノデアリマス、唯併シ資金ノ關係等ガアリマシテ、大藏省トシテモ、一時ニ支拂ガ非常ニ澤山ニ集ルト云フコトハ、又困ルヤウナ事情モアリマスノデ、ソコノ所ハ十分連絡ヲ取リマシテ、出来得ル限り御話ニナリマシタヤウナ御趣意ニ副フヤウニ、努力ヲ致シテ居ル次第デアリマス

○森平兵衛君 昨年度デアリマシタカ、私ノ聞ク所ニ依リマスルト、商工省デ凡ソ此ノ位ノ原料ノ輸入ハ宜イト云フコトノ御承認ヲ得テ、大藏省ノ方ヘ持ッテ参リマスルト、爲替管理トカ何トカデ、今ハ是ダケノモノハ出来スト云フヤウナコトガ、事實ニアッタヤウニ思フノデアリマス、品物ハ何ト云フコトハ申シマセスガ、サウ云フコトハ從來アッタノデアリマスカ、今後國際收支ノ關係上、一方ノ省デ御認めニナッテモ一方ノ省デ拒絕スルト云フヤウナコトガアリマスカラ、是ハ大藏當局ニ御尋ネ致シタイと思ヒマス

○政府委員(太田正孝君) 爲替ニ付テノ今

迄ノヤリ方ガ、商工省ト大藏省トソグハナイ點ガアツタ、ソレハ御指摘ノ通りデアリマスガ、昨今ニ於キマシテハサウ云フコトノナイヤウニ、商工省デ認めタモノハ大藏省側ニ於キマシテ、爲替ノ方ニ於テ之ヲ許スト云フ方針ノ下ニ今一貫シテヤッテ居ル次第デアリマス

○森平兵衛君 續イテ私ハ雜貨ノ貿易ニ付テ貿易長官ノ御意見ヲ承リタイと思ヒマス、マア綿絲或ハ生絲ト云フヤウナモノハ貿易ノ大宗デアリマスガ、此ノ雜貨ト云フヤウナモノモ相當莫大小、瑛瑛鐵器、魔法壘、種類ヲ舉ゲマスレバ澤山アリマスガ、「アフリカ」ニモ雜貨輸出組合、各地ニモ出来テ居リマスガ、是ハ中小ノ商工業者ト致シマシテハ見逃スベカラザル、集メレバ金高ニナルノデアリマス、此ノ雜貨ガ近頃原料ノ「コスト」ノ高クナツタ爲ニ輸出ガ甚ダ困難デアル、是ハ當業者ト申シマシテモ綿トカ、羊毛トカ云フヤウナ大キナ會社デナイノデアリマスカラ、此ノ當業者ヲ集メテ商工省ノ貿易局ガ御懇談ヲ爲サルト云フコトハ餘程困難ト思フ、「ブラシ」モアレバ瑛瑛鐵器モアルト云フヤウナコトデ、色々ノ方面ニ互ニテ居リマスガ併シ此ノ輸出ノ金高ガ年々相當累加シテ居ルノデアリマス、從ッテ矢張り

業者モ少資本金デアリマスガ、中小ノ商工業者トシテ相當ノ位置ヲ占メテ居リマスノデアリマスガ、近頃此ノ雜貨類ノ輸出ガメツキリ阻害シテ居ル、ソレハ一ツノ原料ノ「コスト」ガ高クナツタコト、勞銀ガ高クナツタコト、一ツハ雜貨ノ輸出先ノ所謂南洋邊ノ方ノ、日支事變ノ勃發ニ伴ヒ華僑所謂支那商人ノ排日排貨ト云フコトニ非常ニ原因シテ居ルノデアリマス、私共ハ斯ウ云フ點ニ付キマシテハ商工省デ斯ウ云フヤウナコトノ御取計ガ願ヘヌカト思ヒマスガ、今回商工省ノ法案ヲ見マスルト、産金獎勵トカナントカ云フヤウナ爲ニ随分多大ノ犧牲ヲ御拂ヒニナツテ居ルノデアアル、雜貨ト云フヤウナモノノ一品々々ニ致シマスレバ、サウ大シタ金高ニナラスノデアリマスガ、之ヲ綜合シテ參リマスレバ相當國家ニ對スル所ノ輸出ノ額ノ何割カラ占メテ居ルノデアリマス、寧ロ斯ウ云フモノニ對シテハ輸出ノ助成ヲシテヤルト云フヤウナ方面ニハ必ズ何千萬圓カ何百萬圓カラ融通スレバ、地ノ中ノ金ノ出ルカ出ナイカ分ラヌニ金ヲ費サレルヨリハ、一千万圓輸出スレバ一千万圓ノ金額ガ入ルノデアリマスカラ、寧ロ私ハ斯ウ云フモノニ對シテハ商工省ガ助成シテヤル、原料ノ買付ニ對シテモ指導シテヤル

ト云フコトニ爲サラスト、非常ナ是ハ雜貨貿易ノ衰頹ガ起ル、此ノ雜貨ノ貿易ト云フモノハ、唯值ガ安イト云フダケデ外國ニ賣レルモノデハナイノデアリマス、各國ノ趣味趣好ニ適スルヤウニ何十年カ掛ッテ漸ク此ノ雜貨ノ輸出ト云フモノハ近來ノヤウニ伸ビテ來タ、是ガ一朝他國ノ製品ノモノニ變レバ、ナカ／＼之ヲ取戻スト云フコトハ容易ノモノデハナイ、綿絲トカ綿布ト云フモノヲ輸出スルヨリ雜貨ノ輸出ハ困難デアル、ソレガ幸ニ南洋或ハ世界各國ニ日本ノモノガ歐洲大戰カラ以後行クヤウニナツテ、漸ク日本ノモノガ芽ガ吹イテ來タ時ニ、今度ノ事變ガ起ツタ、是ガ色々阻害ノ爲ニ得意ヲ失フト云フコトニナリマスレバ、又十年以上掛ラナケレバ、此ノ雜貨ノ輸出貿易ト云フモノハ振興スルコトハ出來ナイモノデハナイカト思ヒマス、寧ロ斯ウ云フモノハ相當ノ助成ト云フト語弊ガアリマスガ、方法ヲ以テ原料ヲ安ク入レル、矢張り輸出ノ爲ニ便利ノ方法ヲ御考ニナツテ御ヤリニナル方ガ良クハナイカ、大シタ金ハ要ラスト思フ、殊ニ私ノ手許ニ言フテ來テ居リマスモノハ錫ノヤウナモノヲ何ノ雜貨ノ原料ニ使フノカ分リマセヌガ、本國ノ相場ヨリ高イ、此ノ頃ハ何「キログラム」デアリマシタ

カ、買フニ付テハ百「キログラム」デスカ、九百圓以上ヲ唱ヘテ居ル、最高ハ千二百圓迄行ツテ居ル、是ハ大體御承知ノ通り百「キログラム」三百圓カ四百圓ノモノデアリマスガ、倍以上ノ値段ヲシテ居ル、サウ云フヤウナコトデハ到底此ノ何ニ使フカ分リマセヌガ、錫ヲ加工シタ雜貨ノ輸出ニ適シナイノミナラズ、是ダケノ金ヲ出シテモマダナカ／＼原料ガ容易ニ得ラレナイト云フヤウナコトヲ我々ノ手許ニ申シテ來テ居ル者ガアリマス、斯ウ云フヤウナコトデ商工省ノ方ハ大阪ノ方當リハ殊ニ貿易局ノ出張所ヲ設ケテ御盡力ヲ下サツテ居ルト云フコトハ我々モ諒トシテ居ルノデアリマスガ、ナカナカ細イ「メリヤスト」カ、「ブラシ」カ、珪瑯鐵器トカ云フモノニ對シテ一々出廻ラレルコトハムヅカシイノデスカラ、寧ロ斯ウ云フヤウナモノニ對シテハ原料ノ成ルベク手ニ入リ易イ方法ヲ講ズルコト、第二點ニ於テハ輸出ニ對シテモ多少ノ獎勵金ト云フト語弊ガアリマスガ、助成ヲヤルト云フヤウナコトガ寧ロ私ハ産金獎勵ト同ジヤウナ效果ヲ齎スノデハナイカ、地ノ中ヲ掘ッテ採ル所ノ金ト云フモノハ掘ッテ見ナケレバ金ガ出ルヤラ何ガ出ルヤラ分リマセヌノデ、産金會社ニ相當ノ助成ヲスルヨリモ、コチラ

ハ輸出サヘスレバ百萬圓ナリニ百萬圓ナリハ直グ入ッテ來ルコトガ分ッテ居ル、我々「ビジネス」ノ方カラ言ヘバ其ノ方法ガ手取り早イノデハナイカト斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマス、更ニ雜貨ノ輸出貿易ト云フコトニ付テ貿易局長ハドウ云フ御考ヲ持ッテ居リマスカ

○政府委員(寺尾進君) 只今ノ御尋ハ誠ニ御尤デアリマシテ、私ト致シマシテモ全然御同感デアリマス、日本ノ此ノ貿易上雜貨ト云フモノガ重大ナル意義ヲ持ッテ居ルト云フコトハ御話ノ通りデアリマス、唯其ノ品種ガ非常ニ多イノデアリマシテ、又之ニ從事シテ居ル人ノ數モ非常ニ多イノデアリマス、其ノ個々ノモノニ對シテ獎勵策ヲ講ズルト云フコトハ出來ナイノデアリマシテ、從來ハ主トシテ輸出組合ト云フ組合ノ力ニ依ツテ是等ノ中小ノ貿易業者ヲ大イニ海外ニ雜貨貿易ヲ發展サセル方角ニ向ケテ商工省デ援助ヲシテ居ルコトハ御承知ノ通りデアリマス、尙ソレ以外ニ輸出補償法ヲ活用致シマシテ、出來ルダケ斯ウ云フ中小貿易業者ガ海外ニ發展スルコトヲ援助シヨウト云フヤウナコトヲヤツテ居ル次第デアリマス、今回ノ議會ニ追加豫算トシテ提出致シマシタ豫算ノ中ニハ新タニ輸出補償法ニ於テ買取

リマス手形ノ總額ヲ増加致シマシテ、又其ノ適用範圍ヲ今迄除外セラレタ方面ニアリマスノヲ、全世界ニ及スト云フヤウナ方法ヲ考ヘテ居リマス、又貿易ノ斡旋所ト云フヤウナモノヲ今年度カラ、十四箇所程各地ニ設ケタノデアリマスガ、更ニ今回十二箇所増加ヲ致スト云フコトモ考ヘテ居リマシテ、一層其ノ方面ニ大イニ中小ノ雜貨ニ付キマシテマダ行渡ッテ居リマセヌ市場ニ是等ノモノノ販路ヲ開拓致シマスル世話ヲシヨウト云フコトヲ實ハ主眼ト致シテ居ルノデアリマスガ、更ニ進ミマシテ御話ノヤウニ何カ是等ノ雜貨貿易ヲ進展セシムル爲ニ積極的ノ助成ヲシタラ宜イデハナイカト云フ御話デアリマスガ、誠ニ御同感デアリマスガ、唯併シ是モ其ノ方法ニ付テ十分考慮致シマセヌト却ッテ逆ニ效果ヲ生ズルコトガナイトモ請合ヘマセヌノデ、其ノ點ニ付テハ慎重研究致シマシテ適切ナル方法ヲ講ジタイト實ハ目下折角研究致シテ居ル次第デアリマス

○森平兵衛君

モウ一點ダケ貿易局長サンニ御尋ネ致シマス、只今ノ御答辯ニ依リマスト輸出ノ獎勵ト云フコトニ付テハ非常ニ御考慮ニナリ、又輸出保證爲替ノ擴張モオヤリニナリマスガ、今申上ゲル通り原料ノ

買入等ニ付テハ輸出組合デ原料ノ買入迄モ、共同買入ト云フコトモドウカト思フノデスガ、サウ云フコトニ付テ原料ガモウ少シ「コスト」ガ安ク買ヘルト云フヤウナ方法ニ付テ何等カ御考ガアリマセヌカ

○政府委員(寺尾進君)

其ノ點ニ付キマシテモ、私共ト致シマシテハ、出來ルノハハ矢張り相當ムヅカシイコトカモ知レマセヌケレドモ、現在ノ如ク極ク僅カバカリノ材料ヲ個々別々ニ買ッテ居ルト云フヤウナコトガ必ズシモ理想的デハナイト思ヒマシテ、ソレ等ノ點ニ付テモ何等カ特別ナル機構ヲ考ヘル餘地ガアルノデハナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマス、尙是等ニ付テモ十分研究シテ見タイト考ヘマス

○森平兵衛君

非常ニ時局柄重要ナ問題デゴザイマスノデ、貿易局長ニ於テ至急一ツ原料ノ買入ノ準備ナリ、又「コスト」ノ餘リ高クナラヌヤウナ方法ヲ十分御考ヘ下サルコトヲ御願シマシテ、私ノ貿易局長サンニ對スル質問ハ是デ終リマス

○委員長(子爵前田利定君)

貿易局長サンハモウ去ラレテ宜シウゴザイマスカ

○森平兵衛君

ハイ

○子爵大河内輝耕君 大藏大臣ガ御出デデアリマスカラ、大藏大臣ニ伺ヒマス、昨日

アノ國家總動員法ノ方ニ伺ヒマシタノデスガ、國家總動員法ノ規定ニ依リマシテ、何カ此ノ稅法ナリ、財政上ノ方ニ影響ヲ及スヤウナコトガゴザイマセウカ、假ニ法律ノ上デアルトシテモソレハ執行ニナラナケレバソレ迄デゴザイマスガ、其ノ邊ノ御見込ハ如何デアリマスカ

○國務大臣(賀屋興宣君)

國家總動員法ニ依リマシテ特ニ財政上著シイ負擔ガ生ズルト云フコトハ私ハナイト思フノデアリマス、但シ此ノ申上ゲ方ハ多少註釋ヲ要スルノデアリマス、ソレハ國家總動員法デ經費ガ要ルト普通考ヘラレマスコトハ、色々ノ補償ノ規定ノ適用ニ依ルコトガ多イノデアリマス、又ソレヨリハ多少ノ場合ニ於テ少イコトト存ジマスルガ、戰時ニ於テ新ナル機關ヲ造リ、又既設ノ機關ヲ擴張スルノ要ガアルト思フノデアリマス、是等ノ費用ガ主デアリマスルガ、併シナガラ是ハ國家總動員法ガアリマセヌデモ、戰時ニハドウシテモサウ云フ風ナ必要ガ、戰爭ト云フ原因デ起ル譯デアリマス、其ノ意味デ私ハ餘リナイト申上ゲタ、唯併シ法律ガアリマスレバ直接其ノ規定ノ發動ノ結果トシテ起リマサルカラ、形ノ上ニ於テハ或ハ總動員法ニ依ル負擔ト申シテモ宜カラウカト存ジテ居リ

マス、然ラバ平時ハドウカト申上ゲレバ、是ハ餘リ只今ノ處大キナ負擔ノ起ルコトハアリマセヌノデアリマス、但シ此ノ戰時ノ總動員體制ヲ整ヘマスル實質的ノ各般ノ準備ノ爲ニハ是ハ所謂人ヲ要スル譯デアリマス、是ハ只今ノ企畫院ガ主トシテソレニ當ッテ居リマスルシ、又各省デモ只今迄ニ相當人員ノ豫算ヲモ相當ナ機關ニボツ／＼ト御協賛ヲ經テ居リマスモノガアリマス、又アノ總動員ニ關シマシテ審議會ト申シマスカ、損失補填ノ委員會ガアリマス、是ハ只今提出致シテ居リマスル追加豫算ニ計上シテアリマス、是ハ金額ガ極メテ少イノデアリマス、サウ云フ次第デアリマシテ、非常ニ多額ノ經費ヲ要スルト云フコトハナイト思ヒマス、唯、今回職業紹介所ヲ國營ニ致シマシタヤウナモノハ是ハ獨リ總動員法ニ直接依ルト申上ゲ兼ネマスケレドモ、矢張り色々ノ平素カラノ登錄事務ヲ考ヘマスト、相當一時的ニハ之ニ關聯ヲ持ッタ經費ト思ヒマス、サウ云フ今申上ゲマシタヤウナ事情デアリマスカラ、只今ノ所直グ是デ著シイ經費ガ、増額スルト云フコトニハ相成ッテ居リマセヌ

○子爵大河内輝耕君

總動員法ニ於キマシテ、命令ニ依ッテ國稅若シクハ關稅ノ稅率

ヲ動カスト云フコトハ出來ルコトニナッテ
居リマス、如何デゴザイマスカ

○國務大臣(賀屋興宣君) 確カ總動員法ノ
第九條カト存ジマシタガ、關稅ニ關シマシ
テハ稅率ヲ動カス、或ハ新タニ課稅ヲ致サ
ス、又ハ免稅ガ出來ルコトニナッテ居リマ
ス

○子爵大河内輝耕君 ソレハ直チニ御執行
ニナリマス、若シ御執行ニナルトスレバ、
ドウ云フ風ニ御執行ニナル御積デアリマス
カ

○國務大臣(賀屋興宣君) 只今其ノ規定ヲ
發動致ス積リハアリマセス

○子爵大河内輝耕君 稅率ノミナラズ、金
融其ノ他大藏省關係ノコトデ規定ニナッテ
居ル事項ガアリマセウカ

○國務大臣(賀屋興宣君) 總動員法ノ第十
一條ハ金融其ノ他ノコトニ關シテ規定ハ致
シテアリマス、是ハ大體只今事變ニ付テ適
用致シテ居リマス、臨時資金調整法ノ内容
ト同様ナモノ、及ビソレ以上ノ働キヲ致ス
規定ガ入ッテ居ルノデアリマス

○子爵大河内輝耕君 サウスルト其ノ點ニ
付キマシテハ、アノ法案ガ通ルト餘程強化
サレルト云フ御見込デアリマス、ソレト
モ別ニサウデナク、從來通リト心得テ宜シ

ウゴザイマスカ

○國務大臣(賀屋興宣君) 此ノ事變狀態、
發展如何、又新タナル大ナル事態ガ起リマ
スヤウナコト、サウ云フ風ナコトヲ考ヘマ
セスデ、大體只今ノ程度デ事變ガ參リマシ
タナラバ、其ノ總動員法ノ十一條ヲ發動ス
ルコトナク、只今ノ資金調整法ノ適用デ參
ル積デアリマス

○子爵大河内輝耕君 ソレデ大體ノ御見込
ガ分リマシタガ、若シ之ヲ發動サレルト云
フコトニナレバ、無論委員會ナリ、何ナリ
ニ掛ケラレマセウガ、豫メ商工會議所ナリ、
或ハ其ノ他ノ方面ナリノソレノ意見ヲ
徵セラレテ御ヤリニナルベキモノダラウト
私ハ思フ、モウドウニモ仕方ガナイ、切端
詰ツタト云フ場合ハハ別デアリマスガ、サ
ウ云フ譯デモナカラウト思ヒマス、餘リ不
意ニ急激ニ執行サレルヤウナコトガアレバ
財界ノ混亂ヲ來スノデ、餘程其ノ實際ノヤ
リ始メニ付テハ餘程穩カニ御ヤリニナルコ
トガ私ハ無論必要ダラウト思ヒマス、抽象
的ニ申セバ必要ナコトヲ御ヤリニナルコト
ハソレハ宜イト思フ、宜イト思フガ、ヤリ
方ガ一般ニ理解サレル風ニ穩カニヤラナイ
ト、ヤッタ效果ガナクナルシ、又財界ニ餘計
ナ變動ヲ起スト思ハレマス、是ハモウ大藏

大臣ノ申ス迄モナク御返事ハ分ッテ居リマ
スガ、併シ財界ノ人達ハ心配シテ居ルカラ、
此ノ機會ヲ利用シテ御尋ネ致シマス

○國務大臣(賀屋興宣君) 只今ノ狀態デ發
動スル意思ハ持ッテ居リマセス、別ニ其ノ意
味ニ於テハ御心配ハナイト思ヒマス、但シ
假定ノ話デアリマスガ、之ヲ發動致スヤウ
ナ場合ニハ、是ハ十分ニ發動ノ方法ニ付テ
注意ヲ致シマスコトハ無論デアリマス、唯
色々ノ規定ニ致シマシテ、例ヘバ只今資金調
整法ニ依リマシテ新資金ノ動ク方向ニ付キ
マシテノ制限ノ如キ、是ハ矢張り相當遲レ
マス、却ッテ其ノ見越シノ爲ニ色々ナコト
モ起ルヤウナコトガアル、物ニ依ッテハ比
較的迅速ニ適用致ス方ガ宜イ場合モアルカ
ト思ヒマスノデ、其ノ事態ニ應ジマシテ適
當ナル方法ヲ講ジタイト考ヘマス

○子爵大河内輝耕君 人的並ニ物的ノ兩方
面ニ於キマシテ、アノ規定ニ依リマス、何
デモヤレルヤウニナッテ居ル、財界カラ見レ
バアノ通りドン／＼ヤラレバ、ソレハ非
常ニ迷惑デアアル、此ノ點ガ一般ニ憂ヘラレ
テ居ル所デアリマスガ、アレハドウ云フ御
趣旨デセウカ、唯法律文ヲ見タダケデハ少
シモ私共ニハ分ラナイ、例ヘバ何處ノ人間
デモ捉ヘテ來テドシナ用件デモサセラレル

ヤウニ思フ、其ノ物が必要デアレバ何デモ
取ッテ來ル、如何ニモ無軌道式ノヤウニ思ハ
レル規定デアリマス、サウ云フ譯デモナカ
ラウト思ハレマスガ、其ノ要綱等モ甚ダ漠
然トシテ居ルノデゴザイマシテ、實際ニ質
問致シ様モナイ、併シ大藏當局トシテ財政
經濟ト云フモノハ最モ御考ニナラナケレバ
ナラス、其ノ點ニ付キマシテドウ云フ風ニ
了解シタラ宜シウゴザイマスカ

○國務大臣(賀屋興宣君) アノ法律ガ大體
全面的ニ發動致シマスル場合ハ國家トシテ
非常ナル事件デアリマス、大戰爭ヲ致スヤウ
ナ場合デアリマス、或ハ戰費ニシマシテモ一
年百億デアルトカ、二百億デアリマス、トカ、
戰費ガ要ルヤウナ先ヅ事態デアルト思ハレ
マスノデアリマス、サウ云フ際ニハ昨日モ
御質問ガアリマシタ國民所得約假ニ百五十
億ナニガシトカ言ヒマス、ソレノ二倍ニモ
上ル經濟活動ヲ起サナケレバナラヌヤウナ
事態デアリマス、而モ其ノ新タナ戰費ニ依ッ
テ需要スル物資ト云フモノハ百五十億デ動
イテ物資ガ其ノ割合デ五割増ストカ十割増
ストカ云フノデナクテ、非常ニ偏ッテ動ク
事態ニモナリ、技術設備デモサウ云フ風デ
アリマスレバ、是ハ私ハ國民經濟各方面ニ、
今ノ言葉デ申スト非常ナル摩擦ト非常ナル

混亂ガ起ルト思フノデアリマス、連モ總動員體制デモ取りマセヌケレバ實行ハ出來マセス、總動員體制ヲ取りマシテモ非常ナ變リガ起ルト思ヒマス、併シナガラソレハ總動員體制ヲ取ラザル場合ニハ混亂ニ陥ルヤウナモノガ一定ノ秩序ヲ保ツテ運行出來ル、事變ノ目的ヲ達シ、國民生活ヲ不自由ナガラ是デ維持シテ行ケル、斯ウ云フ目的デ居ルノデアリマス、私ハ其ノ際ニハ相當ナ變化モアリ不便モアリ、混亂モアルト云フコトハ、是ハ詰リ國家トシテ平常ノ數倍ノ働キヲスルト云フ事態デアリマスカラ、已ムヲ得スト思ヒマス、ソレヲ極メテ合理的ニ、苦痛ハ出來ルダケ緩和シ、出來ルダケノ戰爭ノ目的、事變ノ目的ニ合致ショウト云フ趣旨デ出來テ居ルノガ總動員計畫デアリマス、其ノ法律的ニ規定スル必要アルモノヲ規定致シタ趣旨ナノデアリマス、サウ云フ譯デアリマスカラ、恐ラク之ヲ平時ノ目カラ見レバ其ノ時ノ狀態トシテハ色々ノ方面ニ摩擦ガアルト思ヒマスガ、趣旨ハサウ云フ趣旨デアリマス、出來ルダケ其ノ摩擦ヲ最小限度止メ、不自由ヲ最小限度ニ止メ、我國ノ人的物的資源ヲ最も有効ニ效力ヲ發動サセタイ、斯ウ云フ考デアリマス、從ヒマシテ唯無暗ニ人ヲ

抑エテ、唯無暗ニ命令スル、斯ウ云フ考デハ無論ナイノデアリマス、必要ナコトハドシドシヤツテ行ク、從ツテ勞力關係等ハ私ノ擔任ノ方面ノ外デアリマス、是モ御話ノヤウニ唯無暗ニ人ヲ取ツテ來ルト云フコトバカリデナク、斯ウ云フ方面ノ熟練知識ヲ要スルト云フ場合ニハ、其ノ人ガ其ノ方面デ働イテ貰フト云フ趣旨ニ外ナリマセヌノデアリマス、極メテ已ムヲ得ナイ程度ニ發動致シタイト思ヒマス

テ居ル人ハ、非常ナ不安ニ陥ツテ財界ニ面白カラザル結果ヲ生ズル、無論時價相當ナモノハ賠償サレルコトト存ジマスガ、何分ニモ勅令ノ定ムル所ニ依リトアルモノデスカラ、ソレデ人ハ非常ニ心配シマス、是等ノ點ハ如何デアリマスガ

ラ、出來ル限りハ原狀ニ復スルト云フヤウナ御取計ヲヒノモノダト承知シテ宜シイノデゴザイマスガ

○子爵大河内輝耕君 大體ノ御趣意ハ能ク分リマシタ、無論大藏當局トシテハ勿論政府トシテモ經濟界ノ根本ヲ覆シテシマウト云フコトデナク、國家ノ生命ハ永遠ナルモノデアリマスカラ、先ノコトヲ御考ヘ

○國務大臣(賀屋興宣君) 是ハ損失ノ認定ニ付キマシテハ、色々只今迄ニアリマス各種ノ損失補償法ニ於キマシテモ規定ガ複雑ニ要リマスノデ、今後ノ事態色々複雑デアラウト思ヒマスノデ、勅令ニ讓ツテアルノデアリマス、併シ大體ノ趣旨ハ御話ノヤウニ

其ノ損失其ノモノヲ補償スルノデアリマス、損失ノ半額デアルトカ、特ニ少クシテ補償スルト云フ考ハナイノデアリマス、併シナガラ客觀的ニ見マシテ起リ得ル損失ノ範圍ニ止マリマシテ、其ノ人ノ特殊ノ事情デ損失ガ殖エテ行クト云フヤウナ場合ハ、是ハ或ハ考慮サレヌト思ヒマスガ、普通ニサウ云フ場合ニ起リ得ル損失ハ補償致ス積リデアリマス、但シ特ニ損失ガ少クテ現實ニ濟シタ場合ハ其ノ限度ニ止マルデアラウト思ヒマス、是ガ大體抽象的ニ申上ゲレバサウ云フ方針デアリマス

○子爵大河内輝耕君 續イテ伺ヒマスガ、時間モゴザイマセヌノデ、實ハ内容ノ質問ニ少シモ入ッテ居リマセヌノデチョット伺ヒタイト存ジマスガ、如何デゴザイマセウ、宜シウゴザイマセウカ

○委員長(子爵前田利定君) チョット御待チ願ヒマス、大藏大臣ガ折角御多忙中御出デ下スツテ居ルノデ、大藏大臣ニ對スル御質問ガアレバ、ソレヲ先キニ願ヒタイト思ヒマス

○橋本辰二郎君 大藏大臣ハ事變ノ繼續ニ依ツテハ増稅避ケ難シト云フコトヲ仰セニナツヤウニ承リマシタガ、目下ノ事變下ニ於キマシテ、此ノ事態ガ如何ニ變ズルカト云フコトハ、是ハ何人モ逆睹スルコトノ出來ナイコトデアリマス、ソレデ如何ナル事態ガ發生ヲ致シマシテモ、何等之ニ對シテ躊躇スルコトナク、泰然トシテ對策ヲ立テ、

○子爵大河内輝耕君 又收用サレタリ管理サレタリスルモノハ、事變ガ濟ミマシテカ

○國務大臣(賀屋興宣君) 其ノ點ハ私トシテハハッキリ御答ヘ申上ゲラレマセヌガ、恐ラクサウデアラウト思ヒマス、其ノ間ニ原狀ニ復シナイデ損失等ガアリマシタラ、又補償問題ガソコニ起ルカト思ヒマス

○子爵大河内輝耕君 大體ノ御趣意ハ能ク分リマシタ、無論大藏當局トシテハ勿論政府トシテモ經濟界ノ根本ヲ覆シテシマウト云フコトデナク、國家ノ生命ハ永遠ナルモノデアリマスカラ、先ノコトヲ御考ヘ

○國務大臣(賀屋興宣君) 是ハ損失ノ認定ニ付キマシテハ、色々只今迄ニアリマス各種ノ損失補償法ニ於キマシテモ規定ガ複雑ニ要リマスノデ、今後ノ事態色々複雑デアラウト思ヒマスノデ、勅令ニ讓ツテアルノデアリマス、併シ大體ノ趣旨ハ御話ノヤウニ

其ノ損失其ノモノヲ補償スルノデアリマス、損失ノ半額デアルトカ、特ニ少クシテ補償スルト云フ考ハナイノデアリマス、併シナガラ客觀的ニ見マシテ起リ得ル損失ノ範圍ニ止マリマシテ、其ノ人ノ特殊ノ事情デ損失ガ殖エテ行クト云フヤウナ場合ハ、是ハ或ハ考慮サレヌト思ヒマスガ、普通ニサウ云フ場合ニ起リ得ル損失ハ補償致ス積リデアリマス、但シ特ニ損失ガ少クテ現實ニ濟シタ場合ハ其ノ限度ニ止マルデアラウト思ヒマス、是ガ大體抽象的ニ申上ゲレバサウ云フ方針デアリマス

○子爵大河内輝耕君 又收用サレタリ管理サレタリスルモノハ、事變ガ濟ミマシテカ

○子爵大河内輝耕君 大體ノ御趣意ハ能ク分リマシタ、無論大藏當局トシテハ勿論政府トシテモ經濟界ノ根本ヲ覆シテシマウト云フコトデナク、國家ノ生命ハ永遠ナルモノデアリマスカラ、先ノコトヲ御考ヘ

○國務大臣(賀屋興宣君) 是ハ損失ノ認定ニ付キマシテハ、色々只今迄ニアリマス各種ノ損失補償法ニ於キマシテモ規定ガ複雑ニ要リマスノデ、今後ノ事態色々複雑デアラウト思ヒマスノデ、勅令ニ讓ツテアルノデアリマス、併シ大體ノ趣旨ハ御話ノヤウニ

其ノ損失其ノモノヲ補償スルノデアリマス、損失ノ半額デアルトカ、特ニ少クシテ補償スルト云フ考ハナイノデアリマス、併シナガラ客觀的ニ見マシテ起リ得ル損失ノ範圍ニ止マリマシテ、其ノ人ノ特殊ノ事情デ損失ガ殖エテ行クト云フヤウナ場合ハ、是ハ或ハ考慮サレヌト思ヒマスガ、普通ニサウ云フ場合ニ起リ得ル損失ハ補償致ス積リデアリマス、但シ特ニ損失ガ少クテ現實ニ濟シタ場合ハ其ノ限度ニ止マルデアラウト思ヒマス、是ガ大體抽象的ニ申上ゲレバサウ云フ方針デアリマス

○子爵大河内輝耕君 又收用サレタリ管理サレタリスルモノハ、事變ガ濟ミマシテカ

○子爵大河内輝耕君 大體ノ御趣意ハ能ク分リマシタ、無論大藏當局トシテハ勿論政府トシテモ經濟界ノ根本ヲ覆シテシマウト云フコトデナク、國家ノ生命ハ永遠ナルモノデアリマスカラ、先ノコトヲ御考ヘ

○國務大臣(賀屋興宣君) 是ハ損失ノ認定ニ付キマシテハ、色々只今迄ニアリマス各種ノ損失補償法ニ於キマシテモ規定ガ複雑ニ要リマスノデ、今後ノ事態色々複雑デアラウト思ヒマスノデ、勅令ニ讓ツテアルノデアリマス、併シ大體ノ趣旨ハ御話ノヤウニ

其ノ損失其ノモノヲ補償スルノデアリマス、損失ノ半額デアルトカ、特ニ少クシテ補償スルト云フ考ハナイノデアリマス、併シナガラ客觀的ニ見マシテ起リ得ル損失ノ範圍ニ止マリマシテ、其ノ人ノ特殊ノ事情デ損失ガ殖エテ行クト云フヤウナ場合ハ、是ハ或ハ考慮サレヌト思ヒマスガ、普通ニサウ云フ場合ニ起リ得ル損失ハ補償致ス積リデアリマス、但シ特ニ損失ガ少クテ現實ニ濟シタ場合ハ其ノ限度ニ止マルデアラウト思ヒマス、是ガ大體抽象的ニ申上ゲレバサウ云フ方針デアリマス

○子爵大河内輝耕君 又收用サレタリ管理サレタリスルモノハ、事變ガ濟ミマシテカ

○子爵大河内輝耕君 大體ノ御趣意ハ能ク分リマシタ、無論大藏當局トシテハ勿論政府トシテモ經濟界ノ根本ヲ覆シテシマウト云フコトデナク、國家ノ生命ハ永遠ナルモノデアリマスカラ、先ノコトヲ御考ヘ

○國務大臣(賀屋興宣君) 是ハ損失ノ認定ニ付キマシテハ、色々只今迄ニアリマス各種ノ損失補償法ニ於キマシテモ規定ガ複雑ニ要リマスノデ、今後ノ事態色々複雑デアラウト思ヒマスノデ、勅令ニ讓ツテアルノデアリマス、併シ大體ノ趣旨ハ御話ノヤウニ

其ノ損失其ノモノヲ補償スルノデアリマス、損失ノ半額デアルトカ、特ニ少クシテ補償スルト云フ考ハナイノデアリマス、併シナガラ客觀的ニ見マシテ起リ得ル損失ノ範圍ニ止マリマシテ、其ノ人ノ特殊ノ事情デ損失ガ殖エテ行クト云フヤウナ場合ハ、是ハ或ハ考慮サレヌト思ヒマスガ、普通ニサウ云フ場合ニ起リ得ル損失ハ補償致ス積リデアリマス、但シ特ニ損失ガ少クテ現實ニ濟シタ場合ハ其ノ限度ニ止マルデアラウト思ヒマス、是ガ大體抽象的ニ申上ゲレバサウ云フ方針デアリマス

○子爵大河内輝耕君 又收用サレタリ管理サレタリスルモノハ、事變ガ濟ミマシテカ

○子爵大河内輝耕君 大體ノ御趣意ハ能ク分リマシタ、無論大藏當局トシテハ勿論政府トシテモ經濟界ノ根本ヲ覆シテシマウト云フコトデナク、國家ノ生命ハ永遠ナルモノデアリマスカラ、先ノコトヲ御考ヘ

○國務大臣(賀屋興宣君) 是ハ損失ノ認定ニ付キマシテハ、色々只今迄ニアリマス各種ノ損失補償法ニ於キマシテモ規定ガ複雑ニ要リマスノデ、今後ノ事態色々複雑デアラウト思ヒマスノデ、勅令ニ讓ツテアルノデアリマス、併シ大體ノ趣旨ハ御話ノヤウニ

其ノ損失其ノモノヲ補償スルノデアリマス、損失ノ半額デアルトカ、特ニ少クシテ補償スルト云フ考ハナイノデアリマス、併シナガラ客觀的ニ見マシテ起リ得ル損失ノ範圍ニ止マリマシテ、其ノ人ノ特殊ノ事情デ損失ガ殖エテ行クト云フヤウナ場合ハ、是ハ或ハ考慮サレヌト思ヒマスガ、普通ニサウ云フ場合ニ起リ得ル損失ハ補償致ス積リデアリマス、但シ特ニ損失ガ少クテ現實ニ濟シタ場合ハ其ノ限度ニ止マルデアラウト思ヒマス、是ガ大體抽象的ニ申上ゲレバサウ云フ方針デアリマス

○子爵大河内輝耕君 又收用サレタリ管理サレタリスルモノハ、事變ガ濟ミマシテカ

○子爵大河内輝耕君 大體ノ御趣意ハ能ク分リマシタ、無論大藏當局トシテハ勿論政府トシテモ經濟界ノ根本ヲ覆シテシマウト云フコトデナク、國家ノ生命ハ永遠ナルモノデアリマスカラ、先ノコトヲ御考ヘ

○國務大臣(賀屋興宣君) 是ハ損失ノ認定ニ付キマシテハ、色々只今迄ニアリマス各種ノ損失補償法ニ於キマシテモ規定ガ複雑ニ要リマスノデ、今後ノ事態色々複雑デアラウト思ヒマスノデ、勅令ニ讓ツテアルノデアリマス、併シ大體ノ趣旨ハ御話ノヤウニ

其ノ損失其ノモノヲ補償スルノデアリマス、損失ノ半額デアルトカ、特ニ少クシテ補償スルト云フ考ハナイノデアリマス、併シナガラ客觀的ニ見マシテ起リ得ル損失ノ範圍ニ止マリマシテ、其ノ人ノ特殊ノ事情デ損失ガ殖エテ行クト云フヤウナ場合ハ、是ハ或ハ考慮サレヌト思ヒマスガ、普通ニサウ云フ場合ニ起リ得ル損失ハ補償致ス積リデアリマス、但シ特ニ損失ガ少クテ現實ニ濟シタ場合ハ其ノ限度ニ止マルデアラウト思ヒマス、是ガ大體抽象的ニ申上ゲレバサウ云フ方針デアリマス

○子爵大河内輝耕君 又收用サレタリ管理サレタリスルモノハ、事變ガ濟ミマシテカ

置クト云フコトハ誠ニ望マシイコトデアリ
マシテ、此ノ點ニ付キマシテ相當ナル御考
ヲ御持チニナツテ居ルト云フコトハ大イニ
人意ヲ強ウスルモノガアルト私ハ考ヘルノ
デアリマスガ、増税避ケ難シト云フコトヲ
仰セニナリマシタ以上ハ、増税ニ付キマシ
テ何カ御腹案ガアルノデハナカラウカト思
ヒマスガ、新ラタニ新ラシイ税ヲ創設ニナ
リマス御意向デゴザイマスカ、又ハ現在ノ
租税體制ノ上ニ増徴デモ御ヤリニナルト云
フ思召デアアルデアリマセウカ、此ノ點ヲ御
伺ヒ致シテ疑念ヲ霧ラシタイト思ヒマス

○國務大臣(賀屋興宣君) 私ハ今御言葉ニ

アリマシタヤウナ風ニハ申シテ居ラスト思
フノデアリマス、事變ノ將來ノ變化ハ豫測
出來マセヌ、デ此ノ對策ニ付キマシテ此ノ
現狀ナラバ斯ウ云フ風ニ致スト云フコトハ
申セマシテモ、變化致シタ場合ノコトハ一々
是ハ具體的ニハ決メ難イ譯デアリマス、
從ヒマシテ今後増税ガ必ズナイトモ申サレ
マセヌ、併シ更ニ増税ヲ必ズスルトモ申上
ゲ兼ネルノデアリマス、唯私ハ此ノ事變ガ
濟ミマシテモ收入ノ金額トシテ只今ノ増税
程度ノモノハ、是ハ繼續スルニ違ヒナイ、
斯ウ云フ風ニハ申上ゲマシタ、尙併シナガ
ラ今御尋ノヤウニ事變ガ、望ム所デアアリ

マセヌガ、擴大シマスヤウナ時ニハ、是ハ
又或ハ増税ト云フ問題ガ起ルカモ知レマセ
ヌ、併シ其ノ場合ニ如何ナル新稅ヲ起スカ、
稅率ヲドウ致スカト云フコトハ、只今ノ所
デハマダ申上ゲ兼ネル次第デアリマス

○橋本辰二郎君 私衆議院ノ速記録ヲ拜見

シタノデスガ、事變ノ繼續性ニ依ッテハ増税
ハ避ケ難シト云フコトヲ仰セニナツテ居リ
マス、是ハ併シ揚足取りノヤウニナリマス
ガ、御意向ヲ承リマシタノデ、ソレデ満足
致シマス、ソレカラ尙御伺ヒ致シタイノデス
ガ、大臣ノ御理想トシテハ戰費ハ全部其ノ
時ノ國民ガ租稅デ支辨スベキモノト云フヤ
ウナ御考ノヤウニ伺ハレマシテゴザイマス
ガ、御承知ノ通り今日ノ戰費ト云フモノハ
殆ド想像モ及バヌヤウナ文學的ナ數字ヲ
要スル巨額ナモノデアリマシテ、如何ナル
國ニ致シマシテモ、其ノ當時ノ國民ノ租稅
ヲ以テ支辨スルト云フコトハ、是ハ出來難
イコトデアリマシテ、現ニ御承知ノ通り歐
洲戰爭ノ初メニ於キマシテ、世界ノ強國ヲ
以テ誇ツテ居リマシタ或國ハ、初メハ租稅ニ
依ルト云フ方針ヲ採ルト云フ意向デアリマ
シタガ、間モナク公債ヲ募集シテ其ノ戰費
ヲ支辨シテ居ッタコトハ既ニ御承知ノ通り
デアラウト思ヒマス、私共ハ此ノ經常歲出、

經常歲入ニ依ラズシテ、公債ノ支辨ニ俟ツ

ト云フコトハ是ハドウモイケナイ、丁度個
人ニ於キマシテモ自己ノ生活費ヲ支ヘル爲
メ借錢ヲスルト云フコトガイケナイノト同
ジコトデアリマシテ、自分ノ生活ノ爲メ借
錢ヲシテ之ヲ子孫ノ負擔ニ殘スト云フコト
ハ、是ハ誠ニ罪惡的ナ惡イコトト思ヒマス、
同ジ道理ニ於キマシテ、矢張り國家ト致シ
マシテモ其ノ當時ノ經常歲出ヲ支辨スル爲
メ公債ヲ募集スルト云フヤウナコトハ、是
ハイケナイコトト思ヒマスガ、時場合ニ
依リマシテハ、是ハ借錢モシ又ハ公債ニ依
ルモ毫モ差支ヘナイト云フコトヲ言ヒ得ラ
レルト思ヒマス、例ヘバ個人ニ於キマシテ
モ開墾ヲスルトカ若シクハ造林ヲスルトカ
云フヤウナ計畫ヲスル爲メ借錢ヲスルトシ
マシタナラバ、此ノ事業ヨリシテ生ズル所
ノ利益ト云フモノハ、遙カ後年ニ至ッテ此ノ
實現ヲ見ルコトニナリマス、此ノ惠澤ト云
フモノハ之ヲ子孫ガ受ケルノデアリマスカ
ラ、斯ウ云フ事業ノ爲メニスル借錢ハ、子孫
ニ之ヲ殘シテモ何等差支ヘナイト思フ、同
ジ理窟ノ上ニ於キマシテ、今回ノ支那事變
ノ如キモノニ於キマシテハ、普通ノ戰爭ト
ハ又一ツ考ヲ置キ換ヘナケレバナラスカト
思フノデアリマス、尤モ是ハ當初ノ擴大ト

云フ方針ヲ以テ進ンデ居リマシタガ、今日

ニ……其ノ當時ハ我が國ハ領土の野心ノナ
イト云フコトヲ中外ニ宣明致シテ居リマシ
タ、戰局ガ今日ノ如ク支那各地ニ全面的ニ
擴大致シマシタ以上ハ、事態ノ變化ニ伴ヒ
マシテ當初ノ聲明モ亦當然之ヲ改メナケレ
バナラスト思ヒマス、假ニ領土の野心ガナ
イト致シマシテモ、少クトモ經濟的ノ權益
ハ自然之ヲ確保シナケレバナラスモノト考
ヘルモノデアリマス、御承知ノ通り天然資
源ノ乏シイ我が國ニ於キマシテハ、戰爭ニ
必要ナル物資ノ中デモ僅カニ石炭ト食糧ノ
ミガ自給自足ヲ致シマシテ、其ノ他三十幾
種ニ上ル所ノ必需品ハ悉ク全部輸入ニ仰ガ
ナケレバナラス、斯ウ云フヤウナ有様ニ於
キマシテハ、國家ノ生存ト云フモノハ殆ド
他ニ依存スルヤウナ現狀デ、誠ニ是ハ危險
至極デアルト思フノデアリマス、御承知ノ
通り支那ハ無限ノ資源ヲ有シテ居リマシテ、
無盡藏ノ寶庫ヲ持ッテ居ルノデアリマス、之
ヲ開發致シマシテ、之ヲ我が工業其ノ他ノ
要ニ利用スルコトガ出來マシタナラバ、實
ハ是ハ國家ノ爲メ慶賀スベキコトデアリマ
シテ、我が國ノ獨立性モ之ニ依ッテ確立スル
デハナカラウカト思フノデアリマス、ソレ
ノミナラズ又人口ノ増殖問題、若シクハ質

易ニ關シマシテ、世界各國カラ到ル處ニ於テ、閉出シヲ食フヤウナ事情カラ考ヘマシテモ、支那四億ノ人民ニ對シテ我が國ノ生産品ヲ相當賣込ムコトガ出來マシタナラバ、我が國ノ貿易上ニ於キマシテモ、非常ニ好イ結果ヲ齎ラスコトハ、是ハ疑ナイコトデアリマス、而シテ支那内地ニ於キマシテ、十分ナ經濟的ノ基礎ヲ確立シテ、而シテソレカラ生ズル所ノ利益ヲ受ケルト云フコトハ一朝一夕デ出來ルモノデナイ、コ、數十年ノ間ハ恐ラク資本ノ注込ミ一方デハナイカト思フノデアリマス、サウ致シマシテ今回ノ事變ニ依ツテ生ズル所ノ利益ナルモノハ、遙カニ後世ノ我が國民ガ受ケルノデアリマス、斯ウ云フ事情ノ下ニ於キマシテハ、此ノ戰費全部ヲ公債ニ仰イデ、後ノ子孫ニ其ノ負擔ヲ殘スノモ何等私ハ差支ナイト考ヘルノデアリマス、是ハ意見ノヤウデアリマスケレドモ、相當此ノ點ニ付キマシテ大藏大臣ノ一ツ御所見ヲ伺ヒ、若シ大藏大臣ニ於テ過去ニ御聲明ニナリマシタコトニ付テ、又何カ御考ヘ直シマシテ戴クコトモ出來ルデハナカラウカト云フコトデ、敢テ此ノ點ヲ御伺ヒ致シマス次第デアリマス

○國務大臣(賀屋興宣君) 御答ヘ申上ゲマ

スルガ、私ハ成ルベク多ク、財政ト致シテハ租稅ヲ負擔スルガ宜シイト申シテ居ルノデアリマス、御話ニナリマシタヤウニ、近代ノ戰費ハ非常ニ巨額ナモノデ、大事變ノ場合ニ其ノ全額デアルトカ、或ハ半額ニ於テモ之ヲ租稅ニ依リ、負擔スルコトノ事實上不可能ナル點ハ仰セノ通りデアリマス、今回ノ増稅ニ致シマシテモ、戰費ノ十分ノ一ニモ足ラザル程度ノモノデアリマス、成ルベク多ク出來ルダケハ租稅ニ於テ負擔スベシ、多少御述べニナリマシタ御考ト異ルヤウデアリマスガ、假令子孫ノ爲ニナリマスルコトデモ、當代ノ國家ガ其ノ責任ニ於テヤリマスルコトデアリマスカラ、出來ルダケ自分デハ片附ケテ行クノガ私ハソレガ宜イノデアルト思ヒマス、出來ルダケ自分ノ手デ片附ケテ、サウシテ子孫ニ餘慶ヲ殘スノガ適當デアリマス、子孫ハ又其ノ子孫ニ對シテ餘慶ヲ殘スベク大イニ努力モ致サナケレバナラスノデアリマス、出來ルダケハ當代ニ於テ始末ヲ致シテ行ク方ガ私ハ宜シイト思ッテ居ルノデアリマス、併シナガラ御話ノヤウナ趣旨モアリマスカラ、何デモ無理ヲ致シテデモ租稅ヲ取ラナケレバナラスコト云フコトデハ、又行過ギニナリマスノデ、國民生活ヲ壓迫スル程度、竝ニ經濟界ノ發展ヲ阻

碍スルカシナイカ、此ノ點ヲ考ヘマシテ、サウ云フ増稅ニ依ツテ負擔セシムルコトニ依ツテ、却テ大ナル害ガアルト云フ點迄行キ過ギテハイケマセヌノデ、兩者ノ調和ノアル點、其ノ範圍ニ於テ成ルベク租稅ヲ以テ負擔スルガ宜イ、斯ウ云フ大體考方ヲ致シテ居ル次第デアリマス

○橋本辰二郎君 御說明ニ依リマシテ御意思ノアル所ハ了承致シマシタノデアリマス、私等ハ大藏大臣ガ戰費ハ此ノ當時ノ國民ノ租稅ニ俟ツモ可ナリト云フ御見解ノ下ニ、今回ノ増稅案ヲ御提出ニナッタ一ツノ動機ニハナッテ居ナイカト云フコトヲ考ヘマシテ、御伺ヒ致シタ次第デアリマス、併シ之ヲイツ迄モ續ケマスルト云フト議論ニ終リマスルノデ、御意思ノアル所ガ分リマシタコトヲ以チマシテ此ノ點ハ打切ト致シマス、次ニ金融情勢ニ付キマシテ御伺ヒ致シタイノデアリマスルガ、昨年ノ秋頃ハ御承知ノ通り非常ニ緊縮致シテ居リマシタガ、其ノ後大藏當局ノ御盡力ノ結果モ與ッテ力ガアツカト思ヒマスルガ、近來ハ大分金融情態モ緩和ヲ致シマシテ、社債ノ募集上ニモ格別差支ノナイヤウナコトニナッタト云フコトヲ、昨日以來此ノ席ニ於キマシテ屢々承ッタノデアリマスガ、今日ノ金融情勢ト云フ

モノハ、當年一パイ此ノ情態ヲ持續スルモノト御見込ニナッテイラシヤルデアリマセウカ

○國務大臣(賀屋興宣君) 斯ウ云フ情勢ヲ持續致スモノト見込シテ居リマス、是ハ基本的ノ各般ノ經濟狀況ガ健全ニ參リマセヌト、サウ云フ結果ニモ相成リマセヌノデ、國際收支ノ問題、消費節約ヲ含ミマシタ物資ノ需給調整ノ問題、斯ウ云フ基本的ノ政策ノ實行出來マスルヤウニ大イニ努力ヲシテ參リマス、サウ云フ風ノ各般ノ政策ガ實行出來レバ金融ハ斯ウ云フ調子デ進ムモノト考ヘテ居リマス

○橋本辰二郎君 私ノ聞キマスル所ニ依リ

○橋本辰二郎君 サウ致シマスルト今日ノ情勢ヲ持續スルコトハ、公債ノ消化ニモ亦生産擴充ノ資金ノ供給ニモ好都合ナリト云フ御見解デアリマスルカ

○國務大臣(賀屋興宣君) 左様デアリマス、唯申上ゲマスルガ是ハ昨日申上ゲマシタガ、貯蓄ノ獎勵ヲ致シマセヌト資金ハ非常ニダブツグト申シマスルカ、ソレヨリ先ヅ消費ノ盛ニナリマス方面ニ向ヒマシテ、消費ノ抑制、貯蓄ノ獎勵ヲ續ケテウマク參リマス方ガ、却テ金融ハ私ハ相當ニ行クト思ヒマス、ソレヲ合セテ申上ゲテ置キマス

マスルト、此ノ頃金融ハ多少緩漫ニナツタニハ違ヒナイガ、銀行ノ手許ニ於ケル預金ナルモノハ主トシテ當座預金ガ殖エタノデアツテ、定期預金ニ於テハ格別増加ハシテ居ナイ、然ルニ生産擴充ニ要スル所ノ資金ト云フモノハソレハ長期ヲ要スルノデアリマス、長期ヲ要スル資金ニ應ズルノニハ、即チ當座ノ預金ガ殖エタノデハ、之ヲ充當スルト云フコトニハ銀行ハ躊躇スルデアラウト思ヒマス、今日ノ情勢ハ何トナクソコニ不安ガアリマシテ、安シテ定期預金ニスルト云フヨリモ、何時デモ引出シ得ラレル所ノ當座預金ニシテ置ク方ガ安全ダト云フヤウナ考デ、此ノ金融資本家ト申シマスルカ、又ハ多少ソコニ餘裕ノアル人ノ考ニ依リマスレバ、ドウモ今申シマシタヤウデ、銀行業者トシテハ之ヲ長期ノ貸付ニ利用スルコトノ出来ナイヤウナ状態ニアルト云フヤウナコトデアリマスレバ、今日ノ金融情勢ヲ持續スルコトハ餘リ芳バシクナイヤウニ思ハレマスルガ、此ノ點ニ付キマシテハドウ云フ風ニ御考デスカ

○國務大臣(賀屋興宣君) 少シ私ノ言葉ガ、是カラ申上ゲマスルコトハ少シ穩カデナイ、率直過ギルカモ知レマセスガ、是ハ段々今物ガ直リツ、アルノデス、事變ノ初メニハ我々カラ考ヘマス、不必要ニ警戒

氣分ガ強イノデアリマス、非常ニ是ハ公債モ持タナケレバナラス、生産資金モ要ル、斯ウ云フ時ニ一方戰費ノ撒布ガ數十億アルト云フコトト較ベ合サナイ、又銀行等ノ金融業者トシテハ尤モデ、ソレガ必ズシモ自分ノ懷ヘ預金トシテ來ルカ來ナイカ分リマセス、サウ云フ考ノ出ルノハ尤デアリマス、資金ノ要ル方ヲ非常ニ考ヘル、又サウ云フ場合ハ色々ノ方面デ用意シマスルノデ、資金ノ需要ガ多イノデアリマス、悲觀ニ過ギ、警戒ニ過ギルコトニナル、何時ノ事變ノ初メデモサウデアリマス、マア其ノ狀況ガ段々取レテ參リマシテ、段々金ガ出テ來ルト云フコトハ分リマス、昨年ノ十二月頃カラ餘程其ノ考ハ變テ來タ、併シナガラ斯ウ云フ時デアリマスカラ、一般ノ氣分ガ緩クナリマシテモ、マダドウカト云フト、同ジ預金ラシテモ、通知預金ニスルトカ、所謂貸越ノ當座預金デナイモノニシマシテモ、定期ニ落著クコトガドウモ遲イ、公債ヲ買フヨリモ米券ヲ買ッテ置カウト云フ氣分ガアル、段々落著イテ參リマシテ、二月ニハ非常ニ定期預金モ殖エテ居リマス、私ハ是ハ段々落著イテ來ルト思フ、ソレニハ先程申上ゲマスヤウナ外ニ經濟狀態ノ基本ニナル政策ガウマク行キマセスト落付キマ

セス、兎ニ角昨年以來見方ニ依ッテハ日本ノ爲替ガ三月モ保ツマイト思ッタ人モアルガ、ソレガ續イテ參リマシタ、全體ノ情況ハ兎ニ角軌道ヲ外レナイデ參ッテ居ル、段々ソコニ安心モ出來、定期預金モ順次殖エツ、アルノデアリマス、此ノ情勢ハ私ハズツ續イテ參リマシテ、安定ヲシテ參ル、斯ウ云フコトニナルト思ヒマス

○橋本辰二郎君 大臣ノ御希望ノヤウニ此ノ先金融界ノ情勢ガ進ムモノトスレバ誠ニ結構ナコトト思ヒマシテ、私ハモウ大變安心ヲ致シマシタ、ソレカラ今貯蓄ノ御話ガアリマシタノデ序デニ此ノコトヲ伺ヒマス、貯蓄ノ獎勵ノ最モ好マシイト云フコトハ私ハ昨日モ申上ゲマシタガ、貯蓄ヲ獎勵スル以上ハ、貯蓄者ニ失望ト後悔ヲ與ヘナイヤウニシナケレバナラスト思フノデアリマス、是ハ詰リ物價ト關係ガアルノデアリマシテ、今日政府ノ御獎勵ニ依リマシテ、貯金ラシタ者ガコ、一年後ニ於キマシテ、或品物ヲ購入スルト致シマス、今日之ヲ買ヘバ一圓デ買ヘタモノガ、一年後ニ是ガ二圓ニ上ツタト致シマス、貯金ニ依ル所ノ利子ト云フモノハ三「パーセント」ニ過ギナイモノガ、品物ハ百「パーセント」ニモ參ッテ居ル、斯ウ云フコトニナリマス、預金者トシテハ非常

ニ失望ラシ、又後悔ヲスルダラウト思フノデアリマス、此ノ例ハ歐洲戰爭ノ後半及ビ其ノ前後ニ於テ俸給生活者ノ嘗メタ苦イ經驗デアリマス、斯クノ如キコトニナリマシタナラバ、非常ニ貯金者ハ失望落膽ヲ致シマシテ、却テ政府者ヲ怨ムト云フヤウナコトニナリハシナイカト思ヒマスルデ、斯ウ云フ事態ヲ生ゼザルヤウニ、十分貯金者ヲ満足セシムベキヤウナ何カノ施設ヲ爲サルト云フ御自信ガアリマセウカ

○國務大臣(賀屋興宣君) 今ノ御話ノ點誠ニ御尤デアリマシテ、其ノ政策ノ主眼ガ爲替相場ノ維持デアリマス、惡性「インフレーション」ハ必ズ爲替相場ノ崩壞ヲ伴フノデ、爲替相場ノ維持ニハ、之ガ維持出來ルヤウナ經濟環境ヲ作ラナケレバナラス、ソレニハ相當努力ハ要ル、自然ニ樂々トハ參リマセス、非常ニ努力シテ爲替相場ヲ維持出來ルヤウナ準備ヲシナケレバナラス、唯維持スルデナク、經濟全體ノ活動ガ結局サウ出來ルヤウニ仕向ケナケレバナラス、今政府ノヤッテ居ル政策ハソレガ非常ナ主ナルモノデアリマス、サウシテ爲替相場ノ維持ヲシ得ル基礎ヲ持チナガラ、シ得タ場合ニハ私ハ御話ノヤウナ非常ナル歐洲戰爭後ノヤウナ物價騰貴、所謂惡性「インフレーション」

ンノ現象ハ起ラナイ、ソレデ爲替ノ維持ト云フコトハ此ノ際最モ重要ナ政策トシテ努力致シテ居ル譯デアリマス、是ハ獨リ貯蓄ノ獎勵ノミナラズ、或意味ノ國民生活ノ破壊ニナリマス爲、其ノ重點ハ私ハ爲替相場ノ維持、ソレヲ維持シ得ルヤウニ各般ノ政策ヲモ、之ヲ以テ最モ今ノ御心配ニナリマス點ノ、最モ重大ナル支柱ト致シテ參ル、斯ウ云フ考デアリマス

○橋本辰二郎君 只今ノ御答辯ガ、是ハ單ニ一箇ノ理想ニ終ラズシテ、其ノ實效ヲ舉ゲムコトヲ私ハ希望致シマスルガ、ナカ／＼是ハ御努力ヲ要スル困難ナ問題ト思ヒマス、現ニ木綿ノ如キ物ハ、七十五錢ノモノガ一圓五十錢ニモナッテ、倍額ニナッテ居ルト云フコトハ、是ハ最近ノ出來事デアリマシテ、既ニ大藏當局ニ於キマシテモ皆サン御承知ノコトト思ヒマス、斯ウ云フ事態モ發生致シマス、デ此ノ事柄ニ付キマシテハ餘程ノ私ハ御努力ヲ仰グヨリ外ハ他ニ途ガナイノデアリマスカラ、唯其ノ點ダケヲ申上ゲテ置キマシテ、私ノ質問ハ之デ一應打切りマス

○内田重成君 只今ノ橋本委員ノ御尋ニ關聯シテ居ル問題デアリマスガ、此ノ消費節約貯蓄獎勵ノ御方針ハ、現時ニ於テ極メテ必要ナ事ニモ考ヘマスル、政府ハ其ノ爲ニ

大藏省、内務省及朝鮮、臺灣ノ豫算ニ於テ相當多額ノ經費ヲ御要求ニナッテ、勅任官以下多數ノ官吏ヲ新ラタニ御置キニナル御豫定ニナッテ居ルヤウニ見マスルガ、此ノ問題ニ付キマシテ或ハ豫算委員會等ニ於テ承ルノガ至當デアルカモ分リマセヌガ、只今丁度其ノ問題ガ出マシタカラ承ルノデアリマス、極メテ必要ナル事デアルト考ヘルト同時ニ、消費節約及ビ貯蓄獎勵ニ關シマスルコトハ、都市ト地方トニ依ッテ大イニ趣ヲ異ニスル、其ノ獎勵宣傳ハ地方ニ於テハ極メテ嚴格ニ、嚴肅ニ徹底的ニ行屆ク、從ッテ是ハ精神總動員若シクハ經濟更生ト云フヤウナ方法ニ依ル多ク宣傳ガ行ハル、モノト考ヘルノデアリマス、先年ノ確カ若槻内閣ノ時ダト考ヘルノデアリマスルガ、當時ノ消費節約貯蓄獎勵ノ宣傳ノ結果ハ、自然地方ニ於テハ或局部ノ人ニハ非常ナル打撃ヲ與ヘ、其ノ爲ニ折角ノ此ノ企テガ大ナル呪咀ノ的トナッタコトヲ私ハ記憶シテ居ル、ソレハ自分ガ矢張り其ノ時代ニ於ケルサウ云フ方面ノ地方ニ於ケル衝ニ當ッテ居タ關係上、其ノコトヲ能ク承知シテ居ルノデアリマス、今度斯クノ如ク相當大キナ施設ノ下ニ於テ是ガ行ハレルト云フコトニナリマスルト、地方ニ於ケル或部類ノ人々ハ相當大キナ打撃ヲ

被ムッテ、自ラ此ノ所得ノ上ニ影響ヲ及シテ、自然擔稅力ニモ關係ヲ生ズルト云フヤウナ結果ニナル虞ガアリハセヌカト云フコトヲ密カニ恐ル、者デアリマス、是ハ餘程其ノ場所ヲ考ヘ、又方法ヲ考ヘテ御實行ニ相成ラスト、自然地方ノ如キ極メテ斯ウ云フノヲ眞面目ニ引受ケマスル場所ニハ、大キナ影響ヲ及シ、延イテハ不景氣ノ原因ヲ招來スルト云フコトヲ私ハ聊カ杞憂ヲソレニ持チマスルガ、之ニ對シテ無論斯ウ云フコトハ能ク御研究ノ結果デアルト考ヘマスルノデ、一應都市ニ於テハ斯クノ如ク、ソレカラ工業地帶等ノ比較的職工等ガ多額ノ給料等ヲ持ッテ、サウシテ消費スル習癖ヲ作ラセヌヤウニスル爲ニ、サウ云フコトニ付テハ斯クノ如クト云フヤウナ、若シ具體的ノ御考ガオアリデアリマスルナラバ、極ク概略デ宜シイノデスカラ、一應承リタイト思ヒマス

○國務大臣(賀屋興宣君) 御答ヘ申上ゲマスルガ、此ノ貯蓄獎勵ノ裏ハ、只今ノ所デハ消費節約デアリマス、所得能力ノ増大ト云フコトハ、一方戰費ノ散布ガ行キ渡ッテモ、専ラ貯蓄ノ獎勵ト云フモノハ消費ノ節約デアアル、只今ノ場合ハサウ云フ關係ニ相成リマス、之ニ付キマシテハ、政府デハ昨年モ特ニ其ノ方針ヲ誤リマセヌヤウニ、閣議ノ決定ヲ致シテ居ルノデアリマス、ト申シマスルノハ、結局ハ只今行ハムトスル消費節約ハ、要スルニ事變ノ目的ヲ達スル譯デアリマシテ、一ツカラ言ヘバ、戰爭ニ要ル兵器彈藥其ノ他ノ軍需品ノ供給ニ遺憾ナカラシメルト云フコトガ非常ナ主眼デアリマス、ソコデ節約ノ對象ガ、一ツハ金ニ非ズシテ、究極ハ物資ニアルト云フ一ツノ重大ナ方面デアリマス、其ノ物資ハドウ云フコトカト言ヒマスレバ、直接サウ云フ軍事ニ當テラレル物ハ放任ヲ致シテ置ケバ、不足スルノハ分ッテ居ル、サウ云フ物、其ノ原料、材料トナル物ノ消費ノ節約ヲスル、是ハ勿論デアリマス、他ノ物ニ付テハ、其ノ消費ノ節約ヲシタ結果ハ、結局軍需資材ノ獲得ニ役立つ物ハ同様ニシナケレバナナイ、究極スル處、此ノ方針デ參リマシタ、ソレデアリマスカラ、鐵トカ、銅トカ、木材トカ、サウ云フ物ハ、直接ニ軍需資材ニナリマス物ニ付キマシテハ、斯ウ云フ節約ハ勿論、軍需資材ハ我が國ニ於テハ生産力ガ……、特ニ原料ハ少イノデアリマスカラ、輸入ニ俟タナケレバナラス、從テ輸入ノ能力ニハ限りガアリマスルカラ、一般ノ輸入品ヲ節約スル、斯ウ云フ方針ヲ執リマシタ、

其ノ輸入品モ、輸入品自體ノミナラズ、輸入品ト同種ノ物ハ節約スル、何トナラバ、國內デ出來マス物ニシテモ、ソレヲ餘計消費スレバ、ソレダケ同種ノ物ノ輸入ガ殖エノ原料及輸入品ト同種類ノ物ヲ節約スル、其ノ他節約ヲ致シマスレバ、ソレガ結局軍需品ノ供給ヲ豐富ニスルト云フヤウナ物モ節約ノ對象ニ致スト云フコトニ致シテ居リマス、是等ノ物ガ如何ナルモノデアルカ、ソレデ作ツタ製品ガドウ云フ物デアルカト云フヤウナコトモ一通リハ作リマシテ、各方面ニ行渡ルヤウニ努力ハ致シテ居リマス、併シナガラ私ノ感じデハ未ダソレハ十分デナイト思ヒマス、相當サウ云フ方面ノ努力ハ致シマス、モウ一ツハ、ソレデアリマスルカラ、同時ニ國內產品デアツテ、原料モ、生産ノ設備モ、能力モ國內ニアル物デ、而モソレヲ節約ヲシテ、結局ソレガ軍需品ニ供給シテモ其他ニ影響ノナイヤウナ物ハ節約ヲスル必要ガナイノミナラズ、今仰セノ如ク、サウ云フ物ヲ節約致シマシタ結果、サウ云フ物ヲ製造スル者、ソレヲ商ヒマス商賣人ガ却テ不景氣ニナツテ困ルト、寧ろ害有ツテ益ガ無イト云フヤウナコトニナルノデアリマス、併シナガラサウ云フ物ニ致シ

マシテモ、事變ガ大キナリ、長クナレバ、國內ノ勞力ハ相當ニ不足ヲ致シ、又戰費ノ散布ガ多額ニナレバ、サウ云フ物ノ需要モ増加致スノデアリマスルカラ、サウナレバ、矢張り是ガ國內ノ原料、國內ノ製造設備デ間ニ合フ程度ニ止メナケレバナラナイノデアリマス、併シナガラ事變ノ始マル當時ハ、極端ニ此ノ節約氣分ガアリマシテ、又場合ニ依ツテハ、私ノ申上ゲルソレガ直接間接戰爭ニ役立タナイ物ニ迄モ及ンデ、不景氣ヲ起スト云フ現象デアリマス、是ハ斯ウ云フコトヲ申上ゲルノハ、或ハ恐縮カモ知レマセヌガ、私モ暇ガアリマス毎ニ數回地方ニ出マシタ時ニモ、其ノ點ヲ強調致シマシテ、場所ニ依リマス、折角來テ話ヲシテ呉レタノデ、少シハ景氣ガ直ツテ、好クナツタト云フ話モ聞イタノデアリマス、全ク相當米ノ生産ガアリマス土地ニモ拘ラズ、三杯ノ飲モ二杯ニシ、著物モ木綿ヲ著、尙オ菜モ食ベナイデ、梅干ヲ食ヘサスト云フヤウナコトヲ生徒ニ教ヘル、全ク志ハ宜シイノデアリマスルガ、見當ノ違ツタコトガ往々ニシテ行ハレテ居ル、斯ウ云フ點ニ付キマシテハ、出來ルダケ其ノ強調ニ努メマシタ次第デアリマス、サウ云フ趣旨ガ今御言葉ノ如ク比較的サウ云フ一般ノ消費節約

ヲ眞面目ニ思ヒ込ンデ、ヤリ易イ農村等ニ餘リニ強調致シマスコトハ、是ハ害ガ却テアルト思ヒマス、從テサウ云フ方面ノ消費ノ節約ニ付キマシテハ、是ハ批評ヲスレバ、サウ云フ複雑ナコトヲ申シテモ、ヤリニクイト批評ヲシテ居ル者モアリマスガ、實際必要ナコトデアリマスカラ、出來ルダケ事ヲ分ケテ間違ナイヤウニ努メタイト思ツテ居リマス、尙モウ一ツノ標準ハ、昨日來モ御話ガ出テ居リマスル此ノ際所得ノ増加スル者ハ増加シタ所得ヲ、成ルベク全額ニ近ク貯蓄ニ向ケル、是ハサウ云フモノヲ向ケマセスト、國內產品デ間ニ合フト思フ物迄モ、消費ノ増加ニ依ツテ不足ヲ來ス憂ガアルノデアリマス、是ハ金錢ノ上カラ言ツテモ、サウ云フ一般ノ物資ノ需給カラ言ツテモ、必要ナンデアリマス、此ノ點ヲ一ツノ目標ニスル、サウ云フ風ナ時局ニ必要ナ物資ノ供給ヲ直接、間接ニ豐富ナラシメル意味ト、時局ニ際シテ收入ノ殖エタモノガ、其ノ殖エタ收入ヲ貯蓄スルト云フ二點ヲ消費節約ノ對象ニアア定メマシタ譯デアリマス、ソレデ事變ノ初メニ於テハ寧ろ行キ過ギタ見當違ヒノ方面ノ消費節約ト云フモノニ付テ惑ヒヲ解クト云フ方面ガ、或意味ニ於テ重要デアリマシタ、金融界モ、經濟界モ、何デ

モ節約デコチノニナルノデアリマス、處ガ段々是ガ戰費ガ廻ツテ參リマシテ、景氣ノ好イ所モ出ル、方々ノ溫泉モ皆滿員ダト云フヤウナ時ニナツテ參リマスルト、其ノ所得ノ殖エタ方ノモノヲ全部貯蓄ニ廻スト云フ方面ニ對シテ、ヨリ多ク力ヲ注ガナケレバナラス時代ニ、ソレハ御話ノ如ク軍需工業等ノ盛シナモノ、サウデナクテ都市方面、ソレカラ一般國內產品デ間ニ合フト思ツテ居リマシタモノニ付テ消費増加ノ憂ガアリマスカラ、一般的ノ消費節約ヲ相當ノ程度ハ申サナケレバナラス、段々斯ウ云フ時期ガ近ヅキツ、アルト思ヒマス、地理的ノ分布、御話ノ如ク都市方面ノ收入増加ヲスルト、サウ云フ會社トカ、工場地方、ソレヲ狙ヒマシテ今ノ貯蓄ノ獎勵ヲ致シタイ、斯ウ云フ考デアリマス

○内田重成君 其ノ點了承致シマシタガ、ソレニ關聯ノ問題デアリマスルガ、擔稅力ノ涵養ハモウ今日ノ如ク多大ナル増稅ヲ必要トスル場合ニハ、殊ニ必要デアルト感ズルノデアリマス、其ノ爲ニハ申ス迄モナク、平和産業固ヨリ振興セザルベカラザルモノト思ハレル、然ルニ物資調整、資金調整等ノ關係カラシテ平和産業振興ニ對シテ、相當阻害サレ得ル虞ガアルト云ツテ、此ノ産業

方面ニ關係スル人々ハ其ノ手續ノ非常ニ面倒ナ、從ツテ折角望ム所ノ産業ノ方策ニ對シテ取り止メナケレバナラスト云フヤウナ狀態ニ居ルト云フノデ、自然平和産業ノ振興ガ阻害サレテ居ル傾ニ居ル、從ツテ將來ニ於テ所得ノ上ニ懸念アリト憂フルモノガアルヤウデアリマスガ、私ノ見ル所ニ於テモ稍、其ノ傾ナキニシモアラズト考ヘル、此ノ點ニ付テハ政府デハ只今迄行ハレテ居ル所ノ資金調整、物資調整ハ遺憾ナク行ハレテ、是ガ誤リナキモノダト云フコトニ御考ニ相成ツテ居ルデアリマスルカ、其ノ一ツ狀況ニ付テ大臣ヨリ御話ヲ承レバ仕合セト存ジマス

○國務大臣(賀屋興宣君) 是ハ一國ノ經濟全般カラ見マスルト、只今ハ一般的ニ景氣ヲ好クスル方策ヲ採用致ス譯ニハ參リマセヌ、ト申シマスノハ、例ヘバ紡績業ニ於テ一例ヲ取ツテ見マス、紡績業ノ擴張ハ資金調整法デ一切同意ヲ致シテ居リマセヌノハ、斯ウ云フ理由ニ基クノデアリマス、ソレハ兎ニ角戰爭ヲ致シテ居ルノデアリマス、事實上……其ノ際要ル物ハ所謂戰用資材ト申シマスガ、生産資材ト申シマスガ、此ノモノガ非常ニ物資ガ要ルノデアリマシテ、幾ラ戰費ヲ計上致シマシテモ其ノ物ガナケレバ所謂戰費ハ空ノモノデ

アリマス、サウ云フモノガ……私ハサウ云フ方面ノ擔任デアリマセヌカラ、甚ダ申上ゲ方ガ簡單デアリマスガ、例ヘバ鐵デアルトカ、銅デアルトカ、木材デアルトカ、色々ノ機械デアルトカ致シマシテ、之ヲ總テ戰爭目的ニ向ケマシテモナカク思フヤウニ足リマセヌ、戰爭目的ニ向ケマスルモノハ、直接ノ兵器ヤ彈藥ヤ、サウ云フモノヤ運轉材料等ノ材料ニ使ヒマスルトカ、サウ云フモノヲ造ル工場ノ設備、是等ヲ一丸ニシテモナカク足リマセヌ、一例ヲ申上ゲマスレバ、鐵道ノ此ノ運轉材料ダケニシマシテモ、支那、滿洲、朝鮮、日本ヲ通ジ非常ナル必要ガアル、現ニサウ云フ木材トカ、サウ云フ鐵材ガ一體アルカナイカト云フ問題ナンドス、國內ノ生産モ相當殖エテ居リマスガ、迎モ足リマセヌ、然ラバ之ヲ輸入スル外ナイ、輸入スルト致シマスルト、輸入ノ決濟資金ガ要ルノデアリマス、其ノ決濟資金ハ大體輸出貿易ニ依ツテ得ルノデアリマス、輸出貿易ハ凡ソ限度ガアリマス、ドウシテモソコニ輸入ヲ或限度ニ止メナケレバナラス、ソレデ例ヘバ鐵ナラ鐵ノ供給材料ハ幾ラ國內デ、結局製品トシテ使ヒ得ル鋼材、銅塊、鉄鐵、斯ウ云フモノハ幾ラ出來ル、ソレダケ出來ル爲ニハ少クトモ「スクラップ」ヲ

幾ラ輸入シナケレバナラス、鉄鐵ヲ幾ラ輸入シナケレバナラス、鑛石ヲ幾ラ輸入シナケレバナラス、又製品タル特殊鋼ヲ輸入スル、此ノ限度ハ凡ソ決ツテシマヒマス譯デ、總テニサウ云フ方針デ計畫ヲ樹ツテ居リマス、ソレヲ今ノ軍需目的、間接ノ軍需目的ニ振り當テマシテ、餘程足リマセヌノデゴザイマス、チョット速記ヲ止メテ……

○委員長(子爵前田利定君) 速記中止

(速記中止)

○委員長(子爵前田利定君) 速記ヲ始メテ……

○國務大臣(賀屋興宣君) サウ云フ考方デアリマスルノデ、平和産業ニ付キマシテハ、少シノ間ドウモ我慢ヲ願ヒマセヌケレバナラス、我慢ヲ願ヒマセヌト、差向キノ此ノ事變ニ對スル軍需等ヲ運シテ參リマスノニ支障ヲ來タスト斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス

○内田重成君 委員長私ハ終リマシタ

○小倉正恒君 私ハ此ノ償却ノコトニ付テ御伺フシテ見タイト思ヒマス、今日午前ニ森サンカラ償却ノコトニ付テ……固定資産償却ノコトニ付テ御質問ガアリマシタ、又大藏次官カラモ御答辯ガアリマシタガ、其ノ御話ハ大體此ノ現下ノ非常時局ニ付テ新

ラシク設備シタモノニ付テ償却ノヤウニ承ツタノデアリマスガ、私ハ昨日此ノ固定資産耐久年數表ト云フモノヲ戴キマシテ拜見シタノデアリマスルガ、ドウモ大分見方ガ餘程違フヤウニ……私共トハ非常ニ見方ガ違フヤウニ思フノデアリマス、少シ其ノ點ヲ申上ゲテ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス、毎年此ノ稅務當局ノ御方ト此ノ我々製造工業ニ從事シテ居ル者ノ間ニ、常ニ税金關係デ問題ニナリマスノハ、償却ノ年數問題、此ノ耐久年數ノ問題デアリマスガ、ドウモ以前ト違ヒマシテ近來ハ非常ニ此ノ産業ノ發達ガ急速デアリマシテ、眞ニ日進月歩デアリマス、兩三年前ニ買ツタ機械モモウ直グニ舊式ニナルト斯ウ云フ風ニナツテ參リマシテ、又其ノ舊式ノモノヲ使ツテ居リマシテハ到底内外ノ競争ニ堪ヘルコトガ出來マセヌ、從ヒマシテ、今日大藏大臣ノ御話シニナリマシタ此ノ物理的ノ耐久力ト云フモノハ非常ニ値打ガ安クナツテ參リマシテ、ドウシテモ經濟的ノ命數ト云フコトヲ餘程加味シテ考ヘナイトイクマイト斯ウ云フコトヲ私ハ感ジテ居ルノデアリマスガ、此ノ表ヲ見マスルト云フト、ドウモ非常ニ物理的ノ耐久力ト云フモノニ……何年ト云フモノハ兎ニ角使用ニ耐ヘルト云フヤウナ物理的

ノ耐久力ニ非常ニ重點ヲ置カレテ居リマシテ、經濟的ノ耐久力ト云フモノニ付テハ餘程考慮ヲ拂ッテ居ナイカト私ハ考ヘルノデアリマス、勿論償却ト云フコトハ物理的ノ耐久力モ必要デアリマスルガ、併シ又經濟的ノ命數ト云フコトモ考ヘテ、兩々相合セテ行クベキデアラウト斯ウ云フ風ニアア考ヘルノデアリマス、マアサウ云フ風ナ見方モサレルノデアリマスカラ、イツモ此ノ償却年數ノコトニ付テハ稅務ノ當局ノ方ト色々押シ問答スル機會ガ多イノデアリマス、ソコデアアチヨット例ヲ申上ゲテ見マスルト云フト、鐵筋「コンクリート」ト云フ建物ノヤウナモノハ、前ハ百年デアッタノデスガ、此ノ案ニ依リマスルト八十年ニナッテ居リマス、隨分八十年ト云フト長イ間デアリマシテ假ニ其ノ間ハ耐久力ガアリマシテモ、世ノ中ノ事情ガスッカリ變テシマッテ、仕事ノ内容モ非常ニ變テ來ルト云フ風デアッテ、ソレガ果シテ八十年間其ノ儘ニ持越シテ行ケルカドウカト云フコトハ非常ニ私ハ疑問ニ思ヒマス、又此ノ旋盤機械ノヤウナモノガ、チヨット見マスルト云フト三十年ニナッテ居リマスルガ、併シ是等ハドウシテモ經濟的ノ年數カラ言ヒマスルト云フトドウモ十年カ十五年デナクチャ到底無理ダ

ラウト斯ウ云フ風ニ考ヘルノデアリマス、サウ云フ風デアリマシテ、ドウモ經濟的ノ命數ト云フモノヲ一ツ御考慮ノ中へ深く入レテ戴イテ、サウシテ一ツモウ一遍見直シテ戴クヤウナコトガ實際ノ事情ニ適スルノデハナカラウカト云フ風ナコトヲ考ヘテ居リマスノデ、此ノ點ニ付キマシテノ御意見ヲ伺ヒタイノデアリマス

○政府委員(賀屋興宣君) 工場ノ建物、設備、機械等ニ付キマシテ、物理的ノ命數ノ外經濟的ノ命數ヲ考ヘナケレバナラヌト云フコトハ、全ク仰セノ通りデアルト思フノデアリマス、經濟的ノ命數ガ今ノ色々ナ機械其ノ他ノ技術ノ進歩ニ依リマシテ非常ニ早く變ルト云フコトモ、是ハモウ御説ノ通りデアリマス、マア併シ御察シハ願ヘルト

思フノデアリマスガ、其ノ變リマス速度ガ必ズシモ物ニ依ッテ一定ヲ致シマセヌシ、又新ラシイ機械ガ發明サレマシテモ、古い機械相當ノ收益ヲ擧ゲテ行ケルト云フ狀態モアルノデアリマシテ、此ノ經濟的ノ命數ヲ定メルト云フコトニ付キマシテハ極メテ困難ヲ感ズル譯デアリマス、併シナガラ只今御手許ニ差上ゲマシタ表ハ、或ハ昨年四月ニ變ヘマシタモノデハナイカト思ヒマス、相當物ニ依ッテハ經濟的ノ命數モ從前ノヤ

リ方ヨリハ考慮ニ入レテアルト思フノデアリマス、併シナガラ非常ニ昨今技術ノ進歩其ノ他ノ變リノ多イ時デアリマスルカラ、尙今後モ此ノ點ニ付キマシテハ更ニ十分考慮シテ、變ヘベキモノハ變ヘテ參リタイト存ジマス

○小倉正恒君 只今ノ御説明デ能ク了承致シマシタノデスガ、御説ノヤウニ、製造工業ト謂ヒマシテモ色々種類モアリマスシ、又ソレ以外ノモノモアルノデアリマスシ、マア色々雜多ノモノデアリマスルカラ、ソレヲ一ツニ決メルト云フコトハ非常ニ無理ナコトト思ヒマス、併シ之ヲ一ツニ決メルト云フコトヲ私ハ申上ゲルノデハナイノデアリマシテ、サウ云フ事業ノ性質、色々ナコトヲ御考慮ヲ願ッテ……内規デアリマスルカラ、是ハ標準デヤナイカト思ヒマスルガ、マア標準ハ其處ニ置カレマシテモ、適當ニ按配シテ戴クコトガ宜イノデヤナイカ、只今大臣カラ適當ニ御考慮下サルト云フ風ナ御話デゴザイマスルカラ、私ハソレデ満足致シマシテ、私ノ質問ヲ打切りマス

○絲原武太郎君 私ハ他ノ委員會ガゴザイマシテ、或ハ御尋ネ致シマスコトハ既ニ質問ニ相成ッテ居ル事柄ガ多イカトモ想像致シマスカラ、極メテ簡單ニ御尋ネ致シマス

カラ、大臣ノ方ノ御答辯モ簡單デ宜シウゴザイマス、公債消化ノ萬全ヲ期シマスルニハ、各種ノ條件ガ必要デアリマスルコトハ申上ゲル迄モゴザイマセヌ、本年度ニ於キマシテ……十三年度ニ於キマシテハ、此ノ頃新聞紙デ御發表ニ相成リマス所ノ公債發行額ハ約五十六億萬圓程度ノモノデアルヤウデゴザイマス、デ之ニ付キマシテ此ノ消化力ニ付テ御尋ネ致シタイト思ヒマス、第一ニハ、我が國ノ經濟力ガ日露戰役時代ト現在ノ經濟力ハドウ云フ割合ニ増進致シテ居リマスルノデスカ

○國務大臣(賀屋興宣君) 經濟力ノ増進ノ割合ト云フコトヲ一口ニ申シマスルコトハ非常ニ困難デアリマスルガ、貯蓄ノ増加デアリマスルトカ、貿易デアリマスルトカ、サウ云フ風ナ經濟上ノ重要ナル數字ノ増進ノ割合等ニ依ッテ見マスルト云フト、ドウシテモ此ノ金額デ申シマシテ、十倍若シクハソレ以上ニハナッテ居ルノデハナイカト思フノデアリマス、郵便貯金及ビ銀行預金等ハ明治三十六年ト昭和十一年トヲ比ベマスルト云フト、約二十五倍ニ相成ッテ居リマス、銀行、會社ノ拂込資本金ハ同ジ年ヲ比ベマスルト、十八倍餘十九倍近クニモナッテ居リマス、手形ノ交換高ハ二十倍以上デゴザ

イマス、貿易額ハ九倍一割、大體左様ナ情況デアリマスルノデ、少クトモ大體十倍以上ニナツテ居ルト云フヤウナコトモ申シテモ宜カラウト存ジマス

○絲原武太郎君 次ニ軍事資金ノ調達運用ノ狀態ハ如何ニナツテ居リマスカ、軍事費ニ對シマスル政府資金ノ放出デゴザイマスガ、ソレノ運用狀態デゴザイマス

○國務大臣(賀屋興宣君) 二月末日迄ニ大體十六億圓餘ヲ七月以降支出致シテ居リマス
○絲原武太郎君 次ニ爲替管理ニ付キマシテ、モウ之モ御質問ガアツタト思ヒマスルガ、大體爲替管理ハ現在オヤリニナツテ居リマス方針ノ下ニ、暫クノ間ハオヤリニナル御考デゴザイマセウカ

○國務大臣(賀屋興宣君) 是ハ他ノ機會ニ申上ゲタコトモアリマスルノデアリマスガ、國際收支全體ニ付キマシテ計畫ヲ始メマシテ、略、輸入總量ノ限度ト云フモノヲ定メマシテ、ソレヲ只今ノ軍事上ノ需要、民間ノ需要等ニ依リマシテ、如何ナル品物ニ幾ラト云フ割當ヲ作リマシテ、併シナガラ是ハ豫想デアリマスルカラ、實際上ノ輸出ノ情況、其ノ他其ノ時々ノ資金ノ關係等ヲ見マシテ、其ノ範圍デ許可ヲ致ス、斯ウ云フ方針ニ致シテ居リマス、是ハ昨年ハソコ迄ニ

參リマセヌノデアリマシタガ、爲替管理ノ件ト申シマスカ、一番大キナ許可ノ標準ハ、今年ハ昨年ト違ヒマシテ立チマシタ譯デアリマス、次ニハソレヲ何人ニ許スカ、幾ラ許スカト云フ問題、一年中ノ何時ノ時期ニ於テ許スカト云フ問題ガ殘ルノデアリマス、其ノ一年中ノ何時ノ時期ニ何人ニ許スカト云フコトハ、一方ハ今申シマシタ海外資金ノ同ジ一年ヲ通ジマシテ同額ニシマシテモ、出來ル時期ノ關係モアリマス、一方ハ内地ノ産業、是ガヤカマシイ問題ニナツテ居リマス、輸出貿易ノ原料ト産業ニ及ス關係ガ非常ニ重大デゴザイマス、デ其ノ方ハ産業官廳、マア大體商工省デゴザイマスガ、商工省ノ意見ヲ主ニ致シマシテ之ヲ定メテ參リタイ、輸入貿易全體ガ所謂貿易管理ノ狀態ニ事實上ナツテ居リマス、特ニ法律モ出テ居リマシテ、サウナツテ居ルノデアリマスルカラ、商工省ト大藏省ガ密接ノ關係ヲ持チマシテ、其ノ許シマスコトハ主トシテ産業事情ガ主タルモノデアリマスカラ、商工省ノ意見ニ依リマシテ、之ヲ許シテ參スト云フコトニ付キマシテモ、成ルベク是ガ簡易ニ參リマスマスヤウニ、手續ノ方法モ相當改メツ、アリマスガ、尙今後相當研究致

シマシテ、改メテ參リタイト斯ウ考ヘテ居リマス、ソレ以外ノモノハ所謂一口ニ申セバ、從來ノ方針ヲ益、強化シテ參ル、斯ウ云フ考デアリマス

○絲原武太郎君 次ニ海外資金ノ獲得ト國際收支ノ情勢ハドウナツテ居リマスカ

○國務大臣(賀屋興宣君) 資金ノ獲得ハ大體輸出貿易、ソレ以外ノ貿易外ノ受取勘定、是ハ輸出貿易ノ振興ニ努メマスコトハ勿論デアリマス、併シナガラ只今ハ外國モ不景氣デアリマス、又露骨ニ申シマス日本ニ對シテ面白カラヌ感情ヲ持ッテ居リマス、其ノ影響ヤ、色々ナ事情デナカク思フヤウニ參リマセヌガ、尙之ヲ努メテ參リマスコトハ勿論デアリマス、尙其ノ外日本人ノ持ッテ居リマス外貨證券其ノ他ノ外貨資金ガ能ク問題ニナルノデアリマス、此ノ外貨證券ニ付キマシテハ相當多額ニアリマスガ、是ハ日本ノ政府或ハ日本ノ會社ガ發行シマシテ、詰リ債務者ガアルモノガ多イノデアリマス、之ヲ所謂外貨資金トシテ利用シマスルノニ、サウ大キナ效果ヲ致サナイ性質ノモノデアリマス、ソレ以外ノ在外資金モ相當アリマスルガ、是等ハ色々ノ日本ノ外國ニ於ケル商業取引ノ關係上、常ニ必要ナル分量ガ相當アリマスルシ、ソレ以外

ノモノニ付キマシテハ、爲替管理法ニ依リマシテ、多分昨年ノ改正ニ依ツタト思ヒマスルガ、之ヲ國家的ノ必要ナ場合ニハ有效ニ使用シ得ル途ガ拓カレテ居ルノデアリマス、是ハ必要ナ場合ニハサウ云フ處置ヲ取り得ル、斯ウ云フコトニナツテ居リマス

○絲原武太郎君 今後ノ見透シニ付キマシテノ御豫想ハ如何デアリマスカ

○國務大臣(賀屋興宣君) 今後ノ見透シニ付キマシテハ、本年ノ貿易ノ輸出額其ノ他受取勘定ヲ一應豫想ヲ立デマシテ、其ノ範圍デ、貿易外ノ支拂勘定モ成ルベク之ヲ儉約シテ之ヲ實行シ得ル範圍デ致スト云フコトニ致シマシテ、從ッテ貿易ノ輸入額ノ總體ノ見込額モ付ケテ居リマス、是ハ只今トシテハ軍需資材ノ獲得能力ト云フモノト殆ド同一ト申シマスルカ、實ハ是等ノコトヲ申上ゲマスレバ、ソレガ直チニ外ニ出マスレバ、サウ云フコトガ推測シ得ル重大ナコトニナツテ居リマスカラ、甚ダ遺憾デアリマスルガ、之ヲ數字的ニ申上ゲルコトヲ差控ルト云フコトデ、御許ヲ願ヒタイト思ヒマス
○絲原武太郎君 現在金融機關ニ依リマシテノ公債ノ消化ハドウ云フ模様デアリマス

○國務大臣(賀屋興宣君) 是ハ一昨年迄ハ

相當良イ狀態デアリマシタガ、昨年ハ思ハシクナイノデアリマス、所謂日銀ノ背負ヒ込ミガ多イノデアリマス、日銀ノ公債保有高ガ相當殖エマシタ、併シナガラ是ハ誠ニサウナリマスル自然ノ理合デアッタ、非常ナ輸入超過デアリマシテ、所謂赤字公債デ出テ参リマシタ兌換券ハ、輸入爲替ノ決済ノ爲ニ正金ニ拂込マレ、正金ハ日銀或ハ政府ヨリ金ノ拂下ヲ受ケテ、之ヲ決済ニ當テルト云フ一口ニ申セバ斯ウ云フ情況デアリマス、其ノ意味デ兌換券ノ還流ガ相當多カッタノデアリマス、其ノ上公債ヲ一般デ買フダケノモノハ餘リ殘リマセヌモノデアリマシタカラ、從ッテ賣レ行キガ惡イト云フヤウナ結果ニナッテ居リマス、而モ結果ハ通貨ノ膨脹ハ致シマシタガ、經濟活動ノ範圍ノ膨脹以上ニ非常ナル膨脹モ致シテ居リマセヌノデ、自然ニサウ云フ調節ニ相成ッテ居リマス、日本銀行ノ公債ノ保有ノ増加額ト云フモノガ殖エマシテモ差支ナイ情況ニアリマシタ、本年ハ昨年ノ年末以後金融界ノ餘程安定ニ向ヒマシタ以後、公債ノ賣レ行キハ餘程宜シイノデアリマス、只今ノ處極メテ順調ノ經過ヲ辿ッテ居リマス

○絲原武太郎君 今後ノ金融機關ニ對シマ

スル公債ノ應募ニ付キマシテ、從來御執リニナッテ居リマスル方法以外ニ、何カ御考慮ニナッテ居リマスカ、何カゴザイマスカ

○國務大臣(賀屋興宣君) 是ハ昨日モ申シ

マシタヤウニ、貯蓄ノ獎勵ヲ致シマシテ一口ニ言ヘバ五十億ノ戰費ガ出マシタナラバ、五十億本當ニ全部貯蓄ニ歸ル必要モナイノデアリマスルガ、全部返ス意氣込デヤッテ……大部分返スト云フコトニナリマス、併シ是ガ直接民衆ノ公債ノ購入ノ方ニ行クノデアリマスカ、預金部ノ方ニ殖ヘマスルカ、無論銀行デモ殖ヘルト思ヒマスルガ、是ガドウ云フ風ニ殖ヘマスルカニモ依ルト思ヒマスガ、銀行ニ依ッテ、預金ガ増加スルコトガ多イ場合ニハ、銀行ハ此ノ産業資金ト公債資金ノ保有ノ兩方ニ成ルベク努メテ戴キタイト思フ、ソレハ法律デ強制スルト云フコトハ致シマセヌガ、自發的ニサウ云フ方ニ進ンデ行キタイ、但シ今ハ資金調整法ヲ實行致シテ居リマスル爲ニ、今發行セラレル社債、新ラシイ新規模集ノ株ニ致シマシテモ、大體ニ於テ無用ナモノハナイ筈デアリマス、サウ云フ資金ノ融通ヲ止メテモ公債ノ方ニトハ、政府ハ決シテ言フ積リハナイノデアリマス、併シナガラ公債モ出來ルダケハ之ヲ買フト云フ考ヲ持ッテ貰ヒタイ

モノダト思ヒマス、ソレデ色々サウ云フコトニ付キマシテ、所謂此ノ當事者ノ自覺ニ依リ、又之ヲ勸メマスルノハ話合ニ依ッテ色々参リタイト思ヒマス、法律ニ依ッテ貯金ノ何割ヲ公債ニスベシトカ、サウ云フ強制ヲスルト云フコトハ只今致サヌ積リデアリマス

○絲原武太郎君 物價騰貴ノ抑制ニ關シマ

スル方策ノ大體ニ付キマシテ簡單ニ伺ヒマス、或ハモウ濟ンデ居ルカモ知レマセヌガ……

○國務大臣(賀屋興宣君) 物價騰貴ノ抑制

ノ對策ハ、根本的ニハ物資ノ需給ノ調整デアリマス、而シテドウシテモ價格ガ主ナンデアリマスカラ、供給ガ大イニ増加ヲシテソレニ應ゼマセヌモノハ法的ニ又自發的ニ消費ノ節約ニ俟ツコトガ主デアリマス、基本ハサウデアリマス、サウ云フコトニ付キマシテハ大キナ物資計畫ハ企畫院ヲ中心トシテ作ルノデアリマス、尙具體的ノ計畫ハ此ノ度商工省ニ物資調整局ヲ作りマシテ、主トシテ其ノ方デ致ス積リデアリマス、尙其ノ外ニ暴利ノ取締、價格ノ公定デアルトカ、又配給ノ制度ノ完備デアルトカ、斯ウ云フ風ニ商品……物資ヲ主ニ致シマスルコトハ、總テ主トシテ商工省デ致シマス、

而シテ一方戰費ガ非常ニ出マス結果、之ヲ非常ニ放任シテ置キマスレバ、通貨ガ無用ニ膨脹スル此ノ懸念ノ方ハ、大體役所ト致シマスレバ、大藏省ニ於テ消費ノ節約、貯蓄ノ獎勵ヲ致シマシテ、サウ云フモノヲ還流セシムル、大體ノ考ハサウ云フ點デアリマス

○絲原武太郎君 私ハ遅ク参リマシテ質問

ガ重複シマシタ點ガ多カッタト思ヒマスガ、誠ニ皆様ニ御迷惑ヲお掛け申上ゲタコトヲ御詫ヲ致シマシテ、此ノ質問ヲ終リマス

○森平兵衛君 私モ大藏大臣ニ一二點御伺

ヒ致シタイト思フノデアリマス、本回御提案ニナリマシタ支那事變特別稅、或ハ臨時利得稅、臨時租稅措置法ト云フモノガアリマスガ、此ノ稅ヲ御決定ニナリマスル間ニ於テ新聞ノ報ズル所ニ依リマス、家屋新築稅ト云フヤウナモノモ問題ニナッタノデアリマスルガ、是ハ地方稅ト衝突スルヤウナ多少憂ヘモアルト云フコトデ御取止メナッタト思ヒマスガ、隨分此ノ支那事變特別稅ノ中ニ昨年ト違ヒマシテ、物品特別稅ト云フヤウナモノハ隨分細カイ點迄御徵收ニナルト云フコトデアリマスノデ、此ノ徵收ニ當リマシテ納稅者モ非常ニ煩瑣デモアリ、又稅務署ニ於テモ相當ノ手數ヲ要スル

ト云フヤウナコトデアリマスガ、此ノ稅以外ニ於テモウ少シ何ト申シマスカ、簡潔ニ徵收セラレルヤウナ稅法モ他ニ全然ナイノデハナカッタト斯ウ思フノデアリマス、サウ云フ點ニ付テ大藏省ニ於テ斯ウ云フ稅モ考ヘタノデアルガ、矢張り他ノ稅ト重複スルカライカス、或ハ斯ウ云フ點ヲ考慮ニ入レタケレドモイカナンダト云フヤウナコトガ御アリニナッタラウト思ヒマス、衆議院ノ方デモ問題ニナッタト思ヒマスガ、此ノ所謂兵役稅ト云フヤウナモノモドウデアラウカト思フノデアアル、是ハ或ハ軍部當局ニ於テ御反對ガアツカモ知レマセスガ、所謂兵役ニ參ラナイ者デ相當身分ノアル者ニ對シテ、或一定ノ稅率ヲ課スルト云フヤウナコトモ考ヘラレルノデアリマス、又馬場大藏大臣ノ時分ニ大分是ハ問題ニナッタノデアリマス所謂賣上稅ト云フヤウナモノモ何カ御考慮ノ中ニアッタノデアリマス、幸ニ御差支ガアリマセナンダラ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(賀屋興宣君) 今ノ御尋ノ住宅稅ト申シマスカ、家屋ノ新築稅、之ニ付キマシテモ、場合ニ依リマシテ店舗ト事務所ト住居ト一緒ニナツテ居リマスルヤウナモノ、又一時ニ新築スルトカ、或ハボツ／＼建

テマスヤウナ場合モアリマスシ、ナカ／＼ソコロノ點ガ技術上面倒ダト云フヤウナ場合モアリ、又是デ豫想セラレマス稅額モ左程多イ金額ニモ上ラナイヤウデアリマス、又御話ノアリマシタ地方稅ノヤウナ關係モアリマスノデ、是ハ主稅當局ニ於テ審議ハ致シタコトガアルヤウデアリマスガ、結局案ニナリマセスデシタ次第デアリマス、又兵役稅ニ付キマシテハ、是ハ絕對ニ惡イカドウカト云フ結論ニハ相成リマセスノデアリマス、ドウモ兎角サウ云フ稅ヲ課シマスルト、國民ノ神聖ナル兵役ノ義務ガ金錢ノ納付ニ依テ代ヘルト云フノハ言葉自體ガ當ラヌカモ知レマセスガ、金錢ヲ納付スレバソレデ宜イノダト云フヤウナ考方ニナリ、兵役ノ神聖ト云フコトニ付テ多少ノ未ダ懸念ガアルノデハナイカト云フ點ガ殘リマスノデ、只今トシテ之ヲ兵役稅ヲ課スルト云フコトニ進シテ決心ヲ致ス程ニ參ラナカッタ次第デアリマス、賣上稅ニ付キマシテハ只今ノ所デハ是ハ適當ナル稅ト考ヘテ居リマセス、ト云フ理由ハ品物ニ依リマシテ生産過程ノ賣買ノ回數ガ著シク違フノデアリマス、賣買ノ回數ノ非常ニ多イ物、又少イ物、有ラヌル賣買ノ回數ニ課稅致スト云フコトハ、ドウモ負擔ノ上カラ言ヒマシタナ

ラバ適當ノ稅デナイヤウデアリマスノデ、是ハ未ダ研究ノ餘地ハアルカモ知レマセスガ、是ハ今度ハ初メカラ所謂サウ云フ賣買ノ度毎ニ課稅致スト云フ意味ノ賣上稅ハ問題ニハ致シマセスデシタ次第デアリマス、財産稅ニ付キマシテモ是ハドウモ實行致シマスルト云フト、不動產トカ、有價證券ノミニ課稅スルト云フヤウナ傾向ニモナリマシ、徵稅技術ノ點カラ考ヘマシテモ、賣上稅ヨリ或ハ理論上宜イト思フ所モアルト思ヒマスガ、是モ實行致スト云フコトニ至リマセスデシタ次第デアリマス

○森平兵衛君 モウ一點御伺ヒヲ致シマスコトハ、爲替ノ維持問題デアリマス、是ハ昨日モ或委員カラ御尋ガアリマシテ、大藏大臣ハ爲替ノ「レート」ノ維持ト云フコトニハ、有ラヌル努力ヲ以テ此ノ維持ニ努ムルト云フコトニ付テハ全然私ハ同感ヲ致ス者デアリマス、併シナガラ今日ノ場合戰時ガ長期ニ亙ルニ連レマシテ、輸出貿易ノ増進ト云フコトニ付テモ大イニ努メテ參ラナケレバナラスノデアリマスルノデ、或ハ是ハ速記ヲ中止ヲシ、アトデ、御取消下サツテモ異議アリマセスガ、私ハ此ノ輸入爲替ノ何ト申シマスカ、「クレヂット」ヲ設ケマシテ相當此ノ爲替ノ維持ニ付テノ緩和ノ途ヲ御講ジ

ニナルコトガ必要デアアル、今日ノ國際情勢ニ於キマシテハ或ハ之ガ出來得ルカ否ヤト云フコトモ疑問ト思フノデアリマスルガ、今日ノ長期交戰ハ最早經濟戰デアリマシテ、肉彈戰デハナイノデアリマス、支那、或ハ其ノ他ノ國ニ於キマシテモ日本ガ長期ノ經濟戰ニ堪ヘ得ルカ否ヤト云フコトヲ周圍カラ睨ンデ居ルノデアリマスルカラ、此ノ相當ナ長期ノ「クレヂット」ガ假ニ出來得ルモノデアリマスレバ、是ダケデモ私ハ戰爭ニ打克ツタト云ウテモ宜イト思フノデアリマス、承ル所ニ依リマスルト、此ノ滿洲ニ於ケル日本產業會社ガ自發的ニ所謂滿洲及北支ノ開發ノ資源ノ爲ニ長期ノ外資ヲ輸入スルト云フヤウナコトニ努メテ居ルト云フコトモ聞クノデアリマス、マア是ハ別ト致シマシテ、我が國ノ内地ニ於テハ所謂棉花、或ハ羊毛トカ云フヤウナモノガ、民間デ相當ノ輸入組合トカ何カラ設立ヲ致シマシテ、ソレニ長期ノ「クレヂット」ヲ作ルト云フコトデアリマスルガ、兎ニ角民間ダケデ長期ノ「クレヂット」ヲ作りマシテモ爲替ノ「レート」ト云フヤウナモノヲ維持スルト云フコトニ付キマシテハ矢張り政府、或ハ正金銀行ト云フヤウナモノガ之ニ保障シテヤラナケレバ到底是ノ成立ヲ見ル譯ニ行カヌノデアリマ

ス、斯ウ云フ點ニ付キマシテ大藏大臣ニ於テ何トカ御考ヲ願フテ、多少デモ、茲ニ一億デモ二億デモ三億デモ斯ウ云フコトガアリマスルト非常ニ我々ハ原料資源ヲ輸入致シマスル上ニ於テモット、滑ラカナ結果ヲ來タシテ、以テ其ノ效果ガ矢張り輸出ノ貿易ノ上ニ現ハレルモノデナイカ、今日國際間ハ大藏大臣モ既ニ御承知ノ通り唯物ヲ賣ルバカリデナクテ、向フノモノヲ買ハナイト云フコトデハ到底輸出貿易ヲ増進スル譯ニ行カナイノデアリマス、所謂「ギブ・アンド・テーク」ト申シマスカ、サウ云フ意味デ、成ベク向フノモノモ買ッテヤル、其ノ代リコチラノ物モ買ヘト云フヤウナコトデ、初メテ茲ニ輸出貿易ノ増進ヲ來スノデナイカト思フノデアリマス、サウ云フ意味ニ於キマシテ、是カラ輸入爲替ノ騰貴ニ付テモ相當御考ニナルト云フコトヲ、一層之ニ付テ、斯ウ云フヤウナ方法ヲ何カ御考ニナレバモウ一ツ樂ニナッテ輸出貿易ノ増進ニ效果ガ頗ル大ナルモノガアリハセスカト思フノデ、此ノ御答辯ハ或ハ速記ヲ御止メニナル必要ガアリマスレバ、其ノ邊ノコトハ全部委員長ニ御任セ致シテ置キマシテ、御腹案ノ程度ヲ御聽カセ願ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(賀屋興宣君) 外資ヲ輸入致シ

マスルコトハ總テ經濟ノ開發、發達ノ捷徑デアリマシテ、滿洲ニ於キマシテモ北支ニ於キマシテモ皆結構デアリマス、私ハ國內ニ於キマシテモ是ハ結構デアッテ、サウ云フコトガアレバ是ハ歡迎致スベキコトデアラウト思フノデアリマス、速記ヲ御止メ願ヒマス

○委員長(子爵前田利定君) チョット速記ヲ止メテ……

(速記中止)

○委員長(子爵前田利定君) デハ速記ヲ……如何デスカマダ大體ノ御質問モ殘ッテ居ルカモ知レマセヌガ、一時ニ局面ヲ展開シマシテ、各案ニ付テノ内容ニ付テノ御質問ヲ始メタイト思ヒマス、尙ソレガ終リマシテ後、漏レタ御質問ガゴザイマスレバ大體ノ御質問モ其ノ時ニ御許シスルコトニ致シマス

○子爵大河内輝耕君 ソレデハ内容ノ質問ヲ……

○委員長(子爵前田利定君) ドウ致シマセウカ、法案ノ題目ヲ片端カラ申上ゲマシテ、其ノ案ノ内容ノ御不審ヲ伺フコトニ致シマセウカ

○森平兵衛君 其ノ方が大變結構デス

○子爵大河内輝耕君 チョット速記ヲ止メ

テ戴キマス

○委員長(子爵前田利定君) 速記中止

(速記中止)

○委員長(子爵前田利定君) 速記開始

○大和田健三郎君 此ノ物品稅ノ第三種ノ酒類ニ課稅シテアルヤウデアリマスガ、此ノ酒ニハ造石稅ガアッテ、兩方カラ並行シテ、根本改正ヲシテノ後ニ併課スル御考デアリマセウカ、又ハ造石稅改正ノ時ニハ、一ツニ繰入レル御考デアリマセウカ

○政府委員(太田正孝君) 酒ノ稅ハ御話ノ通り二通りニナッテ居リマスガ片方ノ方ハ俗ニ申シマス庫出稅ニナッテ居リマス、將來根本的改正ノ時ニ庫出稅ヲ全面的ニ取ッテ行クカト云フコトハマダ分リマセヌ、其ノ時ニ解決シタイ問題ダト考ヘテ居リマス

○大和田健三郎君 チョット私ノ質問ハサウデナイノデアリマスガ、若シ根本改正ガアッテモ、造石稅ハ造石稅デ據置キ、物品稅ハ物品稅デ、兩方並行シテ課ケル御考デアリマスガ、若シクハ一ツニ課ケルノデアリマセウカ

○政府委員(太田正孝君) 私ノ申上ゲタ言葉ガ少シ足リナカッタカモ知レマセヌ、一本ニスルト云フコトノ意味ハ、後ニ庫出稅デ一本ニスルト云フ場合ハ、收入ノ點ヤ其ノ

他ニ關係シテ參リマスノデ、其ノ點ハドウナルカ決メラレナイト云フ意味ヲ申上ゲタノデアリマス

○委員長(子爵前田利定君) 宜シウゴザイマスガ、……ソレデハ皆サンノ御意向モ大體分リマシタカラシテ、各方面ニ付キマシテノ内容ニ付テノ御質疑ノ願ヒタイト思ヒマス、部分ハドノ方面デモ宜シウゴザイマス

○子爵大河内輝耕君 大體ノズット一通リノ質問ヲサセテ戴キマス、ソレデ第一ニ此ノ所得稅ヲ二割五分程度増徴ニナリマシテ、衆議院デハ修正ニナリマシタノデスガ、修正ニナッタ意味ハ別ト致シマシテ、是ダケ増徴シタ意味ハドウ云フ所カラ來タノデアリマセウカ

○政府委員(大矢半次郎君) 此ノ度ノ事件費ノ一部ニ充當スル爲ニ増稅ヲスル、併シ其ノ爲ニハ一方ニ於テ產業ノ進展ヲ阻止シナイヤウニ、又國民經濟ヲ不當ニ壓迫スルコトノナイヤウニト云フコトヲ考慮致シマシタ結果、大體所得稅ニ於キマシテ二割五分程度ノ増徴ヲ致シタラ宜カラウ、斯ウ云フコトニナッタ次第ゴザイマス

○子爵大河内輝耕君 所得稅ノ免稅點ヲ千圓ニ引下ゲタノハ、ドウ云フ譯デスカ、此

ノ千圓ト云フ意味ヲ伺ヒタイ

○政府委員(大矢半次郎君) 從來免稅點ガ第三種所得ニ於キマシテ千二百圓デゴザイマシタガ、此ノ際千二百圓以上ノ所得者ハ總テ二割五分程度ノ増徴ニ相成リマスルカラ、此ノ從來ノ免稅點以下ノ者デアリマシテモ、大體千圓以上ノ所得者ハ事變費ノ一部ヲ或程度負擔スルノガ適當デハナカラウカ、斯ウ存ジタ次第デゴザイマス

○子爵大河内輝耕君 サウシマス、千圓ト云フノハ別ニ根據ハナクテ、先ヅ此ノ程度デ宜カラウ、斯ウ云フ風ニ御考ニナッタノデスカ

○政府委員(大矢半次郎君) 内閣統計局ノ家計調査等ニ依リマシテ、大體月額百圓程度ノ收入ノアル者ハ、多少近時ノ經濟界ノ狀況カラ見マシテモ、餘裕ガアルヤウデゴザイマスルカラシテ、事變下ニ於キマシテ大體年所得千圓以上ノ者ニ對シテ、此ノ程度ノ負擔ヲシテ戴イテモ、マア大シテ差支ナイデアラウト考ヘマス

○子爵大河内輝耕君 能ク分リマシタ、サウシマス、先ヘ戻リマスガ、別ニ根據ハナイダラウト思フ、今伺ハナカッタデスガ、二割五分ノ計算ニ付テモ何カ根據ガアリマスカ

○政府委員(大矢半次郎君) 北支事件特別

稅ニ於キマシテ既ニ一割ノ増徴ヲ致シテ居リマシタ、此ノ度北支事件特別稅ヲ廢止致シマシテ、二割五分ノ増徴ヲスルト云フコトニ致シマスルコトハ、差引キ北支事件特別稅ヨリ更ニ一割五分程度ノ増徴ニナルノデゴザイマシテ、先ヅ此ノ程度ノ所ハ頃合デヤナカラウカト存ズル次第デアリマス

○子爵大河内輝耕君 ソレデ大體分リマシタガ、國債ト株式ノ關係ニ付キマシテ表ヲ戴イテアリマス、之ヲ質問ラシテ行ッタ大變デゴザイマスカラ、委員長ノ御許可ヲ得テ、其ノ儘速記録ニ載セテ戴キマス、尙ソレデ伺ヒマスガ、株式ヲ五分五厘ト假定シテ、利廻五分五厘ト假定シテ、十萬圓位ニナルト思フ、表ヲ戴イテアリマスガ、ソレデ株式ヲ持ッテ居ル者ハ基本所得十萬圓位ニナル、ソレカラ社債ト株式トヲ比ベテ見ルト、五萬圓位ノ所ニ行キマス、斯ウ云フマア譯ニナッテ來マスガ、ソレニ尙株式ト外ノモノトハ一分位違フノハ當リ前ダト云フコトカラ云フト、五千圓ナリ一萬圓位ノ所デハ株式ヲ持ツ方ガ損ダト云フコトニナリマス、此ノ點ハ產業資本ノ壓迫ト言フデ度々質問モアッタデアリマスガ、如何ナモノデアリマセウカ、モウ少シ株式ヲ優待スルト

云フ氣ハアリマスマイカ

○政府委員(大矢半次郎君) 是ハ株式ノ側ニ於テハ會社ノ業績如何ニ依ッテ株價ガ始終動イテ行クンデゴザイマス、一方ニ於テ公債社債ト云フモノハ、長イ眼デ見レバ、多少變動ガアリマスガ、大體サウ著シイ變動ガナイ、殊ニ最近國債ハ金利ノ水準ニナルヤウナ關係ニナリマス、又社債ト國債トノ間ハ或一定ノ幅ヲ以テ動イテ居ルト云フヤウナ狀況デアリマス、然ルニ株式ノ方ハ是ト全ク狀況ヲ異ニ致シマシテ、最近ノヤウニ軍需工業ヲ中心ニ致シマシテ、產業界ガ非常ナ勢ヲ以テ進展シテ行キマスレバ、收益狀況モ毎期向上シテ參リマス、株價モ上昇シテ參リマス、昨年ノ實績ニ見マシテモ、株價ノ利廻ノ變動ハ相當大幅デアリマシテ、昨年ノ三四月株價ガ相當高カッタ時ニハ利廻ハ低下スル、ソレカラ九月時分ニ株價ガ低落シタ時ニハ利廻ハ昂上スルト云フ風ナ狀況デアリマシテ、昨年中ニ於テモ相當此ノ利廻ノ上下ガアルノデゴザイマシテ、此ノ度増稅ニ依ッテ株價ノ利廻ノ影響ヲ受ケルノハ、殆ド昨年中ノ株價ノ變動ニ依リ利廻ノ動キノ一割ニモ達シナイ程度カト存ジマス、從ヒマシテ、此ノ程度ノ増稅ニ依リマシテ、此ノ目下經濟界ノ發展ノ勢ニ乗ジ

テ每期相當利益ヲ擧ゲテ居リマスル產業會社ガ、著シク其ノ進展ヲ阻害サレルト云フコトハナカラウ、斯ウ存ジテ居ル次第デゴザイマス

○子爵大河内輝耕君 サウ云フ意味ナンデヤナクシテ、株式ガ國債ナリ社債ナリニ比シテ虐待サレテ居ルンデヤナイカ、衡平ヲ失シテ居ヤシナイカト云フコトガ質問デス

○政府委員(大矢半次郎君) 是ハ大臣カラモ御話ノアリマシタ通り、近時ノ低金利ニ依リマシテ、國債ノ所有者、社債ノ所有者ハ元本ニ比ベマシテ、其ノ利子收入ガ著シク減ッテ居ルノデゴザイマス、一方ニ於テ株式ノ所有者ハ產業ノ進展ト共ニ配當モ漸次殖エテ來テ居ルト云フヤウナ狀況デアリマシテ、此ノ關係ハ全ク相反スル方面ニ向ッテ居ルノデゴザイマス、從ッテ稅制ニ於テ此ノ程度ノ差等ヲ設ケマスルノハ、不當デヤナクシテ、寧ロ却テ最近ノ經濟界ニ適スルモノデハナカラウカ、斯ウ存ズル次第デゴザイマス

○子爵大河内輝耕君 株式ヲ非常ニ儲カルモノト、斯ウ前提シテ掛カルカラ、今ノヤウナ御話デスガ、大藏省カラ作ッテ戴イタ表ハ、五分五厘ノ利廻デヤッテ居ルト云フ譯ニナルガ、ソレデモット高イモノヲ見レバ、

テ每期相當利益ヲ擧ゲテ居リマスル產業會社ガ、著シク其ノ進展ヲ阻害サレルト云フコトハナカラウ、斯ウ存ジテ居ル次第デゴザイマス

無論宜イノデスケレドモ、大體五分五厘位

ノ所ニ見テ宜カラウト思フノデスガ、ソレトモソナコトデナイ、サウ云フノハ見方

ガ悪イノダト云フ御考デアリマセウカ

○政府委員(大矢半次郎君) 此ノ利廻ハ五

分五厘程度ガ宜カラウト思フノデアリマス、唯此ノ會社ノ業績ガ良クナルト云フト、株

ノ値ガ段々騰ッテ行クト云フ點ガアルノデ

ゴザイマシテ、從ッテ既往ノ市場ニアル株ヲ

新ラシク手ニ入レル者ニ取リマシテハ、今

仰セノヤウナ點ガアルカト思ヒマスケレド

モ、從來持ッテ居ル者カラ見マスト云フト、

毎年々々業績ガ向上シテ來テ居ル、從ッテ配

當モ良クナッテ來ルト云フヤウナ狀態デア

リマスカラシテ、此ノ程度ノ増税ニ依ッテ株

式ガ敢テ不當ニ壓迫サレルト云フコトハナ

イ、ソレカラ新規ニ株式ヲ手ニ入レル、市

場ニアル株式ヲ手ニ入レル者ニ付キマシテ

モ、今後、尙其ノ株式ノ値段ガ騰ッテ行クト云

フヤウナ狀況ノ際デアリマスカラ、税ニ依ッ

テ多少利廻ハ悪クナッデモ、矢張り株價ノ騰

貴ト云フ方面デ相當「カヴァ」ガサレテ行クノ

デハナイカ、斯ウ存ズル次第デアリマス

○子爵大河内輝耕君 次ニ伺ヒマスガ、此

ノ臨時利得税ノ法人ト個人トノ區別ハ從來

ノモノト今度改正ニナリマスマノトハ比率

ハ同ジ位ニナッテ居リマスカ

○政府委員(大矢半次郎君) 同ジデアリマ

ス

○子爵大河内輝耕君 之ニ依リマシテ増收

ハドノ位ニナルノデスカ

○政府委員(太田正孝君) 結局差引キ致シ

マシテ、法人ガ三千三百八十萬圓、個人ガ

五百九十萬圓デアリマス

○子爵大河内輝耕君 利益配當税ヲ七分ヲ

超エル金額ニ一割ノ税ヲ課スル、斯ウ云フ

風ニナルノデスカ、根本ニ疑ガアルノデス

ガ、先ヅ第一ニ疑フノハ、配當率ノ多イモ

ノニ付テハ高イ金ヲ出シテ買ッテ居リマス

カラ、配當率ハ七分ダケレドモ當事者カラ

見レバ、七分ニハナラナイ、ソレカラ又ソ

レヲ賣買ノナイモノト假定シテ見マシテモ、

今配當率ノ高イノハ、過去ニ於テ配當ヲ成

ルベク節約シテヤツタ、基礎ヲ鞏固ニシタト

云フコトカラ來タモノモアリマセウシ、又

相當ニ事業ノ經營ガ宜カッタカラ、サウナル

ト云フノモアリマセウシ、兎ニ角過去ニ於

テノ苦心ノ結果ト見ナケレバナラス、ソレ

ガ臨時利得税ノヤウニ必ズシモサウダト言

ヘマセスケレドモ、景氣ガ變ツタ爲ニ不勞所

得ト云フ風ニナッテ來タモノハ、ソレガ臨時

利得税其ノ他デ取ラレルノデ、其ノ主義ハ

全ク宜イ主義ダト存ジマスケレドモ、併シ

サウデナイヤウニ、唯高クノ配當スルヤ

ウナモノハ、必ズシモ……、是ハ大體ニ於

テ其ノ人ノ骨折ニ依ルト見デ宜イト思ヒマ

ス、デスカラ、斯ウ云フコトヲ爲サルト云

フト、又是ハ上ゲラレハシナイカト云フノ

デ、兎ニ角無暗ニ配當スルコトガ始マラウ

ト思フ、是ハ面白クナイコトナンデス、斯

ウ云フ風ニ一率ニモ七分ヲ超エタモノハ高

ク課ケテヤレト云フヤウナ見方ハ甚ダ面白

クナイノデ、所得税トカ何トカデ取ルト云

フコトナラ宜ウゴザイマスケレドモ、何デ

モ一樣ニ配當ハ七分ガ宜イノダト云フ風ニ

見ルノハ、ドウモ是ハ穩カデナクナルノデ

ハナイカ、色々ノ見方カラシテ……、書イ

テアレバ、七分デスケレドモ、名義上ニハ

七分ダケレドモ、實質上カラ言ヘバ、必ズ

シモ七分デヤナイト云フヤウナ點モアリマ

スカラ、少シ無理ナ餘リ機械的ナ課税デヤ

ナイカト思フガ、其ノ邊ハドウ御考ニナリ

マスカ

○政府委員(大矢半次郎君) 是ハ昨年北支

事件特別税ノ時ニ新設シタ税デゴザイマシ

テ、當時モ只今大河内子爵ノ申サレタヤウ

ナ御意見ヲ述ベラレタ方モゴザイマス、又或

程度ソレニハ理由ガアルト思フノデゴザイマ

ス、併シ古カラ持ッテ居リマシテ、漸次配

當率ノ向上シテ來タ株ト云フモノニ付キマ

シテハ、或程度ノ關聯ガアルデハナカラウ

カ、又サウ云フ場合ガ多イデハナカラウカ、

要スルニ是ハ會社自體ニ對スル課税デハナ

クテ、株主ニ對スル課税ダ、七分以上ノ配

當ノアル株式ハ優良株デアラカシテ、其

ノ株式ヲ持ッテ居ル者ハ、七分ニ達シナイ配

當ヲ受クル株式ヲ持ッテ居ル者ニ對シテ相

當ニ負擔力ガアルノダト云フノガ、大體此

ノ利益配當税ノ根據カト思フノデゴザイマ

ス、新ラシクサウ云フ株ヲ取得シタ者ニ對

シテハドウダラウト云フ御説ハ、全ク是ハ

御道理ノアルコトダトハ存ジマスガ、大體

前ニ申上ゲタヤウナ理由デ、昨年御協賛ヲ

得マシテ、法律ガ施行セラレテ居ル今日ト

致シマシテハ、大體此ノ利益配當税ノ課税

ヲ受クルト云フコトヲ前提ニ致シマシテ、

市場ノ取引モセラレルコトト存ジマシテ、

現ニ解決シテ居ル今日デハ昨年新ラシク制

定スル時ト多少趣ノ違フ點ガアルカト存ズ

ルノデゴザイマス、唯仰セノヤウナ點モア

ルノデアリマスカラシテ、此ノ度ハ税率

ハ据置ト致シテ居ル次第デアリマス

○子爵大河内輝耕君 此ノ法人ノ資本ノ資

本税ハ矢張り引上ゲラレマシタノデスカ、

今迄ヨリドノ位引上ゲタノデアリマスカ
○政府委員(大矢半次郎君) 二割引上ゲマシタ

○子爵大河内輝耕君 其ノ二割ト云フノハ所得稅ニデモ根據ヲ取ラレタノデアリマスルカ、ソレトモ全然別ノ意味カラ來テ居ルノデスカ

○政府委員(大矢半次郎君) 是ハ法人資本稅ト所得稅トハ全ク稅ノ性質ガ違フモノデアリマスカラシテ、別ニ第一種所得稅ニ對スル増徴、第三種所得稅ニ對スル増徴ト權衡ヲ取ツタ譯デハナイノデゴザイマス、御承知ノ通り、昨年はハ新ラシク起シタ稅デモゴザイマスルシ、所得ノ高ニ拘ラズ、資本金ニ對シテ千分ノ一ト云フノデ課稅ヲスル譯デアリマスルカラ、此ノ際餘リニ多ク増率スルノハ如何カト存ジマシテ、此ノ程度ニ止メタ次第デアリマス

○子爵大河内輝耕君 其ノ砂糖消費稅ハ一割位引上ゲテ居ルヤウデアリマスルガ、是ハ矢張り砂糖ノ賣値ナリ、生産費ナリガ大體一割位騰ツタト云フ御見込デゴザイマセウカ、其ノ邊ハ如何デアリマセウカ

○政府委員(大矢半次郎君) 此ノ度事變費ノ一部ニ充當スル爲ニ増稅或ハ新稅ヲ起スノデゴザイマスルガ、成ルベク所得稅ヲ中

心ニシテ考ヘテ行キタイト思ヒマシタケレドモ、單リ所得稅ノミニ依ル譯ニハ參リマセヌノデ、相當間接稅方面ニモ入ッテ行ツタノデゴザイマス、ソレデ物品稅トシテデハゴザイマスルガ、酒類ニ對シマシテモ其ノ稅額ニ對シテ大體一割程度ノ増徴ヲ致スノデゴザイマスルカラシテ、砂糖ニ付キマシテモ現在ノ稅額ニ對シマシテ一割程度増徴スルノハ、酒類トノ權衡上モ適當デナイカト思フノデアリマス

○子爵大河内輝耕君 増稅前即チ事變ノ始ツタ頃カラ今迄ノ間デ砂糖ノ卸值ハドノ位デアリマスカ

○政府委員(大矢半次郎君) 此ノ御手許ニ資料トシテ稅第六十五號ニ大體アルノデゴザイマスガ、尙モウ少シ詳細ノ點ニナリマズレバ、後刻取調ベテ申上ゲタイト思ヒマス

○子爵大河内輝耕君 極ク標本的ノモノデ宜シウゴザイマスルカラ、チョット仰シヤツテ戴キマス

○政府委員(大矢半次郎君) 第二種ノ中變ニ付テ申上ゲマスト、昭和九年ニハ十六圓三十七錢、十年ニハ十六圓六十三錢、十一年ニハ十六圓八十三錢、十二年ニハ十九圓六十一錢デアリマス

○子爵大河内輝耕君 サウ致シマスト、砂糖ノ生産費モ上ツテ居リマスガ、砂糖會社ノ利益ト云フモノハ其ノ割ニ餘程増加シタモノト承知シテ宜シウゴザイマスカ

○政府委員(大矢半次郎君) 昨年來價格ノ上昇シタノハ、生産費ノ多クナツタ點モゴザイマスルケレドモ、主トシテ臨時租稅増徴法ニ依ル増稅ノ結果ダト思ヒマス、今申上ゲタ價格ハ現物ノ納稅價價格デアリマス

○子爵大河内輝耕君 サウシマスト、餘リ割合ニ賣値モ騰ラズ、生産費ハ上ツタラウト思ヒマスガ、賣値ハ割ニ騰ッテ居ラナイ、ソレデ斯ウ云フ風ニ課ケラレルト云フト、ソレハ砂糖會社ガ困ッテモ宜イト言ヘバ、ソレ迄ノ話デスガ、少シソコニ無理ガアリハシマセヌカ

○政府委員(大矢半次郎君) 昨年臨時租稅増徴法デ相當増徴ニナリマシタガ、大體砂糖ノ消費ハ同ジ程度維持シテ居ルノデゴザイマシテ、此ノ度此ノ程度ノ増稅ナラバ、砂糖會社ハサウ著シク打撃ヲ被ムルト云フコトハ先ツナカラウト存ジテ居リマス

○子爵大河内輝耕君 衆議院デ修正ニナリマシタガ、是ハ政府モ大體宜シイト云フ御話デスガ、ドウ云フ譯デ斯ウ云フ修正ニナツタンデスカ、又政府ガ差支ナイト仰シヤル

ノハ、ドウ云フ點ナンデス
○政府委員(大矢半次郎君) 是ハ衆議院ノ修正ハ砂糖ハ大體生活ノ必需品トデモ言フベキモノデ、斯クノ如キモノニ對シテ此ノ度ノ増稅ノ程度デハ少シヒド過ギルデハナイカ、斯ウ云フノデ、修正シタト思ヒマス、政府ハ其ノ修正ヨリマア原案ノ方ガ寧ロ權衡ヲ得テ居ルノデナカラウカト存ジテ居ルノデアリマスケレドモ、衆議院ノ修正ニ對シテ、貴族院ニ於テモ御賛成ニナル場合ニ於テハ、マアソレデ實行シテ見ヨウカト、斯ウ思ッテ居ル次第デアリマス

○子爵大河内輝耕君 此ノ修正ニ付テハ具體的ニ意味ガアル譯デハナイノデスカ、唯少シ高過ギルカラ、下ゲタト云フ程度ナンデスカ

○政府委員(大矢半次郎君) 大體左様デゴザイマス

○子爵大河内輝耕君 其ノ次ニ取引所稅ニ付テ伺ヒマスガ、是モ大分御引上ゲニナツタヤウデアリマスガ、此ノ點ハドウ云フ譯ナンデスカ

○政府委員(大矢半次郎君) 取引所稅ハ昨年ノ臨時租稅増徴法ニ於キマシテ株式清算取引、短期、長期共ニ八割程度増徴シテ居ルノデゴザイマスルガ、御承知ノ通り、ソ

レニモ拘ラズ、此ノ臨時租稅増徴法施行以後ニ於キマシテモ、是等株式ノ清算取引ハ相當旺盛ナノデゴザイマシテ、從ツテ此ノ度相當廣ク増稅ヲ致ス際ト致シマシテ、此ノ程度ノ増稅ヲ取引所稅ニ致スノハ、寧ロ他トノ權衡上必要ガアルノデナイカト思フ次第デアリマス

○子爵大河内輝耕君 他トノ權衡トカ其ノ程度トカ云フノハ、ドウシテ御定メニナリマシタカ、何カ具體的ノ根據ヲモウ少シ……

○政府委員(大矢半次郎君) 増稅ノ根本趣旨ト致シマシテ、産業ノ進展ヲ阻害セズ、國民生活ヲ不當ニ壓迫セズト云フノデアリマシテ、株式ノ清算取引ニ對シマシテ、此ノ程度ノ課稅ヲ致シマシテ、此ノ取引ヲ著シク阻害スルコトハナイト、斯ウ見タノデゴザイマス

○子爵大河内輝耕君 次ニ物品稅ヲ伺ヒマスガ、色々細カクナッテ居リマスガ、第一一種ト第二種ノ區別ハ何處カラ來テ居リマスカ

○政府委員(大矢半次郎君) 是ハ物品稅ノ性質ト致シマシテ、成ルベク消費ト申シマスガ、販賣ニ近イ所デ課稅スルノガマア理想的カト存ジマス、併シ此ノ理論ヲ貫徹致シマスルト云フト、一方ニ於テ非常ニ課稅

上官民相互ノ手數ヲ要スルト云フ點モゴザ

イマス、從ヒマシテ課稅物品ノ種類ニ依リマシテ、大體大規模組織ノ工場等ニ依リマシテ、製造セラレテ居ル、製造場ノ數モ少イノデ、小賣デ課稅スルヨリモ寧ロ製造場デ課稅シタ方が官民相互ノ手數ヲ省キ得ルト云フヤウナモノハ、成ルベク此ノ第二種ノ方ニ致シタイノデアリマス、課稅技術上ノ必要カラ生ジテ來タ次第デアリマス

○子爵大河内輝耕君 其ノ甲類ト云フノハ兩方共大體奢侈品ト云フヤウニ御考ニナッテ居ルシ、乙類ト云フモノハソレ程デモナイト云フヤウニ御考ニナッテ居ルト思ヒマス、併シ大體ニ於テ兩者通ジテ、先ヅ有産階級ノ使フモノダト、斯ウ云フ風ニ御考ニナツテ譯デゴザイマセウネ

○政府委員(大矢半次郎君) 比較的生活ニ餘裕アル方面ノ人ノ消費スル物品ダト、斯ウ考ヘタ次第デゴザイマス

○子爵大河内輝耕君 織物稅ハ今ドノ位ナ課稅ニナッテ居リマスガ、此ノ物品稅トノ權衡ヲ伺ヘバ、宜イノデス

○政府委員(大矢半次郎君) 百分ノ九ノ稅率デゴザイマス

○子爵大河内輝耕君 何カ斯ウ何デスネ、不權衡ナヤウニ思ヒマスガ、如何デアリマ

スカ、是ハ百分ノ十トカ百分ノ十五トカニナッテ居リマスガ、織物稅此ノ物ナドヨリモウ少シ高級ノ物ガアルヤウニ思ヒマスガ、此ノ中デ織物稅ヲ課セラレテ居ル物モ入ッテ居ルヤウデアリマスシ、織物稅ヲ課セラレナイ物モ此ノ中ニ入レテ居ルヤウデアリマスガ、ソコハ如何デスカ、能ク見レバ、分ルカモ知レナイガ

○政府委員(大矢半次郎君) 織物消費稅ハ、御承知ノ通り絹織物、毛織物、人絹織物等ニ對シテ一樣ニ課稅シテ居ルノデゴザイマス、從ツテ絹織物ニ於キマシテモ銘仙類ノヤウナ物ニハ餘リ高級ナ物ハナイノデアリマス、人絹織物ニ至ッテハ極ク安い物モアルノデアリマス、ソレカラ織物ニ於キマシテモ中學生ノ制服ニナルヤウナ物モアルノデアリマス、斯ウ云フ物ニ對シテ現在以上ノ稅率デ課稅スルノハ如何カト存ジテ、此ノ儘据エ置イタ次第デアリマス、物品稅ニ於キマシテハ、品目ヲ見レバ、或ハ織物ヨリモ寧ロ稅率ヲ安クシタ方が宜イノデハナイカト思フ物モ含ンデ居ルヤウニハ見エマスケレドモ、是等ニ對シテハ、多ク此ノ免稅點第一種ノ乙種ニ依ル免稅點ヲ設ケテ居ル結果、中流ト申シマスガ、一般大衆ノ消費スル方面ノ物ハ免稅ニナルノデゴザイマ

ス、從ヒマシテ此ノ程度デ織物消費稅トノ權衡ハ大體得ラレルト思ヒマス

○子爵大河内輝耕君 實ハ能ク之ヲ見テ居ラスノデ分リマセスガ、免稅點ハドコニゴザイマスガ、免稅點ヲ説明願ヒマス

○政府委員(大矢半次郎君) 資料ト致シマシテハ、勅令案要綱ノ附トシテ課稅物品ノ内容概要ト云フノヲ差上ゲテゴザイマス、其ノ方ニ記載シテゴザイマス

○子爵大河内輝耕君 ソレデ能ク分リマシタガ、今ノ贅澤品トカ、マア有産階級ト仰シヤイマスガ、ドウモサウデナイ物モ随分アリマスガ、是ハ何デスカ、矢張り免稅點デドウカナルノデスカ、例ヘバ靴トカ、家具トカ、漆器、陶磁器トカ、隨分ナケレバナラス品物モアルヤウデアリマスガ、ソレハ宜シイノデアリマスガ

○政府委員(大矢半次郎君) 靴ハ長靴ハ二十圓、其ノ他ハ十二圓ヲ免稅點ト致シテ居リマス、履物ハ四圓、家具ハ五十圓、帽子ハ五圓ト云フ風ニ、ソレノ免稅點ヲ置イデアリマス

○子爵大河内輝耕君 此ノ乗用自動車ト云フノガアリマスガ、是ハ部分品ニ入ッテ居リマセヌカ、部分品迄課稅シナイノデスカ、ソコノ所ハ何カ權衡ヲ得ナイヤウニ見エルノ

デアリマスガ

○政府委員(大矢半次郎君) 乗用自動車ニ

ハ一定ノ規格ヲ定メマシテ、其ノ規格ニ當

嵌マルモノダケヲ課稅スル積リデアリマス、

是モ勅令案要綱ニ大體ノコトハ記載シテア

ルノデゴザイマス、從ヒマシテ部分品迄モ

課稅スルト云フノハ、規格ニ當嵌マルモノ

ト當嵌ラヌモノトニ共通ノモノモゴザイマ

スヤウナ關係上、實行出來ナイノデアリマ

ス

○子爵大河内輝耕君 成ル程實行ハ出來ナ

イコトハ分ッテ居リマスケレドモ、實行ガ出

來ナイカラト云フテ、部分品ト云ツテ、

ドン／＼出來テ來レバ、ヲカシナコトニナ

ラウト思ヒマスガ、何カノ場合ニ捉ヘテ課

稅スルコトヲシナケレバ……、スルト云フ

コトガ全然出來ナイコトデハナイヤウニ思

ヒマスガ、如何ナモノデセウカ、法ガ不備

ノヤウニモ考ヘラレルノデスガ

○政府委員(大矢半次郎君) 是ハ製品ト

ナツテ、一定ノ規格ヲ備ヘルヤウニナツタ場

合ニ課稅ヲ受ケル結果ニナルノデゴザイマ

ス

○子爵大河内輝耕君 尙ソコノ點ヲモウ少

シ伺ヒマスガ、一體ドウ云フモノヲ指シテ

乗用自動車ト言ヒマスガ、殊ニ自動車ハ是

カラ獎勵スベキモノノヤウニ一般ニハナツ

テ居ル、サウ云フ點カラモ伺ッテ見タイト思

ヒマス

○政府委員(大矢半次郎君) 此ノ乗用自動

車トシテ課稅スルノハ、輪距、即チ前輪ト

後輪トノ距離デアリマス、二百八十九「セン

チメートル」程度ヲ超ニルモノヲ限り課稅ス

ル見込デアリマス、其ノ結果トシマシテ豐

田トカ、日産等ノ國產車「フオード」、「シボ

レー」等ノ大衆車ハ課稅セラレナイコトニ

ナツテ居リマス

○子爵大河内輝耕君 大體意味ハ分リマシ

タ、燐寸ノ稅ハ大分外國デモ課ケテ居ラレ

ルヤウデアリマス、併シ必要品ニ相違ナイ、

ソレハ議論ニナリマスカラ、止シマスガ、外

國デドンナ風ニ課稅サレテ居リマスカ

○政府委員(太田正孝君) 各國ノ燐寸ノ稅

率ヲ申シマス、ト、「イギリス」ガ千本ニ付テ

爲替ニ換算シタ日本ノ金ニシテ五十一錢、

「アメリカ」ガ七錢一厘、「ドイツ」ガ十四錢一

厘、「イタリー」ガ二十一錢一厘、「フランス」

ハ專賣デアリマス

○子爵大河内輝耕君 ソレハ大分古クカラ

ヤツテ居リマスカ

○政府委員(太田正孝君) 相當古イト記憶

シテ居リマスガ、年數ハ追ッテ調べテ御報

告申上ゲマス

○子爵大河内輝耕君 酒ノ稅ハ五圓、七圓、

十五圓トサレタノデアリマスガ、ソレハド

ウシテ斯ウ云フ風ニ定メラレタノデスカ、

從來ノ酒稅ノ比率カラ來タンデスカ、ソレ

トモ何カ外ニ根據ガアリマスノデスカ

○政府委員(大矢半次郎君) 酒ノ稅ニ付キ

マシテハ、先程申シマシタ通り、大體現在

ノ造石稅トシテ課稅シテ居ル稅額ニ對シテ

一割程度課稅シヨウ、斯ウ存ジテ居ル次第

デアリマス、從ッテ清酒、白酒、味淋、燒酎

等ニ付キマシテハ五圓ト致シマシタ、濁酒ハ

此ノ度ノ増徴ノ中ニハ入ッテ居リマセヌ、ソ

レカラ酒精含有飲料ニ付キマシテハ七圓ノ

課稅ニ致シテ居リマス、是ハ「ウキスキー」、

「ブランデー」ノヤウナモノ、或ハ新清酒ト

申シマスガ、是ハ合成酒ト申シテ居ルノデ

アリマスガ、斯ウ云フモノモ入ッテ居リマ

シテ、是等ハ清酒ニ比ベマシテ、幾分負擔

力ガ餘分ニアルト存ジマシテ差等ヲ設ケタ

次第デゴザイマス、葡萄酒ニ對シマシテハ

十五圓ト致シマシタ、葡萄酒ハ從來無稅デ

アリマシタガ、近時此ノ製造技術モ漸次改

良セラレテ參リマシテ、相當良イ物モ出テ

市販品ト致シマシテモ、石六十圓乃至八十

圓見當ノモノガ出テ居ルヤウナ狀態デゴザ

イマス、酒精度カラ申シマシテモ十二度内

外デゴザイマシテ、濁酒ガ現在造石稅トシ

テ三十六圓ノ課稅ヲ受ケテ居ルト云フ點カ

ラ考ヘテ見マシテモ、相當程度課稅シテ然

ルベキデハナカラウカト存ジマスガ、一面

從來課稅外ニ置カレテ居ル點モ考ヘマシテ、

大體十五圓ト云フコトニ致サウ、斯ウ決定

シタ次第デゴザイマス

○子爵大河内輝耕君 此ノ十五圓ハ、ソレ

デヤ從來ノモノニ比較シテ御決メニナツタ

ノデ、先ヅ十五圓ガ適當ダ斯ウ云フ御考ナ

ンデスカ、尤モソレハ衆議院デ修正ニモナッ

テ居リマスカラ、衆議院ノ修正ノ點ハ、大

體御同意ダラウト思ヒマスカラ伺ヒマセヌ

ケレドモ、色々ノ各種ノ點カラ考ヘテ、或ハ

販賣價格トカ、或ハ含有シテ居ル酒精ノ度、

其ノ他カラ見テ十五圓ト御決メニナツタノ

デスカ

○政府委員(大矢半次郎君) 大體先程申上

ゲマシタ通りニ、酒精度ハ十二度程度デ相

當高イノデゴザイマス、所謂馬場稅制案ニ

於キマシテハ、石三十圓ト云フコトニナツテ

居リマシタ、是ハ酒精分ノ點、ソレカラ市

場ニ於テ取引セラル、價格ノ點等ヨリ考慮

致シマスレバ、消費稅トシテハ、其ノ程度

存ジマス、併シ從來課税外ニ置カレテ居ル點、又相當農家ガ副業的ニ小規模ニ造ツテ、自家用ニモ供セラレテ居ルト云フ點モ考慮致シマシテ、此ノ度ハ大體此ノ半額程度ニ止メヤウカト斯ウ存ジテ次第デアリマス

○子爵大河内輝耕君 サウシマス、衆議院ノ修正モ同ジヤウナ趣旨カラ出デ居ッテ、先ヅ此ノ位ナラ已ムヲ得マイト斯ウ云フ風ニ御考ニナツタト考ヘテ宜シウゴザイマス

○政府委員(大矢半次郎君) 大體左様デゴザイマス

○子爵大河内輝耕君 次ニ通行税ヲ伺ヒマスガ、通行税ハ從來ノ通行税トドウ云フ風ニ違ヒマスカ、何カ一ツ押ヘネバ分リマセヌカラ、適當ナモノヲ押ヘテ仰シヤッテ戴キタイ、或ハ東京・大阪間ト云フコトデモ宜シウゴザイマス

○政府委員(太田正孝君) 從來ノ通行税トハ、課税範圍ニ於テモ、税率ニ於テモ違ッテ居リマス、課税範圍ニ於テハ五十「キロ」未滿ハ三等ハ課税シナイコトニシマシタ、第二ハ乗合自動車ニ今度ハ税ヲ掛ケルコトニシマシタ、外國ヘ行ク船舶ニハ是迄ハ掛リマセズデシタガ、外國ヘ行ク船舶モ八百「キロ」迄ハ掛ケルコトニナツテ居リマス、

ソレカラ往復ノ「キロ」程ハ往復各別ニ計算スルコトニナツテ居リマス、此ノ四ツノ點ガ課税範圍ニ於テ違ッテ居リマス、税率ニ於キマシテハ、遠クニ行ク程重クナツテ居リマス、モウ一ツハ團體、回数、定期乗車船ノ人數、回数、期間ニ應ジマシテ差等ヲ設ケタノデアリマス、元ノ通行税ハ税額ノ五倍ト云フコトニナツテ居リマシタ、是ガ主タル點デゴザイマシテ、徴收方法ハ前ト同ジデ

ゴザイマス、一番違ッタ點ハ嘗テ非難ガアリマシタ短イ距離ト、都會ノ下級生活者ノコトナドヲ考ヘマシテ、五十「キロ」未滿ノ三等ノモノヲ免稅シタト云フノガ最モ大キナ點ニナツテ居リマス

○子爵大河内輝耕君 能ク分リマシタ、ソレデ色々御趣旨ノ點ハ分リマシタガ、税率ニ付テ伺ヒタイ、例ヘバ二等ニセヨ三等ニセヨ、五百軒位ノ所デハ從來トドノ位違ヒマスカ、汽車デ行ク場合デ宜シウゴザイマス

○政府委員(大矢半次郎君) 東京驛ヲ出マシテ京都迄ハ五百十三軒程ゴザイマス、一等ハ舊稅額ハ五十錢、此ノ度ノハ一圓八十錢、二等ハ舊稅額ハ二十五錢、此ノ度ハ九十錢、三等ハ舊稅額ガ四錢、此ノ度ハ三十錢トナツテ居リマシテ、遠距離ニナリマスレ

バ此ノ度ノ税ノ方ガ大分高クナツテ居リマス

○子爵大河内輝耕君 是ハドウシテ斯ウ云フ風ニ遠距離ヲ高クサレタノデセウカ

○政府委員(大矢半次郎君) 舊ノ通行税ハ三等ニ於テモ免稅點ガナク、最低一錢徴收スルコトニナツテ居リマシタ、從ッテ電車ノ毎日通勤スル者ニ對シテモ課税スルト云フ風ニナツテ居リマシテ、大體通行税ノ收入ノ六七割ハ、此ノ三等近距離ノ者ノ納ムル所デゴザイマシタ、通行税ガ非常ニ惡稅ダト云ツテ多年廢止ヲ叫バレタ根本ノ理由モ、此ノ點ニアッタノデゴザイマス、此ノ度ハ其ノヤウナ點ヲ考慮致シマシテ、三等五十軒未滿ノ者ニ對シテハ課税シナイコトニ致シマシタ、サウシテ前ノ通行税ニ於キマシテハ二百哩以上ハ總テ均一ダッタノデゴザイマス、是ハ今日ノヤウニ交通ガ發達シテ居ナカッタノデ、餘リ遠距離通行ノ者モ數ガ多クナカッタカラシテ、此ノヤウニシタコトト存ジマスガ、明治三十八年時分ト今日トデハ交通ノ狀況モ非常ニ變ッテ參リマシタ、從ッテ五十軒未滿ノ三等乗客ニ對シテ免稅致シマシテモ、此ノ度ノ通行税新設ニ依ッテ八百萬圓程度ノ收入ガアルト云フヤウナ狀況ナノデアリマシテ、遠距離通行ノ者ニ對

シテ或程度以前ヨリモ負擔ヲ重クスルノハ、寧ロ權衡上適當デハナカラウカト存ジテ居ル次第デアリマス

○子爵大河内輝耕君 是ハ上ガ方ガ手嚴シイヤウデスガ、此ノ位ニ致シテ置キマス、次ニ入場税ニ付テ伺ヒマスガ、是ハイツカラオヤリニナリマスカ、例ヘバ前ニ切符ヲ買ッテシマッタ者ガ、四月一日カラ之ヲ掛ケラレタラ隨分困ルト思ヒマスガ、サウ云フ過渡的ナ規定ハゴザイマス

○政府委員(大矢半次郎君) 此ノ法案ガ成立致シマスレバ四月一日ヨリ施行致シタイト存ジテ居リマス、而シテ入場税ニ付キマシテハ、入場料支拂ガ本法施行後ノ場合ニ課税スル積リデゴザイマス

○子爵大河内輝耕君 ソレデ能ク分リマシタガ、是ハ地方税トシテハドウナリマスカ、法人ノ例ノ演劇税ノヤウナモノハ無論廢サレテ營業收益税ニナラウト思ヒマスガ、個人ノ演劇税ハ相變ラズアルノデアリマセウカ、此ノ位ノモノニ御掛ケニナルナラバ、ナントカソコヲ地方交付金ノ形カナンカデヤッテ、アア云フ變ナモノハ御止メニナツテシマッタ方ガ宜カラウト思ヒマスガ如何ナモノデゴザイマセウカ

○政府委員(大矢半次郎君) 一三年前ノ議

會ニ於キマシテ法人ノ演劇興行ニ對シテモ、營業收益稅ヲ賦課スルコト云フ法律案ハ成立シテ居リマスガ、未ダ其ノ施行ハ見テ居ナイノデゴザイマス、此ノ度入場稅ガ施行致サレマスレバ、是ト同時ニ前ニ申上ゲタ法律ヲ施行スルコトニ致シタイト存ジテ居リマス、從テ法人ノ演劇興行ニ對スル現在ノ地方ノ演劇興行稅ハ廢止セラレマシテ、國稅ノ法人營業收益ニ對スル附加稅ヲ徵收スルコトニナルノデゴザイマス、個人ニ對シマシテハ、現在國稅ノ營業收益稅ノ課稅種目ニハ取入レラレテ居ナイノデゴザイマスカラシテ、國稅ハ課稅スル途ハナイノデゴザイマス、然ルニ演劇興行稅ノ中ニハ營業稅ト申シマスガ、營業收益稅ト申シマスカ、其ノ性質ヲ持ッテ居ル分子ガ相當アルノデゴザイマシテ、從ッテ地方稅トシテハ、個人ノ演劇興行稅ハ地方團體ノ狀況ニ依ッテ、今後モ繼續シテ行ク必要ガアルノデハナカラウカト存ジテ居ル次第デゴザイマス

○子爵大河内輝耕君 此ノ前ノ時ノ、此ノ個人ノ營業稅ハ少シ無理ダト思ヒマスガ、入場稅ト云フモノガ出來タナラバ演劇稅ハ止メテ貰ヒタイ、是ハ法人デモ個人デモ演劇稅ト云フモノハ良クナイ、ソレハモウ申ス迄モナイコトデ度々申シタコトデ、今始ッ

話デハナイシ、外ニ代ル財源ガナイカラサウ云フコトヲヤッテ居ッタ、殊ニ法人ノ方ナラバドウニデモナルケレドモ、個人ハ止メタカラドウト云フ譯ニハイカヌノデ仕方ナシニア、云フ改正デ濟シダガ、斯ウ云フ風ナ入場稅ガ取ラレテ居ル以上、個人ノ演劇稅ハ御止メニナッテ宜イモノト私ハ思ヒマス、困ル困ラナイノ問題デナク、ソコハナントカ幾ラモヤリ方ガアラウト思フ、大シタ額デモナイコトデアリマスカラ……ソコイラ邊ノコトハドウ御考ニナリマセウカ、ドウシテモ置カナケレバイカヌモノデアリマセウカ

○政府委員(大矢半次郎君) 地方ノ演劇興行稅ノ中ニハ先程モ申上ゲマシタ通り、營業收益稅ノ性質ヲ帶ビテ居ルモノガ相當アルノデゴザイマシテ、是ハ全然廢止スルノモ如何カト存ジテ居リマス、唯現在地方稅ニ於キマシテ觀覽稅トシテ課稅シテ居ルノハ此ノ度、國稅デ起シマスル入場稅ト重複スルモノデゴザイマスカラ、地方稅ノ觀覽稅ハ廢止スル積リデゴザイマス、併シ其ノ廢止ニ依リマスル地方團體ノ收入減ニ付キマシテハ、補給金デ之ヲ補填スル積リデゴザイマス

○子爵大河内輝耕君 入場稅ノ點ハ御考ヲ

願ッテ置キマス、今日ハ時間モゴザイマセスカラ、此ノ程度デ止メテ置キマス、次ニ伺ヒマスガ、負擔輕減ノ方ノ、營業稅ノ方ハ二割五分減ツタモノニ付テハ輕減スルト云フガ、二割五分減ツタモノハ隨分アルノデアリマスカ、ドウ云フ譯デ斯ナニ減ルノデスカ、別ニ意味ハアリマセヌデスカ、理由ハ……

○政府委員(大矢半次郎君) 此ノ事變ガ起リマシテ以來、爲替管理ノ強化、貿易ノ統制ト云フコトガ我が國トシテ、從來經驗シタコトノナイ程度ニ行ハレテ居リマス、其ノ他或ハ全國的ノ消費節約運動等ニ依リマシテ、業態ニ依ッテハ相當不便ヲカケテ居ルモノガアリマス、毛織物等ノ纖維工業等ハ其ノ一例カト存ズルノデゴザイマス、從ヒマシテ從來ノ儘ノ稅法ニ依リマシテハ、此ノ新時代ニ適應シナイ分ガアルト思フノデゴザイマシテ、臨時措置法ヲ設ケマシテ十一年度以前三箇年ノ實績ニ對シマシテ、二割五分以上ノ收益ノ減ツタモノニ對シテハ夫々輕減ヲ致スト云フコトニ考ヘタ次第デゴザイマス

○子爵大河内輝耕君 サウスルト自作田畑ノ方ノ地租モ同ジヤウナ風ニヤッテ居ラレルヤウデアリマスガ、是ハ又何カ特殊ナ理

由ガアリマスカ、今ノ營業稅ノ方ハ能ク分リマシタケレドモ、コチラノ方ハドウナンデスカ

○政府委員(大矢半次郎君) 自作田畑ニ付キマシテハ、農村ノ子弟ガ事變下ニ於ケル召集ヲ受ケマシテ、農村ニ於テ勞力ガ甚ダシク拂底スル、或ハ又馬匹ノ徵發等ニ依リマシテ十分耕作ヲ致シ兼ル、從テ此ノ事變ノ直接、間接ノ影響ヲ受ケマシテ、自作農ノ收益ノ減ルノガ相當各地ニアルノデゴザイマス、是等ハ營業收益稅ニ於ケル輕減ト同ジヤウナ趣旨ヲ以チマシテ、輕減スルノガ適當デハナカラウカ、斯ウ考ヘタ次第デゴザイマス

○子爵大河内輝耕君 能ク分リマシタガ、ソレナラバ自作ト言ハナイデモ、小作農、地主ダッテ矢張りサウス云フ影響ヲ受ケルノハ同ジデアリマス、地主ダカラ皆ガ皆金持ダト云フ譯デナシ、殊ニ自作ト言ハナクテモ宜ササウニ思セマスガ、ソコハドウデスカ

○政府委員(大矢半次郎君) 地主ハ小作料ヲ收入シテ居ルノデゴザイマスガ、小作料ノ收入ハ場合ニ依ッテハ此ノ事變ノ影響ヲ受ケテ、減收スルト云フノモアラウカト思ヒマスケレドモ、自作農トハ餘程其ノ間趣

キガ違フ點ガアルノデハナカラウカト存ジマス、一面地主ニ對シテ輕減ヲ致シマスレバ、都市ノ貸家ヲ持ッテ居ル者ニ對シテドウトカ、或ハ金ヲ貸シテ居ル場合ニ、ドウスルカト云フヤウナ各種ノ問題ガアルノデゴザイマシテ、此ノ度特ニ臨時措置トシテ輕減ヲ致シマスルモノハ、主トシテ中小ノ、勤勞ニ依ッテ得ル分子ガ多分ニ含マシテ居ル者ニ對シテ課税ノ輕減ヲシヨウト云フ趣旨ヲ以チマシテ、營業收益税ト田畑ノ所得ニ對シテ輕減ヲ行ッタ次第ゴザイマス

○子爵大河内輝耕君 其ノ點能ク分リマシタ、ソレデ次ニ鑛産税ノ免除ノ關係デアリマスガ、是ハ矢張り時局關係デ少シデモ之ヲ樂ニシテ產出ヲ獎勵シタイト云フ考デゴザイマス

○政府委員(大矢半次郎君) 左様デゴザイマス
○子爵大河内輝耕君 次ニ伺ヒマスガ、特別砂鑛區稅ヲ創設サレタノハドウ云フ譯デスカ

○政府委員(大矢半次郎君) 是ハ從來砂鑛區ニ對シマシテハ課税ハナカッタノデゴザイマス、從ヒマシテ砂鑛區ニ對シテ權利ヲ設定致シマシテ、永年ノ間何等事業ヲ營業マズニ居ル所謂睡眠鑛區ガ非常ニ多イノデゴ

ザイマス、時局下ニ於キマシテ砂鑛其ノ他ノ鑛產物ヲ出來ルダケ採取シタイト云フ場合ニ於キマシテ、此ノ睡眠鑛區ヲ搖リ起シマシテ活動セシメタイト云フノガ趣旨デゴザイマシテ、稅收入ヲ得ル目的デハゴザイマセス

○子爵大河内輝耕君 此ノ混用綿絲ヲ用ヒマシタ織物ノ消費稅免除、是ハ條文ヲ見レバ分ルコトデゴザイマセウガ、ドウ云フ織物ニ何ヲ混入シタ場合ニ免除サレル譯デアリマス

○政府委員(大矢半次郎君) 從來此ノ縱ニ綿絲ヲ用ヒ、横ニ混紡絲ヲ用ヒタモノハ、綿織物ト同ジヤウニ免稅シテ居タノデアリマスガ、棉花ノ消費節約ノ爲ニ商工省ニ於キマシテ、純綿絲ト云フモノノ使用ヲ成ルベク制限致シマシテ、「ステープル・ファイバー」其ノ他ノ纖維ヲ混用スルコトヲ獎勵スル、從ヒマシテ現行法ノ儘ニ於キマスト云フト、縱綿ガ無クナルノデゴザイマス、

折角獎勵シテモ課税ニナルト云フノデ、獎勵ノ趣旨ガ貫徹致シマセヌカラ、之ヲ課税外ニ置キタイト云フノガ一ツノ此ノ立法ノ趣旨デゴザイマス、モウ一ツハ、人絹ヲ全重量ノ五割未満入レテ混織シタ織物ニ對シマシテハ、從來ハ人絹ト綿ノ織物ハ總テ課

税ニナッテ居リマシタガ、棉花消費節約ノ趣旨ニ依リマシテ、是モ免稅致サウ、斯ウ云フ趣旨デゴザイマス

○子爵大河内輝耕君 能ク分リマシタ、ソレカラ次ニ退職給與金ノ五千圓ヲ超ユルモノニ對シテ掛ケルト云フコトニナリマス、是ハ退職給與金バカリデナク、外ニモ斯ウ云フ「等」トアリマスガ、ドンナモノガ入リマス

○政府委員(大矢半次郎君) 是ハ一時恩給其ノ他退職ニ依ル……一時恩給ガアリマスノデ、「等」ト云フ……今御尋ノ「等」ト云フノハ、稅法改正要綱ヲ御覽ニナッテノコトカト思ヒマス、稅法ニ於キマシテハ、一時恩給又ハ之ニ類スル退職給與、斯ウ申シテ居リマス、要綱ニ「等」ト云ッテ居ルノハ此ノ關係デゴザイマス

○子爵大河内輝耕君 サウスルト役人タルト、又ハ民間タルトヲ問ハズ、退職ニ對シテ貰フ給與一切ヲ含ム、斯ウ考ヘテ宜シイノデスカ

○政府委員(大矢半次郎君) 左様デゴザイマス
○子爵大河内輝耕君 次ニ此ノ郵便年金ノ掛金控除ニ付テ伺ヒマスガ、從來斯ウ云フ風ニハナッテ居ラヌノデアリマスガ、今度初メテ斯ウ云フコトヲ始メタノデスカ

○政府委員(大矢半次郎君) 從來ハ一般年金ト同ジヤウナ扱ニナッテ居リマシタ、然ルニ郵便年金ノ中ニハ自分デ掛金シテ、自分デ受取ルモノガゴザイマシテ、他ノ一般年金ト同ジ扱ヲスルノハ實情ニ適シナイ點ガアリマスノデ、自分ノ掛ケタ分ハ差引イテ所得ヲ計算スル方ガ、適當ト存ジマシテ改正ヲスル次第デゴザイマス

○子爵大河内輝耕君 其ノ理窟デ行ケバ保險モ同ジヤウニ思ヒマスガ、サウデヤナイデセウカ、例ヘバ生命保險ナドモ同ジヤウニ考ヘラレマスガ、ソレハ之ニ入ッテ居マセヌカ

○政府委員(大矢半次郎君) 生命保險ハ所得稅ノ方ノ問題ニナリマセヌ
○子爵大河内輝耕君 要綱ノ六デスガ、所得調査委員ガ代理ガ出來ナイ、從來斯ウ云フ弊ガ隨分アリマシタノデスカ

○政府委員(大矢半次郎君) 是ハ主トシテ大都市デゴザイマス、東京市、大阪市、京都市、名古屋等ノ地方ニ於テ相當弊害ガゴザイマシタノデ、特ニ今回、此ノ取締規定ヲ設ケタイト云フノデ致シタ次第デアリマス

○子爵大河内輝耕君 小笠原島、伊豆七島ニ今迄ナカッタデセウカ、急ニ斯ウ云フモノ

ガ布カレテ、餘リニ急激ナヤウニ思ヒマスガ、其ノ點ハ如何ナモノデセウカ、大丈夫差支ナイト云フ御見込デセウカ

○政府委員(大矢半次郎君) 小笠原島、伊豆七島ニハ從來營業收益稅ハ施行サレテ居

タノデアリマスガ、所得稅ノ方ハ施行サレテ居ナカッタノデゴザイマス、處方御承知ノ通り近時朝鮮、臺灣、樺太等ノ外地モ所得稅ヲ施行スルト云フヤウニナリマシタ、今年ハ更ニ南洋群島ニ於テモ所得稅ヲ施行シ

ヨウト云フヤウニナリマシタノデ、小笠原島、伊豆七島ノミニ對シテ之ヲ施行シナイト云フノハ均衡ヲ得テ居ラスノデ、此ノ度提案シタ次第デゴザイマス

○子爵大河内輝耕君 此ノ稅率ナドハ同ジデアリマスカ、ソレデ差支ナイト云フ御見込デスカ

○政府委員(大矢半次郎君) 同ジデゴザイマス、差支ナイト存ジマス

○子爵大河内輝耕君 ソレハ何カ少シ無理ナヤウデスカ、其ノ位ニシマシテ、此ノ相續稅ノ相續稅法施行地外ノ財産ト云フ施行地外ト云フノハ、何處ト何處、ドウ云フ點ヲ言ヒマスカ、ドウ云フ地點ヲ言ヒマスカ

○政府委員(大矢半次郎君) 外地及外國デゴザイマス

○子爵大河内輝耕君 是ハ外國ナドデ詳シク調ガ出來マスノデスカ、ソレトモ調ベタダケデヤツテ置クト云フヤウナ意味デセウカ、ドウ云フノデスカ

○政府委員(大矢半次郎君) 内地ト全ク同様ニ詳細ナ調査ハ爲スコトハ困難カト存ジマス、併シナガラ滿洲國ノ如キハ殆ド内地ニ近い調査ガ出來ルノデハナカラウカト存ジマス、其ノ他南洋群島或ハ南米等ニ付キマシテモ、或程度ノ調査ハ出來ルコト存ジマス

○子爵大河内輝耕君 此ノ酒稅ノ販賣業ヲ免許制度ニシテアリマスガ、是ハ課稅上ノ便宜カラシテ斯ウ云フ風ニナツタノガラウト思ヒマス、外ニ又酒ノ販賣業ヲ取締ルト云フノハ、産業上ノ關係カラモ來テ居リマスノデスカ、其ノ趣旨ハ何處ニアリマスカ

○政府委員(大矢半次郎君) ソレハ段々酒造稅ノ額ガ多クナリマスノデ、酒稅確保ノ意味デゴザイマス、産業方面カラノモノデハゴザイマセス

○子爵大河内輝耕君 是ハ併シサウ云フ意味デオヤリニナルナラバ運用モ誤リナイデアラウト思ヒマスガ、斯ウ云フ風ニ運用サレテ來ルト販賣業ニ勢ヒ權利ガ生ジテ來ル、從ッテ消費者ニソレガ轉嫁サレルヤウナコ

トニナル、ヤリ方ニ依ッテハ随分悪い結果ガ生ジヨウト思フノデスカ、其ノ邊ハドウデゴザイマセウカ

○政府委員(大矢半次郎君) 此ノ免許制度ニ付キマシテハ、一面非常ニ有益ナル點ガアルケレドモ、他面又御示シノヤウナ弊害モ或程度伴フコトカト存ジマス、實行ニ當リマシテハ十分ソレヲ點ヲ考慮致シマシテ、遺憾ナキヲ期シタイト存ジマス

○子爵大河内輝耕君 此ノ免許ハ、大體ニ於テ差支ナイ人ナラバヤラセルト云フ御方針デスカ、ソレトモ一ツノ區域ヲ決メテ例ヘバ、一町以內ニ一軒ニスルトカト云フ風ニオヤリニナル御積リデセウカ、ドウ云フ風ニオヤリニナリマスカ

○政府委員(大矢半次郎君) 是ハ餘リ濫立ヲ致シマシテ、無用ノ競争ヲ伴フト云フヤウナ危險ヲ防止スルト云フ一ツノ目的デゴザイマス、從ヒマシテ今度御示シノ區域ト云フ點モ、一ツノ重要ナル考慮ノ材料トナルト存ジマス

○子爵大河内輝耕君 次ニ最後ニ伺ヒタノハ、此ノ新ラシイ稅ガ澤山出來マシタガ、之ニ地方稅ノ附加稅デモ加ヘラレルヤウナモノガアリマセウカ、ソレトモサウ云フモノハ全然アリマセスカ、若シアリトスレバ

其ノ限度ハドウ云フモノデアリマスカ

○政府委員(大矢半次郎君) 原則トシテ地方ノ附加稅ハ附加致サセナイノデゴザイマス、唯免稅點引下ノ結果ト致シマシテ、從來東京市、其ノ他全國數箇所ニ於キマシテ、特別所得稅ヲ課稅シテ居タ其ノ一部ヲ止メナケレバナラスヤウナ事態ガアルノデゴザイマス、ソレハ當該地方團體ノ財政狀況等ヲ篤ト考慮致シマシテ、已ムヲ得ナイ場合ニハ、其ノ千二百圓カラ千圓以上ノモノニ對スル特別ノ附加稅ヲ附加シ得ルヤウニ致シタイト思ッテ居リマス

○子爵大河内輝耕君 此ノ負擔輕減ニ關スル臨時措置ト云フヤウナ、此ノ方カラ地方稅ヲ否應ナシニ減サナケレバナラスト云フヤウナコトガ出來テ來マセヌデスカ

○政府委員(大矢半次郎君) 本稅ノ輕減ニ伴ヒマシテ地方ノ營業收益稅ノ附加稅、地租ノ附加稅及國稅ノ輕減ニ準ジマシテ、特別地稅トカ、或ハ地方ノ營業ノ輕減ト云フヤウナコトガ起ッテ來ルノデゴザイマス、是等ノ地方稅ノ減收ニ對シマシテハ、國ヨリ補給金ヲ交付スル次第デゴザイマス

○子爵大河内輝耕君 私ハ是デ終リマス

○大和田健三郎君 チョット……

○委員長(子爵前田利定君) 何デスカ、御

質疑デシタラ明朝ニ願ヒタイト思ヒマス、御諮リ致シマスガ、時刻モ大分經チマシテゴザイマスガ、マダ御質疑ガ殘ッテ居ルヤウデアリマスカラ、到底今一時間デヤッテ見タ所デ濟ミサウモナイト思ヒマスカラ、是デ延會致シマシテ、明日ハ午前十時カラ開會致シマシテ、殘ッテ居ル質疑ヲ願ヒタイト思ヒマス、大體委員長ノ目論見ト致シマシテハ、明日ノ午後一時半ニ再開致シマシタ時ニ討議ニ入リタイト思ヒマス、午前中ニ成ルベク御質疑ヲ簡潔ニ願ヒマシテ、抄ルヤウニ致シタイト思ヒマス、今日ハ是デ散會致シマス

午後五時四分散會

出席者左ノ如シ

委員長 子爵前田 利定君
副委員長 男爵松岡 均平君
委員

公爵岩倉 具榮君
侯爵大隈 信常君
伯爵酒井 忠正君
子爵大河内輝耕君
子爵西尾 忠方君
子爵裏松 友光君
内田 重成君
男爵赤松 範一君

國務大臣

男爵北島 貴孝君
男爵松平外與麿君
男爵深尾隆太郎君
三浦 新七君
河田 烈君
西野 元君
加藤政之助君
森 平兵衛君
小倉 正恒君
橋本辰二郎君
田中德兵衛君
絲原武太郎君
大和田健三郎君

遞信大臣 永井柳太郎君

大藏大臣 賀屋 興宣君

農林大臣 伯爵有馬 賴寧君

政府委員

內務省地方局長 坂 千秋君

大藏政務次官 太田 正孝君

大藏省主計局長 谷口 恒二君

大藏省主稅局長 大矢半次郎君

大藏省銀行局長 入間野武雄君

大藏書記官 松隈 秀雄君

同 田中 豐君

貿易局長官 寺尾 進君

昭和十三年三月二十七日印刷

昭和十三年三月二十八日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局